

50th
Anniversary

開園50周年 記念誌

利用者様と共に歩んだ
やすらぎの50年







目 次

発刊にあたって

標茶町立特別養護老人ホーム「やすらぎ園」の開園50周年を祝して	
標茶町長 佐藤 吉彦	1

祝 辞

やすらぎ園開園50周年を祝して	
標茶町議会議長 菊地 誠道	2
やすらぎ園創立50周年を御祝いして	
やすらぎ園家族会会長 高松 俊男	3

通 史

やすらぎ園50年の歩み	5
-------------	---

寄 稿

開園50周年を迎えて	
やすらぎ園園長 穂刈 武人	18
変遷	
やすらぎ園元園長 佐藤 敏	19
標茶町立特別養護老人ホームやすらぎ園50周年記念に寄せて	
やすらぎ園元園長 加藤 孟	20
開園50周年記念に寄せて	
やすらぎ園元園長 臼井 好和	21
開園50周年を祝して	
やすらぎ園元園長 山澤 正宏	22
やすらぎ園に想うこと	
やすらぎ園元園長 春日 智子	23
はじめての福祉の仕事でした	
やすらぎ園元園長 中村 義人	24
開園50周年記念を祝して	
やすらぎ園前園長 中島 吾朗	25
開園50周年に寄せて	
やすらぎ園前生活相談係長 村山 美由紀	26
やすらぎ園創立50周年に寄せて	
やすらぎ園家族会副会長 鈴木 義次	27
50周年を祝して	
やすらぎ園家族会副会長 千葉 澄子	28

各職場の紹介

事務所

やすらぎ園との「ご縁」

次長兼業務係長兼生活相談係長 齋 藤 俊 介 …… 30
開園50周年に寄せて

庶務係長 檜 山 友 理 …… 30
開園50周年を祝して

生活相談員 伊 藤 和 美 …… 30
開園50周年をお祝いして

生活相談員 氣 仙 瑞 佳 …… 31
笑顔を忘れずに

介護総括リーダー 名 越 大 輔 …… 31
事務所スタッフからのお祝いメッセージ …… 31

北 棟

過去の経験と未来の言葉

北棟介護リーダー 秋 山 良 太 …… 32
やすらぎ園50周年を迎えるにあたって

北棟介護サブリーダー 大 倉 敏 幸 …… 32
北棟介護スタッフからのお祝いメッセージ …… 33

南 棟

理想を現実に

南棟介護リーダー 今 貴 弘 …… 34
ルーツ

南棟介護サブリーダー 山 本 史 明 …… 34
南棟介護スタッフからのお祝いメッセージ …… 35

看 護

50周年に寄せて

看護係長 宮 川 百 美 …… 36
50周年を記念して

看護係 榊 紀 子 …… 36
開園50周年を迎えて

看護係 松 田 智 仙 …… 36
創立50周年を迎えて

看護係 山 田 香 奈 枝 …… 36
開園50周年に寄せて

看護係 今 西 智 恵 …… 37

調理

創設50周年に寄せて

管理栄養士 柳 田 みゆき …… 38

調理スタッフからのお祝いメッセージ …… 39

現在のやすらぎ園

やすらぎ園の今（春夏秋冬） …… 41

資料編

歴代職員一覧表 …… 52

歴代家族会役員一覧表 …… 60

年度別利用者数一覧表 …… 66

年度別短期入所者数一覧表 …… 67

標茶町立特別養護老人ホーム設置条例 …… 69

標茶町立特別養護老人ホームやすらぎ園管理規則 …… 70

標茶町立特別養護老人ホームやすらぎ園処務規程 …… 75

標茶町立特別養護老人ホームやすらぎ園に勤務する
職員の勤務時間等に関する規程 …… 78

標茶町立特別養護老人ホーム「やすらぎ園」
指定介護老人福祉施設運営規程 …… 81

標茶町福祉施設利用者等の福祉サービスに関する苦情解決実施要綱 …… 85

施設のあらまし …… 87

施設平面図 …… 88

新聞報道に見るやすらぎ園50年の歩み …… 92

標茶町立特別養護老人ホームやすらぎ園
開園50周年記念誌編集委員会設置要綱 …… 148

編集委員会委員名簿 …… 149

記念誌編集委員会等の経過 …… 150

人文字「50」制作・撮影風景 …… 151

編集後記 …… 152



標茶町立特別養護老人ホーム 「やすらぎ園」の開園50周年を祝して

標茶町長

佐藤 吉彦

標茶町立特別養護老人ホーム「やすらぎ園」はおかげさまで開園50周年を迎えることができました。

昭和49年6月に開園した「やすらぎ園」は、標茶町福祉村総合整備計画により駒ヶ丘地区一帯を福祉村とする中核施設として建設が進められ、開園後は町内外からの多数の入園希望の要請に応える形で昭和52年に増床し現在の100床となっております。

かつては子どもや家族が行うものとされていた親の介護は、少子高齢化が進むにつれ高齢者の増加や核家族化が進行し、その結果、介護離職が社会問題となりました。人口構造の変化は社会保障制度にも影響を与え、介護を社会全体で支えることを目的に平成12年に介護保険制度が創設され、様々な制度改正が行われ今日に至っております。

現在、「やすらぎ園」は施設の老朽化が進んでいることから、今後の施設整備の方針について検討を進めております。

標茶町においても人口減少と少子高齢化が同時進行していることから、今後の将来人口や時代に合った住民ニーズを的確に把握しながら、さらに現在ある民間の老人サービス施設等との共存共栄を図りながら、あるべき姿について検討を加速させてまいります。

2025年には超高齢化社会を迎え労働力の不足が懸念される一方、福祉のニーズはこれからも増大していくことが予想されます。高齢者の方が安心して過ごせる場所の確保は、私たちの使命です。

標茶町の持続可能な福祉社会の実現に向け、入所者様一人ひとりが自分らしく生活できる環境の整備に努めてまいります。

祝 辞



やすらぎ園開園50周年を祝して

標茶町議会議長

菊 地 誠 道

標茶町立特別養護老人ホームやすらぎ園が開園50周年を迎えられましたこと、心よりお喜び申し上げます。

半世紀にわたり、高齢者とそのご家族の支えとなり、地域に信頼される福祉施設として歩みを進められてきたことに、心から敬意を表します。この間、運営に尽力された関係者の皆様、とりわけ歴代の施設長を先頭に昼夜を問わず介護に取り組まれた職員の皆様のご努力とご苦勞に対し、衷心より敬意を表するものであります。

昭和49年の開園から50年後の今日、日本は超高齢化社会を迎え、少子化による人口減少の進行、それに伴う家族の形態やライフスタイル、価値観の変化など、この半世紀の間に地域社会が大きく変わるとともに様々な住民の生活課題、福祉課題も多様化し、複雑化しております。

また、昨今の介護人材の不足はやすらぎ園にも深刻な影響を及ぼしておりますが、時代が移り変わろうとも、お年寄りの幸せを願う気持ちは変わらず、老人ホームの本質である利用者や家族に寄り添い、安心・安全で穏やかな日常生活を送っていただく心のよりどころとしての役割は不変であります。

社会構造の変化の中であらゆる対応が求められる時代ではありますが、貴施設におかれましては、今まで築き上げてこられた歴史とを大切にされ、時代の求めに応え、引き続きご尽力いただけますようご期待申し上げます。

最後に、関係各位の益々のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

祝 辞



やすらぎ園創立50周年を御祝いして

やすらぎ園家族会会長

高 松 俊 男

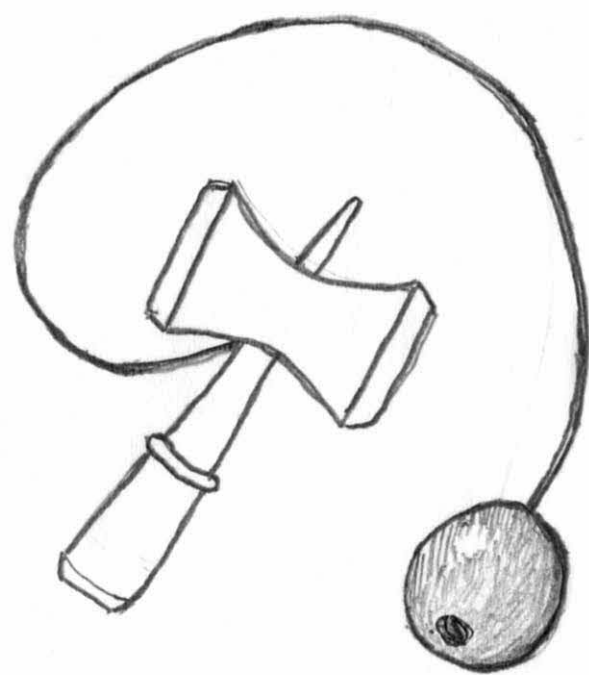
この度、標茶町立特別養護老人ホームやすらぎ園が、昭和49年開園以来50年半世紀に渡り今日に至るまで、歴代の園長さんをはじめ職員、介護の皆様の日頃の御苦労、御努力に対し深く敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

本町も2024年に入り、少子高齢化社会が全国平均以上に進み人口も7000人を割り込み、高齢化人口も40%になろうとしています。やすらぎ園の果たす役割はさらに町民に期待され、頼られる施設になると思われます。

私ども家族といたしましては、おじいさん、おばあさんを入所してもらい長い間お世話いただき、家業の自営業、特に農家、酪農家にいたっては残った家族が安心して日々の仕事に専念することができます。誠にありがたく思っています。

このように標茶地域全体がやすらぎ園の介護サービスのおかげで、安心して家業、生業に励む事ができています。

最近の担い手不足時代で介護職員、食事調理員のなり手が少ない時代ではありますが、今後ともやすらぎ園が町民の「人生の終活」をサポートしていただける場所として活躍されることを祈りましてお祝いの言葉といたします。



やすらぎ園50年の歩み

やすらぎ園の沿革

昭和49年6月	特別養護老人ホーム「やすらぎ園」開園（定員50名）
昭和52年4月	南棟増築定員100名に増床
昭和59年6月	開園10周年記念式典開催
昭和60年12月	温泉浴による入浴サービス開始
平成5年3月	大規模改修工事実施（拡張工事及びスプリンクラー設置）
平成5年4月	デイサービスセンターやすらぎ園に併設し開設
平成7年11月	やすらぎ園外構工事実施（照明、植栽、築造）
平成7年12月	やすらぎ園外構工事実施（舗装）
平成12年4月	介護保険制度施行により介護保険法指定事業開始 指定介護老人福祉施設 指定短期入所生活介護事業 短期入所事業開始（定員8名）
平成15年7月	短期入所事業の定員12名に増員
平成21年 6月～9月	施設設備改修工事実施（受変電、電灯、空調、暖房）
令和4年7月	南棟で新型コロナウイルス感染症クラスター発生 （利用者5名、職員4名感染）
令和4年12月	北棟で新型コロナウイルス感染症クラスター発生 （利用者7名、職員1名感染）
令和6年4月	給食業務の外部委託開始
令和6年6月	やすらぎ園開園50周年

1974～1978

(昭和49年～昭和53年)

やすらぎ園50年の歩み①



やすらぎ園の動き

昭和49年
(1974年)
6月
特別養護老人ホーム「やすらぎ園」
開園 定員50名 初代園長 高橋 修

12月
クリスマス忘年会、餅つき大会開催

昭和50年
(1975年)
7月
駒ヶ丘公園で野遊会開催

12月
虹列市街婦人部演芸慰問

昭和51年
(1976年)
6月
南棟増改築工事着工

8月
入園者の親睦会「やすらぎの会」設立

9月
「やすらぎ園家族会」発足

昭和52年
(1977年)
4月
南棟増築定員100名となる

8月
七夕祭り花火大会開催

11月
輪投げ大会開催

昭和53年
(1978年)
6月
開園4周年記念行事開催

7月
園長 三栖 達夫

11月
園長 高橋 修

標茶の動き

釧網本線SLさよなら列車運行

標茶中学校校舎新築工事完成

標茶駅改築落成

標茶町農業協同組合新設発足

虹列ひわまり保育園開園

標茶高校山岳部女子全国優勝

塘路ひしのみ保育園開園

標茶市街地に温泉湧出

標茶町酪農センター落成祝賀会開催

磯分内酪農センター落成

摩周湖カンツリー倶楽部オープン

富士公園開園

虹列小学校新校舎落成記念式典開催

阿歴内公民館設置

町立標茶幼稚園開園

釧路湿原パーク・憩の家かや沼オープン

標茶町立歯科診療所開所

栄小学校廃校 標茶小学校に統合

社会の動き

ルパン島で小野田元陸軍少尉発見

佐藤栄作元首相ノーベル平和賞受賞

ベトナム戦争終結

沖縄国際海洋博覧会開催

ロッキード事件発覚

国内初の5つ子誕生

プロ野球、王貞治765号ホームラン世界記録

日本赤軍による日航機ハイジャック事件発生

新東京国際空港（現・成田国際空港）開港

日中平和友好条約調印

1979~1983

(昭和54年~昭和58年)

やすらぎ園50年の歩み②



やすらぎ園の動き

昭和54年
(1979年)

4月
有識者の講話 (高島幸次前町長)

8月
園長 桐原 徹

10月
標茶農業高校の生徒による清掃奉仕活動 (先生と生徒85人来園)

昭和55年
(1980年)

3月
釧路青少年吹奏楽団32名の慰問

9月
敬老の日に標茶民謡会、標茶マジッククラブの慰問

昭和56年
(1981年)

5月
園内に特設されたボウリング場で入園者ボウリング大会開催

10月
憩の家茅沼、五十石温泉で観楓会

昭和57年
(1982年)

1月
塘路地区風同好会が手作りの風あげで慰問

9月
敬老の日にちなみ、そば屋福住による「そば慰問」

昭和58年
(1983年)

5月
誕生会にみどり保育園の園児が来園し、可愛い遊戯を披露

11月
標茶小学校低学年児童約150人が来園し、遊戯などを披露

標茶の動き

開盛小学校廃校 磯分内小学校に統合

町営水泳プールオープン

公選により阿部悟郎氏町長に就任

標茶市街の下水道事業着手

萩野小学校廃校 虹別小学校に統合
沼幌中学校廃校 標茶中学校に統合
中御卒別中学校廃校 標茶中学校に統合

たんぼば保育園開園

軽費老人ホーム「駒ヶ丘荘」オープン

多目的運動広場に野球場開場

標茶町観光協会設立

標茶町総合福祉センター完成

標茶地区青少年健全育成会結成

標茶霊園 (第1工区) 着工

標茶町立図書館オープン

標茶大火30周年記念大演習開催

第1回標茶町民号運行
(1泊2日で池田町、十勝川温泉へ)

社会の動き

東京サミット初開催

初の国公立大学共通一次試験実施

大平首相急死

モスクワオリンピック開催 (日本不参加)
イラン・イラク戦争勃発

福井謙一ノーベル化学賞受賞

スペースシャトル宇宙初飛行に成功

東北新幹線・上越新幹線開通

ホテルニュージャパン火災発生

日航機羽田沖墜落事故発生

日本海中部地震発生

東京ディズニーランド開園

大韓航空機墜落事件発生

1984～1988

(昭和59年～昭和63年)

やすらぎ園50年の歩み③



やすらぎ園の動き

昭和59年
(1984年)
6月
開園10周年記念式典開催
式典で利用者の楽器サークルが楽器演奏を初披露

6月
釧路動物園見学会

昭和60年
(1985年)
1月
園長 石田 正光
8月
北大マンドリンクラブ慰問

12月
温泉浴開始

昭和61年
(1986年)
9月
敬老祝賀会に「森の石松」登場

昭和62年
(1987年)
5月
東藻琴芝桜公園で観桜会

6月
林家こん平演芸慰問

昭和63年
(1988年)
3月
家族会視察研修
(音更町寿楽園、池田町光寿苑)

6月
戸外レク「ミニ運動会」開催

標茶の動き

全国にしべちゃの名を知らせる会主催の第1回釧路川川下り大会開催

標茶町農業者トレーニングセンター落成式典開催

北片無去小中学校廃校 阿歴内小中学校に統合

標茶町民憲章制定

標茶町開基百年記念式典開催

町営浴場「サウナわかくさ」閉鎖

第1回スノーフルフェスタ開催

萩野ゲートボールチーム世界大会出場

標茶小学校開校百周年記念式典開催

多和平展望台完成

公共下水道共用開始

釧路湿原国立公園指定

女子サッカー少年団誕生(管内初)

第1回ピャフェスティバル・イン・しべちゃ開催(多和平)

札幌・標茶ふるさと会設立総会開催

社会の動き

新紙幣発行
(1万円福沢諭吉、5千円新渡戸稲造、千円夏目漱石)

グリコ・森永事件発生

つくば万博開催

日本電電公社、日本専売公社が民営化 NTT、JTが発足

日本航空123便墜落事故発生(日航ジャンボ機御巣鷹山に墜落)

英チャールズ皇太子、ダイアナ妃来日

三原山209年ぶりの大噴火

バブル景気始まる

国鉄分割民営化(JRグループ発足)

利根川進ノーベル生理学・医学賞受賞

大韓航空機爆破事件発生

青函トンネル開通

リクルート事件発覚

イラン・イラク戦争停戦

1989～1993

(平成元年～平成5年)

やすらぎ園50年の歩み④



やすらぎ園の動き

昭和64年
平成元年
(1989年)

5月
高砂会演芸慰問
11月
標茶高校ボランティアクラブ慰問
12月
特殊入浴装置更新

平成2年
(1990年)

4月
園長 小倉 治
7月
S高祭仮装パレード来園
8月
川上神社例大祭お神輿来園

平成3年
(1991年)

1月
新春演芸大会初開催
7月
園前庭で初の試み「縁日祭」開催
10月
夜間防火避難訓練実施

平成4年
(1992年)

7月
第2回縁日祭で「桜祐二歌謡ショー」開催
8月
恒例の仮装盆踊り大会

平成5年
(1993年)

3月
やすらぎ園修繕除去工事
デイサービスセンター建設工事及びやすらぎ園拡張、修繕スプリンクラー整備工事
4月
デイサービスセンター開設
茶安別空手スポーツ少年団が花の植栽奉仕活動と空手演武を披露

標茶の動き

多和平で「初日の出を見る会」初開催
JR標津線廃止
ノロッコ号釧路～塘路間運行開始

標茶キリスト協会愛光幼稚園閉園
塘路住民センター完成祝賀会開催
標茶町パークゴルフ協会設立

公選により千葉健氏が町長に就任
標茶町武道館落成式開催
東京・標茶ふるさと会設立総会開催

全天候型多目的町民ふれあいプラザゆう落成式開催
FC標茶レディースジュニア全国V2
標茶消防百年記念式典祝賀会開催

釧路沖地震発生
(20時06分 M7.8 震度6)
しべちや映像フェスティバル初開催
標茶中学校卓球部全道初優勝

社会の動き

昭和天皇崩御
(1月8日より「平成」に改元)

消費税導入(税率3%)
ベルリンの壁崩壊

大阪で国際花と緑の博覧会開幕
雲仙普賢岳が200年ぶりに噴火
東西ドイツ統一

湾岸戦争勃発
ソ連崩壊
バブル経済崩壊

国家公務員の週休2日制がスタート
PKO協力法案成立
毛利衛スペースシャトル「エンデバー」で宇宙へ旅立ち

プロサッカー・Jリーグ開幕
北海道南西沖地震発生(M7.8)
細川連立内閣誕生

1994～1998

(平成6年～平成10年)

やすらぎ園50年の歩み⑤



やすらぎ園の動き

- 平成6年
(1994年)
- 5月
ロシアサハリン州市民アンサンブル「エトナス」による舞踏公演
 - 8月
ふれあい盆踊り・花火大会開催
みどり保育園の園児約60人と父母が来園し、利用者と交流を深めた
- 平成7年
(1995年)
- 4月
園長 佐藤 敏
 - 5月
厚岸町子野日公園で観桜会
 - 11月～12月
やすらぎ園外構工事
(照明、植栽、築造、舗装)
- 平成8年
(1996年)
- 6月
標茶高校ボランティア部と町内児童生徒がプルタブ回収運動で園に車椅子寄贈
 - 8月
福祉施設を学ぶ「ミニ・ワークキャンプ」に標茶高校の生徒7人が参加し、利用者と交流を深めた
- 平成9年
(1997年)
- 7月
恒例の縁日祭でSHIBECHASO乱舞隊がYOSAKOIを披露
 - 8月
虹別中学校の生徒がボランティア活動で園を訪問
- 平成10年
(1998年)
- 1月
ボイラー入替改修工事
 - 5月
端午の節句に合わせて標茶民謡会、磯分内民謡会が民謡ショーを披露
 - 8月
ボランティアグループ「和(なご)む会」の慰問活動が10年目を迎える
 - 12月
標茶バレエ研究所による慰問公演

標茶の動き

- 標茶町コンベンションホール「ういず」落成式開催
北海道東方沖地震発生
(22時23分 M8.1 震度5)
- 花いっぱいコスモス推進会議発足
- 野外アリーナ「JOY」落成式開催
阿歴内第二小学校廃校 阿歴内小学校に統合
しべちゃどんぐりスタンプ会発足
タウン誌「Case-Te」創刊
全国コスモスサミット開催
- 標茶町町内会・地域会連絡協議会設立
- 標茶インターネットプロジェクト(SIP)発足
- 標茶町立病院落成記念式典開催
- 釧路新聞標茶支局開設
第1回標茶町シルバーフェスティバル開催
塘路湖エコミュージアムセンター「あるこっと」開館式
阿歴内交流館落成
「ときわ橋」完成渡橋式開催

オーベルジュ・ピルカ・トウロが塘路湖畔にオープン

標茶町ふれあい交流センター落成式

社会の動き

- 松本サリン事件発生
- 関西国際空港開港
- 大江健三郎ノーベル文学賞受賞
- 阪神淡路大震災発生(5時46分 M7.3)
- 地下鉄サリン事件発生
- 村山改造内閣成立
- 橋本龍太郎内閣成立
- 将棋の羽生善治名人史上初の7冠独占
- ペルー日本大使館公邸をゲリラ襲撃
- 消費税5%に引き上げ
- 北海道拓殖銀行経営破綻
- 介護保険法成立
- 第18回冬季オリンピック長野大会開幕
- 小淵恵三内閣発足

1999~2003

(平成11年~平成15年)

やすらぎ園50年の歩み⑥



やすらぎ園の動き

- 平成11年
(1999年)
- 1月
菊乃流菊智会社中が来園し、舞踊ショーを披露
 - 11月
標茶小学校1~2年生児童が来園し、学会会で演じたミュージカルを披露
- 平成12年
(2000年)
- 4月
園長 加藤 孟
介護保険法指定事業開始
ショートステイ事業開始(定員8名)
 - 7月
標茶高校生活科の生徒が花壇造成の奉仕活動
- 平成13年
(2001年)
- 2月
はくてんスマイルコミュニケーション事業によるミニコンサートの開催
 - 8月
虹別中学校3年生21人が来園し、園内で使用している車椅子の清掃ボランティア実施
- 平成14年
(2002年)
- 4月
園長 臼井 好和
 - 7月
園前庭でスタミナ祭開催。ステーキ、流しソーメン、カニなど豪華料理を提供
- 平成15年
(2003年)
- 3月
標茶中学校の生徒がアルミ缶回収で車椅子1台寄贈
 - 7月
ショートステイ事業の定員12名に増員
 - 9月
大地みらい信用金庫標茶支店が地域貢献活動でミニ運動会に参加協力

標茶の動き

- 札幌よさこいソーランまつりに標茶乱蝶舞が初出場
- 標茶町まちづくり町民会議発足
- 「SL冬の湿原号」歓迎セレモニー開催
- 憩いの家や沼リニューアルオープン
- 前標茶町長・名誉町民故阿部悟郎先生を偲ぶ会開催
- 虹別オートキャンプ場オープン
- 「SL冬の湿原号」釧路-標茶間運行開始
- 虹別市街地農業集落排水共用開始
- 釧路法務局標茶出張所廃止
- 上茶安別小中学校閉校式・閉校を惜しむ会開催
- ベンチャー企業「カムイエンジニアリング」設立
- 全道高校駅伝競走大会開催
- 標茶町長選挙で今西猛氏が初当選
- 中虹別小学校廃校 虹別小学校に統合
- 釧路湿原クリーンデー開催
- 平成15年十勝沖地震発生(4時50分 M8.0 震度5)

社会の動き

- 東京都知事選で石原慎太郎が初当選
- 東海村JOC臨界事故発生
- 日の丸、君が代を法制化する国旗国歌法成立
- 道産子宇宙飛行士毛利衛氏、スペースシャトルエンデバーで宇宙へ
- 介護保険制度開始
- 伊豆諸島三宅島噴火
- 家電リサイクル法施行
- 小泉純一郎内閣発足
- アメリカ同時多発テロ発生
- 日朝平壤宣言
- 太平洋炭鉱閉山
- 北海道日本ハムファイターズ誕生
- 住民基本台帳ネットワーク本格稼働
- アメリカ初のBSE感染牛確認

2004～2008

(平成16年～平成20年)

やすらぎ園50年の歩み⑦



やすらぎ園の動き

- 平成16年
(2004年)
- 9月
弥栄小学校の学校農園で収穫された
無農薬野菜（ジャガイモ、カボ
チャ）の寄贈を受ける
10月
標茶消費者協会からひざ掛け20枚の
寄贈を受ける
- 平成17年
(2005年)
- 8月
元横綱大鵬の納谷幸喜さんが慰問
10月
磯分内中学校の学校農園で収穫され
たジャガイモ22kgの寄贈を受ける
11月
N響メンバーによる「室内楽の夕べ」開催
- 平成18年
(2006年)
- 8月
恒例の「盆踊り花火大会」で利用者
や保育園児、地域住民、ボランティ
アら約500人が交流を深める
- 平成19年
(2007年)
- 5月
福祉車両購入
10月
大型全自動ガス乾燥機購入
12月
磯分内中学校の学校農園で収穫され
たジャガイモ2箱の寄贈を受ける
- 平成20年
(2008年)
- 4月
園長 山澤 正宏
5月
標茶民謡会が「端午の節句・民謡
ショー」を披露
10月
特殊入浴装置購入
12月
標茶産そば粉の生産者と「そば丈の
家」が利用者約100人に年越しそば
を振る舞う

標茶の動き

- 町内9会場で市町村合併問題地域懇
談会開催
塘路湖などで鯉がコイヘルペスに感
染し大量死
第1回釧路湿原標茶音楽祭開催
- 上御卒別小中学校閉校式開催
- スーパーフクハラ標茶店オープン
- 標茶柔道同好会創立50周年記念祝賀
会開催
- 「自然の番人宣言」調印式
社会体育施設有料化
今西猛町長が死去
標茶町長選挙で池田裕二氏が初当選
- 弥栄小学校廃校 標茶小学校に統合
- 標茶消防署に高規格救急車が配備
- ツールド北海道2008
第1ステージ 多和平ゴール

社会の動き

- 駒大苫小牧高校が夏の全国高校野
球大会で初優勝
- ギリシャでアテネオリンピック開催
- JR福知山線脱線事故発生
- 愛知万博「愛・地球博」開催
- トリノオリンピック開幕
- 安倍晋三内閣発足
- 福田康夫内閣発足
- 東京マラソン初開催
- リーマンショック発生
- 麻生太郎内閣発足

2009～2013

(平成21年～平成25年)

やすらぎ園50年の歩み⑧



やすらぎ園の動き

- 平成21年
(2009年)
- 6月 受変電設備改修工事
 - 8月 電灯設備改修工事
 - 空調設備改修工事
 - 9月 暖房設備改修工事
- 平成22年
(2010年)
- 3月 JUNC O「歌を贈るコンサート」 inやすらぎ園開催
- 平成23年
(2011年)
- 7月 東日本大震災で被害を受けた介護施設に介護職員1名派遣
 - 9月 敬老祝賀会で鶴居村の丹頂群れ太鼓が勇壮な太鼓演奏、みどり保育園の園児が可愛らしい演舞を披露
- 平成24年
(2012年)
- 1月 標茶町プルタブ回収運動により車椅子1台(遊友号)寄贈を受ける
 - 2月 東日本大震災で被害を受けた介護施設に介護職員3名派遣
- 平成25年
(2013年)
- 5月 虹別の大正琴サークル「虹の会」が慰問演奏会開催
 - 12月 菊乃流菊智会によるクリスマス慰問公演会開催

標茶の動き

- 標茶高校に搾乳ロボットなどを取り入れた新しい牛舎が完成
- 戸籍の電算化運用開始
- 池田裕二町長 無投票再選
- 標茶キロール動物病院開設
- T P P交渉参加反対を訴える町民集会開催
- しべちゃ牛乳200mlパック販売開始
- 磯分内中学校廃校 標茶中学校に統合
- しべちゃ牛乳1ℓパック登場
- 中御卒別小学校廃校 沼幌小学校に統合
- 「核兵器廃絶・平和の町」宣言

社会の動き

- 鳩山由紀夫内閣発足 民主党政権誕生
- 裁判員制度運用開始
- 菅直人内閣発足
- 羽田空港新滑走路、国際線ターミナルの運用開始
- 東日本大震災発生
- 地上波のテレビ放送がアナログからデジタルに完全移行
- 東京スカイツリー開業
- 第二次安倍内閣成立 自民政権へ
- 特定秘密保護法成立
- 2020夏季五輪・パラリンピック東京開催決定

2014～2018

(平成26年～平成30年)

やすらぎ園50年の歩み⑨



やすらぎ園の動き

平成26年
(2014年)
4月
園長 春日 智子
9月
非常用電源改修工事
12月
標茶中学校1年生60人が来園し、箏曲とりこーダー、合唱を披露

平成27年
(2015年)
5月
町内の商店で「お買い物ツアー」開催
8月
LED改修工事
12月
標茶バレエ研究所によるバレエ公演開催

平成28年
(2016年)
2月
調理機器スチームコンベクションオープン購入
8月
グリーングラス慰問公演

平成29年
(2017年)
4月
園長 中村 義人
6月
お話しボランティアの皆様の慰問
9月
「北海柳の舞」による慰問コンサート開催

平成30年
(2018年)
7月
混声合唱団グリーングラスミニコンサート開催
12月
30年間続いたボランティアグループ「和(なご)む会」の慰問活動が最終回を迎える

標茶の動き

池田裕二町長 無投票3選

久著呂中央小中学校廃校 沼幌小学校、標茶中学校に統合
標茶町農業研修センター(しべちや農楽校)開設
阿歴内地域開拓100周年記念式典開催

茶安別入植100年記念式典開催
阿歴内小中学校廃校 中茶安別小中学校、塘路小中学校に統合
台風11号接近により避難勧告(1,152世帯 2,376人)

五十石駅廃止

五十石橋開通(H25年より工事)

日ハム応援大使 斉藤祐樹選手、清水優心選手決定

大雨により避難指示(1,270世帯 2,640人)

標茶町博物館二・タイト開設

標茶町長選挙で佐藤吉彦氏初当選

社会の動き

御嶽山噴火、57人死亡6人不明

広島で土砂災害、住宅が流され74人死亡

安全保障関連法成立

TPP交渉大筋合意

北海道新幹線開業

熊本地震発生(M7.3 死者150人超)

日銀マイナス金利初導入

衆院選で自民党大勝 民進党分裂

森友・加計問題政権揺るがす

トランプ米政権発足

オウム松本死刑囚らの刑執行

全国で歴史的猛暑

平昌五輪で日本最多メダル獲得

2019～2024

(令和元年～令和6年)

やすらぎ園50年の歩み⑩



やすらぎ園の動き

- 平成31年
令和元年
(2019年)
- 3月
ボランティアグループ「和（なご）
む会パート2」が歌や踊りを披露
9月
非常用電源改修工事
- 令和2年
(2020年)
- 4月
園長 中島 吾朗

コロナ対策として「オンライン面会」開始
- 令和3年
(2021年)
- 4月
園長 穂刈 武人
5月
簡易陰圧装置購入
11月
アクリル板越しの直接面会開始
- 令和4年
(2022年)
- 7月
南棟でコロナクラスター発生
(利用者5名、職員4名感染)
11月
汚物処理専用業務用全自動洗濯機購入
12月
北棟でコロナクラスター発生
(利用者7名、職員1名感染)
- 令和5年
(2023年)
- 1月
特殊入浴装置購入
5月
3年ぶりに居室での面会再開
7月
車椅子仕様車両購入
- 令和6年
(2024年)
- 1月
北南両棟でコロナ及びインフルエンザの集団感染発生
4月
給食業務の外部委託開始
6月
6月1日開園50周年を迎える

標茶の動き

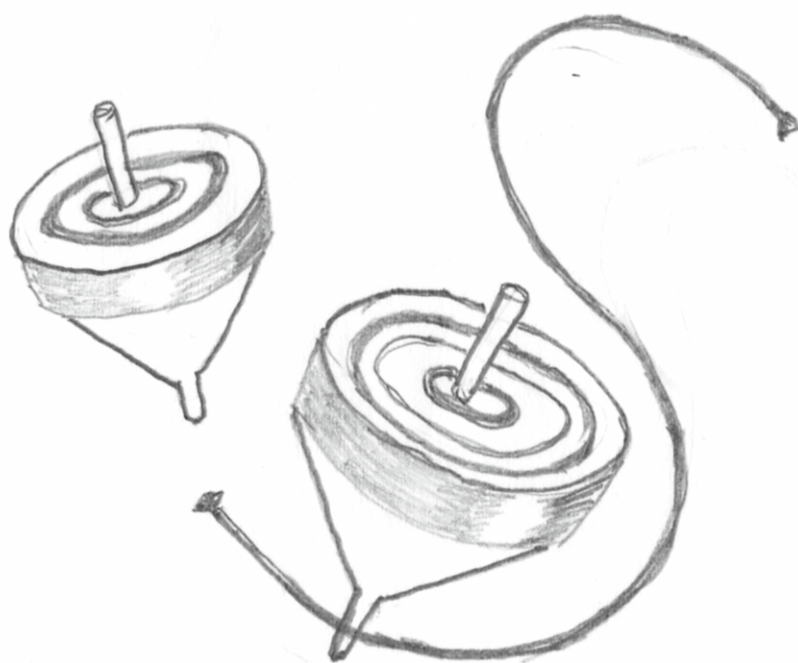
- 憩の家かや沼営業休止
ふるさと応援大使に高橋恵子氏就任
磯分内小学校開校100周年記念式典
開催
- 標茶中学校新校舎完成
- 標茶町全域で光回線サービス利用開始
- 標茶町長選挙で佐藤吉彦氏再選
- 塘路中学校休校
- 沼幌小学校開校100周年記念式典
開催

社会の動き

- 大阪でG20開催
ラグビーW杯開幕
消費税10%に引き上げ
- 新型コロナウイルス感染拡大
(国内に緊急事態宣言発令)
菅義偉内閣発足
「鬼滅の刃」歴代興行収入1位に
- 新型コロナウイルスの猛威続く
- 東京オリンピック・パラリンピック開催
- 岸田文雄内閣発足
- 新型コロナウイルスの猛威続く
北京冬季五輪開幕
ロシアによるウクライナ侵攻
知床半島沖で観光船沈没事故発生
安倍元首相選挙演説中に銃撃
- 新型コロナウイルス5類に移行
全国で感染対策の緩和が進む



50周年に寄せて





開園50周年を迎えて

やすらぎ園園長

穂 刈 武 人

標茶町立特別養護老人ホームやすらぎ園は昭和49年の開園以来半世紀にわたり、利用者の皆様と共にゆっくりですが着実に歩みを進め、令和6年6月1日に開園50年という大きな節目を迎えることができました。これもひとえに地域の皆様をはじめ、ご家族の皆様、ボランティア団体の皆様、関係各所の皆様など多くの関係者の皆様に支えられてきたことはもとより、利用者様の笑顔や喜び、幸せを働く糧に、50年の長きにわたりたゆまぬ努力を積み重ね、共に汗を流し続けてきた多くの歴代職員の皆様がいたからこそ、感謝の気持ちを新たにしております。

この50年を顧みますと、日本の社会構造は核家族化と少子高齢化の進展により、家族だけで介護を続けていくのは大変困難な時代となり、国のゴールドプランや新ゴールドプランなどの施策により高齢者介護サービスの拡充が図られ、平成12年には国や都道府県、医療保険者などが重層的に支え合い、それまでの措置制度から利用契約制度へと移り変わり、サービスを選択できる仕組みとなった介護保険制度がスタートしました。そして現在の日本の超高齢化社会がもたらす「2025年問題」は、要介護者の増加による介護・医療費などの社会保障費の負担増、労働人口の減少による深刻な介護人材不足、高齢者の増加による医療体制の逼迫、老老介護、ヤングケアラーなど様々な課題を抱え、社会全体に大きな影響を与え続けることが懸念されています。

このような日本の社会情勢にあって、特別養護老人ホームやすらぎ園の果たすべき役割はこれまで以上に重要になってくると強くその使命と責任を感じるとともに、町民皆様の大きな期待と希望、そして確かな需要は今後も益々高まってくると認識しているところであります。

やすらぎ園の50年の歴史は、多くの人との出会いとつながりの歴史です。そしてその歴史の中にやすらぎ園の原点があります。私たち職員一同は、先輩職員の皆様が築き上げたこの歴史を大切にしながら、50年の歩みに自信と誇りを持って、次の50年に向けて心を新たに、これからも地域の皆様、利用者の皆様、ご家族の皆様から愛され、信頼され、期待される施設となるようしっかりと歩みを進めてまいります。

今後とも、今まで同様にご指導ご助言並びにご支援を賜りますようお願い申し上げます。





変遷

やすらぎ園元園長

佐藤 徹

特別養護老人ホームやすらぎ園が開設以来ここに大事なく50周年を迎えることができましたことに心よりお喜び申し上げます。

昭和49年6月開設のため準備事務局職員、開設初代園長はじめ介護職員の方々が日夜ご苦労と経験しながら、今日存在する施設運営の基礎を作り上げた事に対して心より敬意を表します。

さて、私事ではありますが平成7年4月より当園の職員の一員として勤務することになり、責務を果たすまで色々あり例を挙げますと、季節にちなんだイベントで屋外で食事をする機会が少ない利用者が、夏を元気で過ごして頂きたいということで野遊会を実施する訳ですが、運悪く当日雨に降られ楽しみにしていた野外での食事が中止となり、屋内での食事となる訳です。早速翌朝には利用者から雨降り園長と命名されたこと。

また、申し込みされている家族から町が建築し、町が運営している施設なのだから町民を優先的に入園させるべきではないかと言われ、制度について話しをし理解を求めたときがありました。特別養護老人ホームの使命である、利用者が自分の家として暮らせる生活の場であることを念頭に、食事・排泄・入浴の3大介護と安心安全のため職員皆が日夜努力され、園の運営に対して各団体、機関、各学校の児童生徒、ボランティア等々の多大なるご協力を頂き大事なく職務を終わらせて頂き心より感謝申し上げます。

昨今、社会の変化に伴い各種企業等で人手不足が問題となっています。そのなかで介護離職者が増えており、介護職を募集しても集まらない状況のため施設運営に支障を来しているとも言われています。

このような社会状況の変化を誰が予想したでしょうか。2025年には団塊の世代全員が75歳以上の高齢者となり、今後ともその傾向が続くとみられ介護を受けたくとも受けられない状態になるのではないかと。老後の不安を抱かせないためにも今後社会全体で考えなければならない問題と思っていますところでは。

今後とも園長はじめ職員が一体となって利用者が安心、安全に暮らせる施設運営に取り組まれるよう願っております。

終わりに特別養護老人ホームやすらぎ園の益々の発展と、園長はじめ職員の皆様方のご健勝をお祈り申し上げ発刊のお祝いいたします。





標茶町立特別養護老人ホーム やすらぎ園50周年記念に寄せて

やすらぎ園元園長

加 藤 孟

やすらぎ園の事業開始から27年目を迎える、2000年4月から2002年3月までの2年間、老人福祉施設、標茶町立特別養護老人ホームやすらぎ園に勤務させて頂きました。丁度2000年介護保険法が施行され、社会福祉基礎構造改革が始まり、老人福祉施設を利用するに当たっては、利用者の立場に立った社会福祉制度の機運が高まった時でありました。すなわち、福祉は行政に申請しての措置から、利用者が自らサービスの種類や事業者を選んで利用する契約へと変遷した時で、やすらぎ園でも新しく入園する場合には、入園されるご本人やご家族に、丁寧にその施設が作成している重要事項説明書の内容を説明して、理解を得た上で入園されますが、その仕組みは現在も継続されております。

介護保険の幕開けであったこの時代は、利用者が選択し、事業者と契約を交わして、正に平等・対等の立場でサービスを受け、提供するという容が整ったといえます。

2年間の思い出は色々ありましたが、夏祭り（縁日祭）の夕方から始まる盆踊りでは、園長が「へんなおじさん？」に扮して利用者や家族と手を叩いて遊び合ったり、冬の誕生会の時に「バナナ売り！」を興じて、喝さいを浴びたりしたことも脳裏に残っています。

標茶町の特別養護老人施設が事業を開始したのは、北海道内でも早い時期であり、他の市町村からの視察・見学が多くあったと聞き及んでいます。

近年は、どこの職場でも人材不足からその施設の運営・経営に頭を悩ませる事柄が増えておりますが、超高齢社会の時代に突入し、益々欠かせない施設として、活力と生きがいを醸し出せるやすらぎ園であり、入園者・ご家族・職員の御多幸と御健勝をご祈念申し上げます。





開園50周年記念に寄せて

やすらぎ園元園長

白 井 好 和

特別養護老人ホーム「やすらぎ園」の開園50周年記念にあたりまして心よりお祝い申し上げます。

私は、平成14年4月に着任しまして、平成20年3月退任と同時に、定年退職致しました。

その間、関係各位及び職員の皆様方には大変ご協力いただきました事に心よりお礼を申し上げたいと存じます。

思いおこせば、在任中何事もなく無事務めさせていただいた事、関係者、職員の皆様方に厚くお礼申し上げたいと存じます。

着任時より、釧根老施協（釧路、根室管内老人福祉施設協議会）会長という重責ある職務を担当する事になり、大変な時期でもありました。また、どこの施設も環境、職員の待遇、職員の不足等大変な時代でもありました。この度の開園50周年を機に、今後「やすらぎ園」が一層発展して経営運営される事をご祈念申し上げお祝い申し上げます。





開園50周年を祝して

やすらぎ園元園長

山 澤 正 宏

開園50周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

開園以来、今日まで長きにわたり、やすらぎ園利用者様の日々の生活を支えてこられた職員の皆様に敬意を表します。

平成20年から6年間勤務した当時は、日赤奉仕団や和む会、保育園、混声合唱団グリーングラス、家族会など園児から大人まで地域の皆様が園の行事をご支援、ご協力してくださりました。

たとえば盆踊りの行事では日赤奉仕団の方々が仮装して、やぐらの周りを囲んで祭りを盛り上げてくださいました。敬老会では、みどり保育園児や鶴居村の丹頂群れ太鼓の皆様が、端午の節句時期には標茶民謡会の皆様、毎月の誕生会には和む会の皆様が来園されて踊りや演奏、民謡や歌などを披露してくださり、これに対し利用者様は一緒に歌ったり、タンバリンや手拍子を打つなどして楽しまれ、園内はとてものにぎやかでした。また、標茶産そば粉の生産者様と「丈の家」様が年越しそばを振る舞ってくださったこともあり、利用者様は目を細めて笑顔でおいしくすすっていました。どれも懐かしい思い出です。

おかげさまで利用者様はハリのある日常と心豊かな生活を送られていました。改めて心より感謝申し上げます。

今後も、やすらぎ園に寄せられる期待は一層高まっていくことと思われます。利用者様が安心して幸せな生活が送られるよう職員の皆様は、健康にご留意されながら、ご活躍されますようご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。





やすらぎ園に想うこと

やすらぎ園元園長

春日 智子

50周年おめでとうございます。

やすらぎ園が社会福祉施設でスタートし、時代の変化とともに介護保険制度ができ、半世紀の時を経て現在の形になっていることの歴史を感じるところです。

私は平成26～28年度にやすらぎ園園長として務めさせていただきました。今まで役場の窓口業務が多く、町民の方と接する機会はあったものの、介護施設に勤めたことはなくプレッシャーがありました。

園は利用者様のお家なので、普通にお家で生活するように朝の着替えから始まり、食事、お風呂など利用者様の尊厳を守って日常生活を過ごせるようにしています。

それで共同生活をするのですから、いろいろな問題も出てきますが、そこを見逃さず拾い上げて対応策等を協議し、職員共通の認識のもと利用者に向き合う。このことがいかに大切で重要なことか。

外から見ただけでは分からないことが何と多いことか。法に基づき利用者様の日常生活を維持するのがいかに大変なことかを実感しました。と同時に事務室の職員を始め介護職員、看護師、栄養士や調理職員など一体となって利用者様一人ひとりのお世話をしていることに頭が下がりました。

利用者様やその家族の方が安心して暮らせるのはやすらぎ園があるからです。

50年もの永きに渡りやすらぎ園を支えてきた諸先輩、皆々様に敬意を表するとともに、今後も頼りになる、頼られる施設であり続けられますよう心から願い、つたない言葉でございますが、50周年を迎えるに当たり想いを述べさせていただきました。





はじめての福祉の仕事でした

やすらぎ園元園長

中 村 義 人

開園以来50年という長い年月を標茶町の介護福祉へ貢献されてきた関係機関や直接介護の現場で入園者様とふれあい、泣き笑いされ、苦楽をともに共有してきた施設職員の皆様ありがとうございます。これからも心身をいたわりながらご尽力くださいますようお願い申し上げます。

さて、介護施設を取り巻く社会情勢の変化が想像もしていなかった状況に向かっているように感じています。中でも人口減少時代の到来が危惧され、施設職員の人材不足が一番の心配事です。

園長時代の3年間は、役場職員としては初めての福祉関連の仕事で、それまで見聞きしかしていなかったこともあり、どんな仕事内容で、園長のしなければいけない事を把握するだけで過ぎた1年でした。介護を直接体験する事で自分自身が成長し、これからの人生観が少しだけ変化した気がしました。

最後になりますが、やすらぎ園が将来にわたり介護福祉の中核を担い地域住民から頼りにされる施設である事をお祈りいたします。





開園50周年記念を祝して

やすらぎ園前園長

中 島 吾 朗

特別養護老人ホームやすらぎ園が開園50周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

私は、園職員として勤務させていただいたのは、令和2年4月から令和3年3月までの1年間でとても短い期間でした。

この時すでに、人の生命を脅かす新型コロナウイルスが全世界に猛威を振るっている状況でした。

利用者様の安全を最優先に、職員一丸となり、お取引業者様の協力をいただきながら国の交付金を活用し様々な対策に努めました。

目に見えない敵ウイルス対策は、利用者様とご家族様のご理解とご協力を頂きながらも、日々の生活や行事などに制限、制約を行わざるを得ない状況でした。

ご家族様との面会禁止や楽しみであった恒例の行事などを縮小または中止するなど、利用者様にとって園での生活が退屈なものになっていた時期だったと思います。

後に、モニター越しに顔を見ながら会話ができるリモート面会を行なえるようになり、利用者様やご家族様にも少しだけ安らげる時間を持つてもらうことができました。楽しそうにお話しされている様子を拝見して、手を握りながら話ができる日が一日でも早く来るのを願ったものでした。

昨今、様々な社会環境が厳しさを増す中ではありますが、これからも園長はじめ職員の皆様には、ご自身の健康に留意され、引き続き利用者様の幸せ、安心安全のためご活躍をされますことをご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。





開園50周年に寄せて

やすらぎ園前生活相談係長

村 山 美由紀

やすらぎ園開園50周年記念誌の編纂に心からお祝い申し上げます。

私は18歳実習生として初めてやすらぎ園と関わり、利用者様と職員との関係性や温かさに惹かれ就職、一身上の都合でこの春退職しましたが、31年間勤めさせていただきました。

私が入職した平成4年は、施設の大規模改修・拡張工事の年。20名は町立病院の病室に間借り、残り80名は片側の棟に寄っていただき工事音が響く中の生活を余儀なくされました。病院での間借りは、日中一人・夜間一人の職員が対応。新人の私にとっては、利用者様の状態を一人で判断することに対し心細かったことが思い出される。そのような中で翌平成5年釧路沖地震。夜勤だった私は、揺れる中車椅子に乗っていた利用者様を転落しないよう抑えていましたが不安そうな表情が今も忘れられません。居室内はベットが乱れ、停電・断水、幸いにも怪我人はなかったが、地震後心配してぞくぞくと集まってくれた先輩職員たちの顔を見て心の底からはっとしたのを覚えている。ここ最近では新型コロナウイルス対応。面会制限について、感染拡大予防と人権尊重、尊厳について悩んだ日々。

様々なことが思い出されますが、やすらぎ園の運営方針でもあります、「利用者の立場に立って」という言葉がいつも自分の迷いを消してくれた気がします。

やすらぎ園も50周年、今後は新施設建設など変革の時を迎えると思います。どのような環境や制度になったとしても、方針や積み重ね続けてきた歴史を大切に、更なる発展を願い思い出を含めたお祝いの言葉といたします。





やすらぎ園創立50周年に寄せて

やすらぎ園家族会副会長

鈴木 義 次

やすらぎ園創立50周年、誠におめでとうございます。

もう半世紀ですね。

職員の皆さまのご苦勞があり今のやすらぎ園があることに深く感謝申し上げます。

2020年のコロナウイルスでは感染防止対策に向けてご努力とご尽力を重ねてこられました職員の皆さまのおかげで、利用者の皆さんも安心して過ごせた事と思います。

これからも、地域の人々から信賴され支えられる施設であり続けることを祈っています。

最後に利用者のご家族、施設関係者の皆さまが益々発展されますよう心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。





50周年を祝して

やすらぎ園家族会副会長

千葉 澄子

この度、やすらぎ園が50周年を迎えられましたことに、心よりお喜び申し上げます。

日頃の関係各所の皆様のご努力、日々の介護員様の献身的な仕事ぶりに、改めて、心より感謝申し上げる次第です。

私事ですが、私はこの標茶へ嫁ぎ、酪農をして40年になります。標茶の基幹産業であります酪農は、50年で機械化が進みめざましく進歩しました。

この土地に開拓に入り、牛一頭から酪農を築き上げたのが、今のおじい様、おばあ様の皆様です。昔の人はゼロからの出発で開拓し築くのですから、大変苦勞なされた事と思います。そして、その努力のおかげで今の標茶があるのだと思うと、頭が下がります。

やすらぎ園に入園されているおじいちゃま、おばあちゃま、どうか余生を楽しく過ごされ、園より標茶町の発展を見守っていただければ幸いです。

結びになりますが、今後のやすらぎ園の益々の発展と、利用者の皆様、働いていただいている皆様の御健勝を祈念し、50周年のお祝いのあいさつとさせていただきます。



One for all, all for one

(一人はみんなのために
みんなは一人のために)

やすらぎ園では、事務所・介護・看護・調理のチームメンバー全員が
目指す目標をしっかりと共有し、その目標に向かって各チームが持てる
専門性を十分発揮しながら日々連携を図っています。

「明るく元気のある職場」をモットーに、チームケアの充実向上に努
めています。

事務所の紹介



次長兼業務係長
兼生活相談係長

齋藤 俊 介

やすらぎ園との「ご縁」

私が生まれた約半年後にやすらぎ園が誕生したという意味では、やすらぎ園と私は同世代（満50歳）です。

さらに私事でございますが、平成24年4月以降、途中丸2年間の不在期間を除いてもトータル10年間以上の長きにわたり、やすらぎ園事務室で働かせていただいております。

通常の事務系職員ではほばない経歴であることは私自身も強く感じておりますが、これらの事実にはどうしても強いご縁を感じてしまうものです。

さらには、やすらぎ園での経験のおかげで専門資格を取得でき、生活相談係長も兼務させていただけていることは、私にとって大きな人生の転機となっております。これもご縁と言えるでしょう。

多くのご縁に感謝しながら、福祉専門職も兼ねているという私の特性を活かしながら、全力で利用者の権利擁護、ご家族の安心、地域の皆様と職員からの信頼に応えられるよう、自己を省みることを忘れずに学習と研鑽を続けながら業務を行っていくことができたいと思っております。



庶務係長

榎山 友 理

開園50周年に寄せて

「やすらぎ園」開園50周年を迎えられ誠にありがとうございます。この大きな節目の年に施設運営に携わることができ誇りに思います。

平成31年4月1日やすらぎ園庶務係長を命ぜられ、その翌年1月には、日本で最初の「新型コロナウイルス感染症」感染者が確認され、その後、急速に日本中に感染が広がり、マスクや消毒剤等、感染症対策に必要なあらゆる物品が手に入りにくい状況となりました。世の中では緊急事態宣言が出され、人と人との交わりが絶たれることとなり「やすらぎ園」での生活も一変しました。面会、外泊、各種行事の中止や縮小などをせざるを得ない状況となり利用者様、ご家族様にはご不安な思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。

また、私たち職員についても目に見えないウイルスから利用者様を守るため、自分自身や同居家族にまでも感染対策・行動制限等を強いることとなり、精神的にも肉体的にも大変厳しい状況となりました。特に、利用者様と直接接する介護・看護職員の心労は計り知れません。日々、目まぐるしく変わる感染状況や情報に翻弄されながらも、この危機を乗り越えるため職員が一丸となり一歩ずつ前へ進んできました。

私自身も、このような状況下で今何が必要で何をしなければならないのか、自分の役割を考え「全ての経験は学びであること」を念頭に行動してきました。この経験を自分の財産とし、これからも皆さんと共により良い施設づくりに微力ながら尽力して参ります。



生活相談員

伊藤 和 美

開園50周年を祝して

開園50周年おめでとうございます。

前回記念誌が出たとき私は、臨時職員として入ったばかりで25周年記念誌が出た時でした。それから25年もたったのかと思うと月日が経つのが早いものだつくづく感じます。

振り返って想うと、私と園の関係は長く、補助輪付きの自転車で、園の中庭で遊んでいた記憶がよみがえります。裏手には小さな小川が流れており、ザリガニ取りや水遊びをしていた記憶があります。その頃は曾祖母が入園していて両親と一緒に面会に来たことを覚えています。その時は自分が働く場所として選ぶこととなるとは、考えてもいませんでした。

当園に就職して、日々多くの利用者様、先輩たちとの関わりの中で、生の経験談から人生の勉強をさせていただいております。私がここまで成長することが出来たのは、やすらぎ園のおかげと言っても過言ではありません。最近ではコロナなど困難な環境もありましたが、小さな感染で止まり乗り切ることができました。

生活相談員として、今後も利用者様が安心して暮らせるように業務を行っていきます。



生活相談員

氣 仙 瑞 佳

開園50周年をお祝いして

やすらぎ園開園50周年おめでとうございます。

私はやすらぎ園で働き始めて9年目となります。訪問介護、デイサービス、居宅ケアマネージャーを経て初めての施設勤務で最初は不安と戸惑いでいっぱいだったのを覚えています。施設相談員の仕事は幅広く、入退園の調整や利用者様・家族様からの相談対応、送迎、買物、他職種連携のための調整など多岐にわたります。在宅とは違い初めて経験することも多く、先輩職員から様々なことを学ばせていただきました。

「出来ないことは増えていく。けれどそのなかでもその人らしい生活を送ってもらうためにはどうしたら良いのか・・・。」やすらぎ園の職員はいつもこうやって、一人一人の利用者様と向き合い自分達ができる最善を尽くしています。私はそんな職員がいる職場で働くことができ嬉しく思います。

これからも、一つ一つの仕事に心を込めて気付きを大切に、利用者様・家族様の心に寄り添えるよう日々の業務にあたっていきたいと思っております。



介護総括リーダー

名 越 大 輔

笑顔を忘れずに

やすらぎ園50周年お祝い申し上げます。

私がやすらぎ園にお世話になり23年が経ちました。今考えるとあっという間だったように感じます。沢山の利用者様・ご家族様と過ごさせて頂いた中で、標茶町の施設だからこその大切さ、重要さを感じての日々でした。

モール温泉の入浴ができ、盆踊りには地域の方々も一緒に行うことができたり、地域で活動している方々の慰問があったりと、標茶町全体で支えられている、町民の皆様に大事にされている施設だと実感しています。

利用者様一人ひとりにとってその方らしく生活するためには自分に何ができるのか考え携わってきました。時には悩み立ち止まることもありましたが、利用者様の笑顔にいつも助けられてきました。今では利用者様の笑顔が一番だと、それが答えだと思っています。

これからも沢山の笑顔が見られるよう、利用者様が明るく元気に過ごして頂けるよう努力していきます。



事務所スタッフからのお祝いメッセージ



渡辺美由紀 事務員

開園50周年おめでとうございます。

利用者の皆様が、やすらぎ園での生活を安全に、快適に過ごせるよう、引き続き仕事に取り組んでまいりたいと思います。

中村 義人 事務員

以前は正職員として3年間務め、令和6年5月から4年ぶりに介護のお手伝いをさせていただいております。自分自身も年齢を重ね介護職の必要性を実感しております。



北棟の紹介



北棟リーダー

秋山良太

過去の経験と未来の言葉

やすらぎ園開園50周年おめでとうございます

私がやすらぎ園で働き始め20年が経ちました。正直、20年前を思い出すと介護に興味がない人間がここまで長く働き続けられたのもいろいろな「縁」であるのかと思います。標茶という町との縁、やすらぎ園の利用者の皆様との縁、職場の先輩・後輩の皆様との縁、そして家族や友人との縁、様々な縁で自分自身支えられてきたものだと感じております。

さて、日々介護をしていると迷いや疑問にぶつかることがあります。それは当然のことであり自分自身を成長させてくれる糧となっています。そのようなときは必ず決めていることがあります。それは、「これでいい」ではなく「これがいい」という考えです。

「これでいい」という考えは消極的で諦めや中途半端な答えになりがちで、逆に「これがいい」と思える判断やベストな答えを導けるよう心がけています。たとえ失敗や判断に誤りがあったとしても、「これがいい」とその時点で判断したほうが次の答えに繋がるはずです。

「これがいい」と思える答えを日々追い求めながら、利用者の皆様が素敵で豊かな生活を送れるよう北棟一丸となり介護にあたっています。



北棟サブリーダー

大倉敏幸

やすらぎ園50周年を迎えるにあたって

この度は特別養護老人ホームやすらぎ園が開設から50周年を迎えられますことを心からお祝い申し上げます。

私がやすらぎ園で働き始めてから23年になりますが、世界規模でのコロナ感染の影響、人材不足、利用者定員削減など様々な大きなことがありました。

コロナによる外出の自粛、学校の休校、百貨店や飲食店への利用制限、緊急事態宣言というドラマや映画のような事が現実になり、やすらぎ園もそのコロナの影響を受け、クラスターになった時期もありました。大変困難な状況もありましたが皆さんと協力しあいながら乗り越えてきました。

職員の人材不足により、利用者の定員に対応することができないくらいな状況になりましたが、業務の見直しを行い試行錯誤しながら新しい業務体制を作り対応してきました。

これからも様々な事があると思いますが、自己研鑽に励みながら職員同士協力し合い、よりサービスの向上ができるようにしていきたいと思っています。



北棟介護スタッフからのお祝いメッセージ

菅野 美幸 介護員

開園50周年記念誠におめでとうございます。
利用者様が不安なく、安心して過ごすことができますよう明るい雰囲気作りに努めてまいります。

佐々木奈美 介護員

50周年おめでとうございます。私にとってやすらぎ園は今までの人生で半分以上過ごした場所で悩んで苦勞して大変だった事はありませんが、たくさんの利用者と一緒に過ごせた時間と思い出もあり、それを大切にしていきたいと思います。

齋藤 一代 介護員

50周年という節目の年に働けることを嬉しく思います。
これからも利用者様に少しでも快適に過ごしていただけるように他のスタッフと協力しながら関わっていききたいと思います。

落合 友恵 介護員

今後も利用者さんの笑顔が少しでも増えるよう努力していきたいと思います。

川口ふじ子 介護員

創立50周年誠におめでとうございます。
やすらぎ園、デイサービス勤務を経て今年で26年目となり色々な事が思い出され懐かしく感じられます。今後もさらなるやすらぎ園のご繁栄を心よりお祈り致します。

山澤 潤也 介護員

やすらぎ園開園50周年記念おめでとうございます。
平成28年から勤めて年々時間が経つのが早く感じます。これからも精一杯努めていきたいと思います。

橋本志満子 介護員

この度は開園50周年お迎えされましたこと誠におめでとうございます。
地域の皆様に愛されるやすらぎ園で勤務させて頂き感謝しています。
さらなる発展を心よりお祈り申し上げます。

京極 典子 介護員

50周年おめでとうございます。

佐沢 道子 介護員

50周年おめでとうございます。
まだまだ皆さんにご迷惑のかけ通しですが、利用者さんの笑顔と、皆さんの叱咤激励のおかげでなんとか続けております。ありがとうございます。

萬井 契翔 介護員

50周年誠におめでとうございます。
皆様のご支援に感謝しつつ、末永くサービスを提供できるように努力してまいります。

本間 朱里 介護員

勤務が始まり数か月が経ちました。不慣れな事が多いなか職員の皆さんには沢山助けていただきました。これからも皆さんに手を貸してもらいながら一つずつできることを増やしていこうと思います。利用者の皆様と元気に明るくがんばっていきたいです。

田中ひとみ 介護員

明治、大正、昭和、平成、令和の時代に生き抜いた方々、資格のない私に指導してくれた職員の方々、つたない介護の私に笑顔を見せてくれる利用者との時間は私の宝物です。やすらぎ園がいつまでも標茶町の施設である事を願います。

岡本 静香 介護員

この度は50周年をお迎えされましたこと誠におめでとうございます。
2022年に入職しまだ3年目ですが、日々ご利用者様から元気をもらいやりがいと充実を感じながら勤めさせていただきました。今後も介護技術やスキルを上げ、一人ひとりに適したサービス提供ができるよう精進してまいります。



南棟の紹介



南棟リーダー

今 貴 弘

理想を現実に

私がやすらぎ園で働き始めたのは平成19年4月からです。

初めての介護職として右も左も分からず失敗を繰り返し、利用者の皆様、先輩方には大変ご迷惑をお掛けしたと思います。介護というのは誤った考え方、関わり方で、その方の生活を大きく変えてしまう難しさがあると学びました。しかし、利用者さんが求めている事、理想に近づけるお手伝いを出来る事がこの仕事の大きな魅力であると思っています。

やすらぎ園創立50周年という記念の年に私は初めて介護リーダーという役割を任せられました。分からない事ばかりで失敗し、職員の皆様、利用者の皆様には大変ご迷惑をお掛けしていると思います。ですが、私が感じた介護の魅力を職員の皆様と共有し、より良いケアを利用者の皆様に提供出来る様サポートしていく事が私の役割ではないかと考えています。利用者の皆様、職員の皆様のお役に立てる様、介護員として、リーダーとして努力していきたいと思っています。



南棟サブリーダー

山 本 史 明

ルーツ

昭和49年6月に開園当時より、50名の利用者様と11名の介護員の中の一人に私の母がおり、50名の利用者様を100名へ増える時にやすらぎ園を増築の為に大工として働いた中に私の父がいました。

母は昭和54年に退職し、同年に私が生まれ、平成13年4月より、父と母が出会ったこのやすらぎ園で職員として働かせていただく事となり、20年が経ち、今年で開園50周年、誠に感慨深いです。50周年の中には、人と人との出会い、別れ、喜怒哀楽の積み重ねがあり、今日を迎えられているのは、今まで園の為、利用者様の為に尽力されていた先輩の方々のおかげだと実感しております。

現在、利用者の皆さんの笑顔と同僚の支え、上司や先輩方のご指導、後輩の一生懸命な姿の中で、私のルーツであるやすらぎ園で、従事を出来ている事に感謝し、今後の発展を心願っております。



南棟介護スタッフからのお祝いメッセージ

武藤みゆき 介護員

振り返ると色々なことがたくさん思い出されます。
これからも園を利用されている方々の毎日が笑顔で穏やかに過ごせますよう努力していきたいと思っています。

半田 真紀 介護員

気持ちに“寄り添う”介護を大切に・・・していきたいです。

松田 可織 介護員

今後もサービスの向上を目指し、日々努力していきたいと思います。

大和田貴行 介護員

50周年おめでとうございます。
この節目に立ち会える職員として恥じることの無いよう、今後も自覚を持って、仕事に励んでいきます。

吉澤 求 介護員

利用者様にはいつも元気と笑顔を頂いています。
これからも利用者様が安心・安全に過ごせるようサービス向上に努めていきたいと思っています。

西森 直人 介護員

50周年おめでとうございます。これからも利用者皆様が穏やかな日々を過ごせるようサポートできればと思います。その中で自分自身も人間性を高めていければ良いなと思います。

嵐 和也 介護員

入職し3年目の介護員として、この素晴らしい節目の50周年を迎えることを心からお祝い申し上げます。私自身もこの職場で働かせていただいていることに誇りを感じています。
今後も入居者様一人ひとりの笑顔と幸せのために精一杯尽力していきます。これからは皆様のお力をお借りし共に歩んでいけたらと思います。宜しくお願いします。

橋本 千里 介護員

認知症の方でも名前はわからなくてもこの人見たことある、この人と会ったら落ち着く・・・などわかるので、その様な職員になれる様に頑張ります。毎日笑いのある日々になれるように過ごしていきたいです。

沖崎 信子 介護員

やすらぎ園創立50周年記念おめでとうございます。これからも利用者さん一人一人に合ったケアを行い、利用者さんが笑顔で健康に心地良い生活が過ごせる様努めていきたいです。

沢崎小百合 介護員

開園50周年おめでとうございます。各先輩方のご指導のおかげと、利用者様の笑顔、ありがたい言葉が励みとなり、これまで勤めることが出来ました。年月を経て、介護の奥深さを知り、日々が学びだと思っております。利用者様が不安なく、安心して過ごせる様、又、ご家族様が安堵して頂ける施設である様、微力ながらもうしばらく努めて参りたいと思います。

和田千枝子 介護員

利用者様、職員の皆さんの笑顔や励ましの言葉でこれまで頑張ってきました。これからは利用者様が笑顔で過ごされるよう努力していきます。

西内 里佳 介護員

創立50周年記念、誠におめでとうございます。開園25周年、そして50周年と二度お祝い出来たことを心より嬉しく思っております。私にとっては残り1年ですが、自分に与えられた仕事に精進し、信頼に値する職員になれるよう、利用者様の笑顔と共に日々努力していきたいと思います。

田中千津子 介護員

「やすらぎ園」に勤めさせていただき長い時間が経過しましたが、今に至っても利用者様に満足していただける介護が出来ているだろうか？と日々自問しております。そんな時皆様が笑顔で応えてくださった時、とても嬉しく、良かったと実感します。これからは笑顔でたくさん応えていただけるように励んで参りたいと思っています。



看護の紹介



看護係長

宮川 百 美

50周年に寄せて

やすらぎ園創立50周年おめでとうございます。

平成6年から勤務していますが、入った頃の園では、職員と一緒に掃除作業をしている利用者さんがいたり、観楓会や仮装盆踊りがあったり、介護保険制度はまだ始まっていませんでした。

現在では、入園している利用者さんのほとんどが自分の親と同じ年齢となり、介護保険開始の混迷と苦労を経て、50年のやすらぎ園の歴史の半分以上に自分が携わっている事を考えると、とても感慨深く感じます。

今では医療的処置や、管理が必要な利用者さんも多くなり、より一層、介護、看護、医療の連携の重要性が増しています。記憶にも新しい、コロナ禍での日常生活が一変してしまった日々は自分の役割、やるべき事は何なのかを改めて考える機会にもなりました。

利用者さんが安心して穏やかに過ごせる時間は、私たち職員の関わりかたで大きく変わってきます。50年からその先も、笑顔で安らかに毎日を過ごしてもらえる様に・・・自分自身も健康に留意しながら努めていきたいと思っています。



看護係

榊 紀 子

50周年を記念して

やすらぎ園50周年おめでとうございます。

利用者さんとの関わりで日々反省の毎日ではありますが、これからも元気な人生の大先輩でもある利用者さんを見習って、できる限り私も頑張っていこうと思います。

50周年とは言わず、60周年もしくは70周年いえいえ100周年・・・・・・楽しみです。



看護係

松 田 智 仙

開園50周年を迎えて

やすらぎ園開園50周年おめでとうございます。

早いもので私がやすらぎ園に就職して、ちょうど30年目を迎えます。来た当初は看護師になったばかりで、何もできず、何もわからず、ましてや老人看護などした事はなかったのも、利用者さんとのように接してよいのかもわからず戸惑いも多くありましたが、先輩や同僚に沢山助けられました。

当時は看護師4名でしたが、今は5名で利用者さんの健康維持に努めています。

年々重症度の高い利用者さんも増えてきている中、業務量も増え、利用者さんとゆっくりと話をする事も出来ませんが、利用者さんがいつまでも笑顔でいられる様にこれからもスタッフ皆で頑張っていきたいと思っています。



看護係

山 田 香 奈 枝

創立50周年を迎えて

創立50周年おめでとうございます。

今後も利用者様が毎日安心・安全・笑顔でお過ごしいただけるようお手伝いさせていただきます。



看護係
今 西 智 恵

開園50周年に寄せて

50周年を迎えるやすらぎ園は、幼い頃大好きな祖母と一緒に猿回しを見に来たりした思い出の場所でもあります。

今では長く看護師としてお世話になっています。

働いている中で時代や制度も変わっていき、人や環境も変わりました。今後も色々変わっていくと思いますが、利用者の方々が安心して生活できるよう、ご家族がここにいたら安心だと思っていただけるよう、看護面から関わらせていただきたいと思います。

また、50周年以降もやすらぎ園の施設自体も安心・安全な環境であってほしいと願っています。



日々の業務風景



調理の紹介



管理栄養士

柳 田 みゆき

創設50周年に寄せて

やすらぎ園創設50周年おめでとうございます。私も勤続20年を超えてしまい我ながら驚いております。

私が初めて勤務したのが平成13年でした。右も左もわからない状況でしたが、当時の利用者さんが、新人の私に職員の特徴や性格、やすらぎ園の利用者の事など昔話しも交えながら教えてくださり、楽しみながら仕事を覚えたのを思い出します。現在より元気な方が多かったので、朝に仏壇にお供えしたご飯などを利用者さん自身が調理室に来て下げてくれた時代でした。祖父や祖母のように感じ接しておりました。

暖かい季節にはバスで利用者と釧路のショッピングセンターや鶴居のグリーンパークへ遠出したり、初夏には園庭で焼肉をしたり、お盆には仮装盆踊りを行い太鼓のリズムに合わせて皆で踊りました。秋は当時営業していた憩の家かや沼で観楓会をしました。園庭で行う運動会は、職員も一緒に盛り上がりました。

調理では敬老祝賀会のあと、ごちそうを提供するのが恒例で以前はバイキング食を行った事もありました。個人対応の多様化の問題もあり、今はその対応はできませんが、利用者さんのために心を込めてお食事を提供し続けています。全国的な労働人口の減少のため、調理員が慢性的に欠員となる時期が長期にわたり、デイサービスの食事提供を一部休止した時期もありました。しかし、令和6年4月より委託会社のLEOCに労務委託し、デイサービスの食事提供の再開、やすらぎ園の行事食等の再開がされました。

始まって数ヶ月ですが、皆さんに協力していただき業務を行っているところです。調理スタッフの顔も一新し、海外実習生の方も3名加わりました。有難いことに社員として引き続き在籍されている方もいるので心強いです。事情により途中で退職された方たちもいますが、幾度のトラブルや災害などがあっても一度も食事提供が止まらなかったのは沢山の方々の協力があったとのことだと改めて感じます。

まだ完全な再開にはなっていませんが、LEOCの調理スタッフに協力していただき利用者の皆さんに喜ばれる食事作りが継続できればよいと感じております。



日々の調理風景



調理スタッフからのお祝いメッセージ

高橋久美子 調理員

50周年おめでとうございます。
私の祖母も、私自身もやすらぎ園には大変お世話になりました。この先もずっとやすらぎ園が続いて行く事を願っております。

村上 厚也 調理員

50周年おめでとうございます。
この先もやすらぎ園が続いて行く事を願っています。

松尾 和子 調理員

50周年おめでとうございます。
これまで関わってこられた皆さまに感謝を致します。これからも、この施設の調理員として笑顔で喜んでいただける食事の提供をできるよう貢献したいと思えます。

阿部まき子 調理員

50周年おめでとうございます。
4月からLEOCになり外国人の方も2人入り、自分自身も新しい職場で働くことになり、大変な所もあるけど、やすらぎ園の職員様、利用者様に喜んでいただけるような食事を出していきたいと思えます。本当におめでとうございます。

小原 優佳 調理員

50周年おめでとうございます。
これからも長くこの施設が続くことを願っています。そして、皆様に喜んでもらえるような食事を提供できるよう努力して参ります。

スエジンニエイン 調理員

50周年おめでとうございます。

ゾンテッピョ 調理員

50周年おめでとうございます。

季節の食事と行事食



お正月御膳



委託開始記念御膳



開園記念御膳



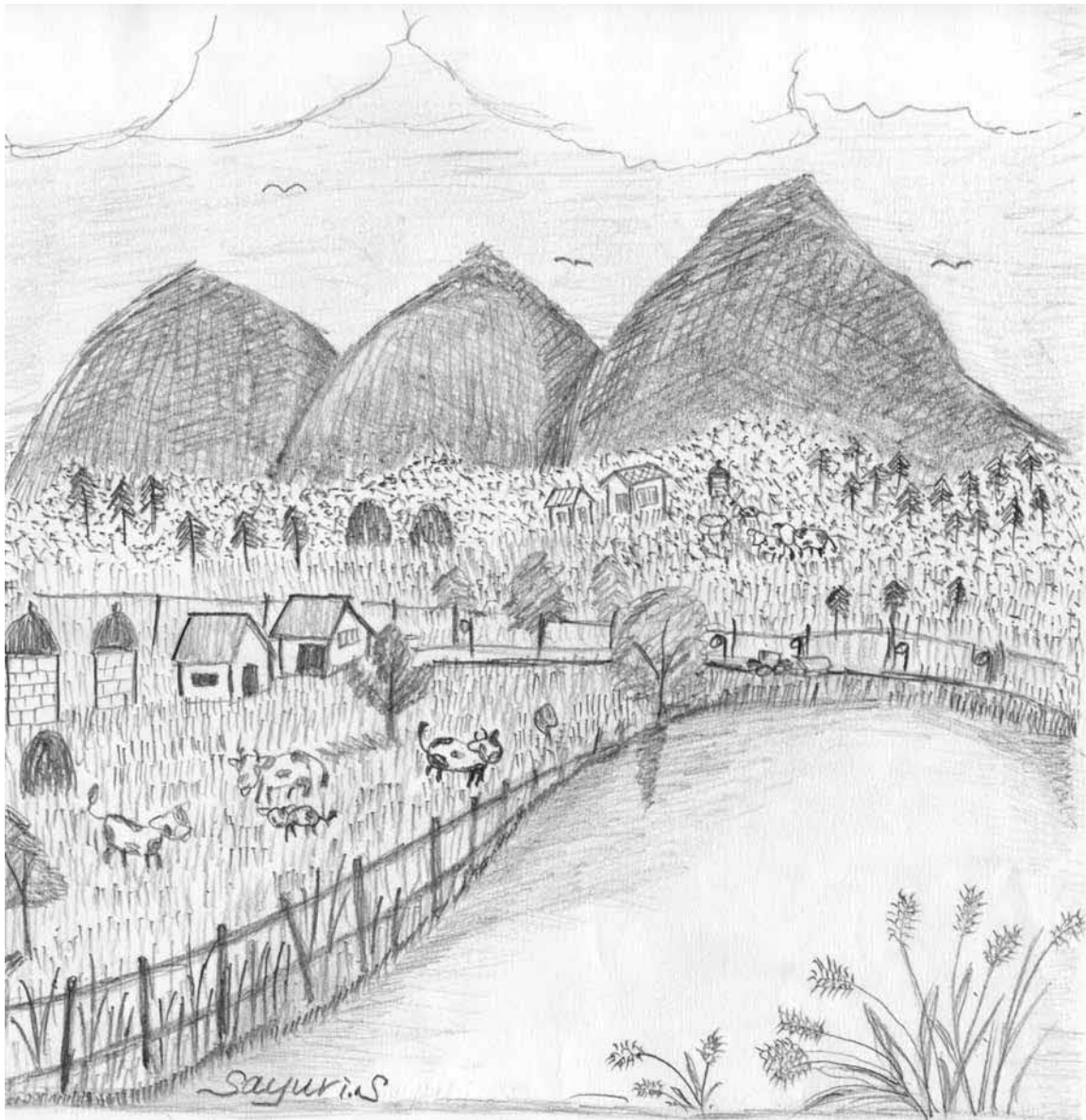
誕生祝御膳



敬老御膳



年越御膳



四季が織りなす
やすらぎの空間・・・

やすらぎ園の今 (春夏秋冬)

やすらぎ園では、年間を通じて様々なイベントや行事を家族会やボランティア団体の協力をいただき実施しています。「明るく楽しい園生活」をモットーに、利用者の皆様と共に笑い、共に喜ぶ『寄り添う介護』を心掛けています。

春



桜見学



春の外気浴



家族会総会



環境整備



バスレク



夏



野外食会



花火大会



高校生アトラクション



お盆法要



川上神社お神輿



縁日祭



秋



敬老祝賀会



秋の彼岸法要



秋の外気浴



リハレク活動



喫茶の日、誕生者紹介





ゲーム交流会



日赤奉仕団奉仕活動



グリーングラス公演会



クリスマス会

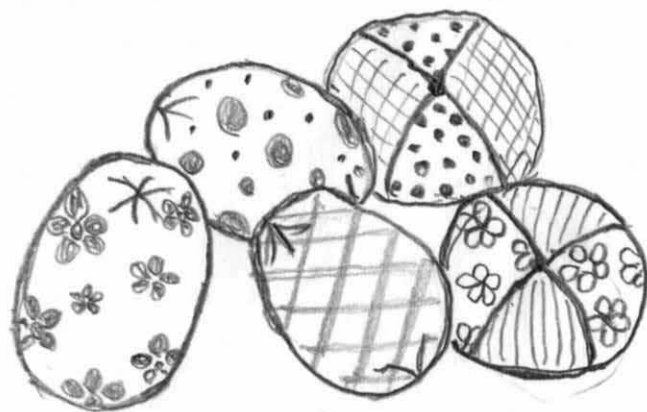


新年交礼会



節分豆まき







資 料 編

歴代職員一覧表

(兼) 兼務 (会) 会計年度任用職員 凡例
(委) 委嘱職員

園長 参事兼次長
栄養士 調理員

氏 名	在任期間	昭和																平成				
		49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63		1	2	3	4	5
高 橋 修	S49. 6. 1 ~ S53. 7. 9																					
高 橋 修	S53. 11. 1 ~ S54. 8. 3																					
三 栖 達 夫	S53. 7. 10 ~ S53. 10. 31																					
桐 原 徹	S54. 8. 4 ~ S59. 12. 26																					
石 田 正 光	S60. 1. 1 ~ H2. 3. 31																					
小 倉 悟	S49. 6. 1 ~ S50. 6. 30																					
小 倉 悟	H2. 4. 1 ~ H7. 3. 31																					
佐 藤 敏	S57. 4. 21 ~ S58. 6. 30																					
佐 藤 敏	H6. 4. 1 ~ H7. 3. 31																					
佐 藤 敏	H7. 4. 1 ~ H12. 3. 31																					
加 藤 孟	H12. 4. 1 ~ H14. 3. 31																					
白 井 好 和	H14. 4. 1 ~ H20. 3. 31																					
山 澤 正 宏	H20. 4. 1 ~ H26. 3. 31																					
春 日 智 子	H26. 4. 1 ~ H29. 3. 31																					
中 村 義 人	H29. 4. 1 ~ R2. 3. 31																					
(会) 中村 義人	R6. 5. 1 ~																					
中 島 吾 朗	R2. 4. 1 ~ R3. 3. 31																					
穂 刈 武 人	R3. 4. 1 ~ R7. 3. 31																					
矢尾板 勇	S50. 7. 1 ~ S55. 5. 9																					
前 田 克 雄	S55. 5. 10 ~ S56. 3. 5																					
佐々木 三 幸	S56. 4. 16 ~ S57. 4. 20																					
今 井 明	S58. 7. 1 ~ S61. 4. 14																					
小 場 憲 夫	S61. 4. 15 ~ H1. 4. 19																					
藁 谷 茂	H1. 4. 20 ~ H6. 3. 31																					
藁 谷 茂	H9. 4. 1 ~ H10. 3. 31																					
富 田 義 一	H7. 4. 1 ~ H8. 3. 31																					
佐々木 健	H8. 4. 1 ~ H9. 3. 31																					
槻 木 義 夫	H10. 4. 1 ~ H11. 5. 14																					
佐 藤 秀 博	H11. 5. 15 ~ H12. 3. 31																					
小 川 義 美	S50. 7. 1 ~ S63. 7. 11																					
小 川 義 美	S63. 7. 12 ~ H1. 4. 19																					
小 川 義 美	H1. 4. 20 ~ H12. 3. 31																					
小 川 義 美	H12. 4. 1 ~ H13. 3. 31																					
齋 藤 俊 介	H24. 4. 1 ~ H30. 3. 31																					
齋 藤 俊 介	R2. 4. 1 ~																					
(兼) 齋藤 俊介	R4. 4. 1 ~																					
齋 藤 俊 介	R6. 4. 1 ~																					
(兼) 齋藤 俊介	R6. 5. 1 ~																					
吉 田 透	H13. 4. 1 ~ H19. 3. 31																					
飯 田 鈴 代	H19. 4. 1 ~ H22. 3. 31																					
飯 田 鈴 代	H25. 4. 1 ~ H27. 3. 31																					
瀬 尾 孝 仁	H22. 4. 1 ~ H25. 3. 31																					
五十嵐 夕 子	H27. 4. 1 ~ H31. 3. 31																					
檜 山 友 理	H31. 4. 1 ~																					
松 田 徳 彦	S58. 7. 1 ~ S63. 7. 12																					
瀬 山 清 隆	H12. 4. 1 ~ H17. 3. 31																					
菊 地 将 司	H17. 4. 1 ~ H24. 3. 31																					
大 島 繁 樹	H30. 4. 1 ~ R2. 3. 31																					
村 山 美由紀	H4. 4. 1 ~ H14. 3. 31																					
村 山 美由紀	H14. 4. 1 ~ H30. 3. 31																					
村 山 美由紀	H30. 4. 1 ~ R6. 4. 30																					

※会計年度任用職員(旧臨時職員及び旧非常勤職員)は、令和6年6月1日現在の在職者(調理員は直営から転籍した委託職員含む)に限る。

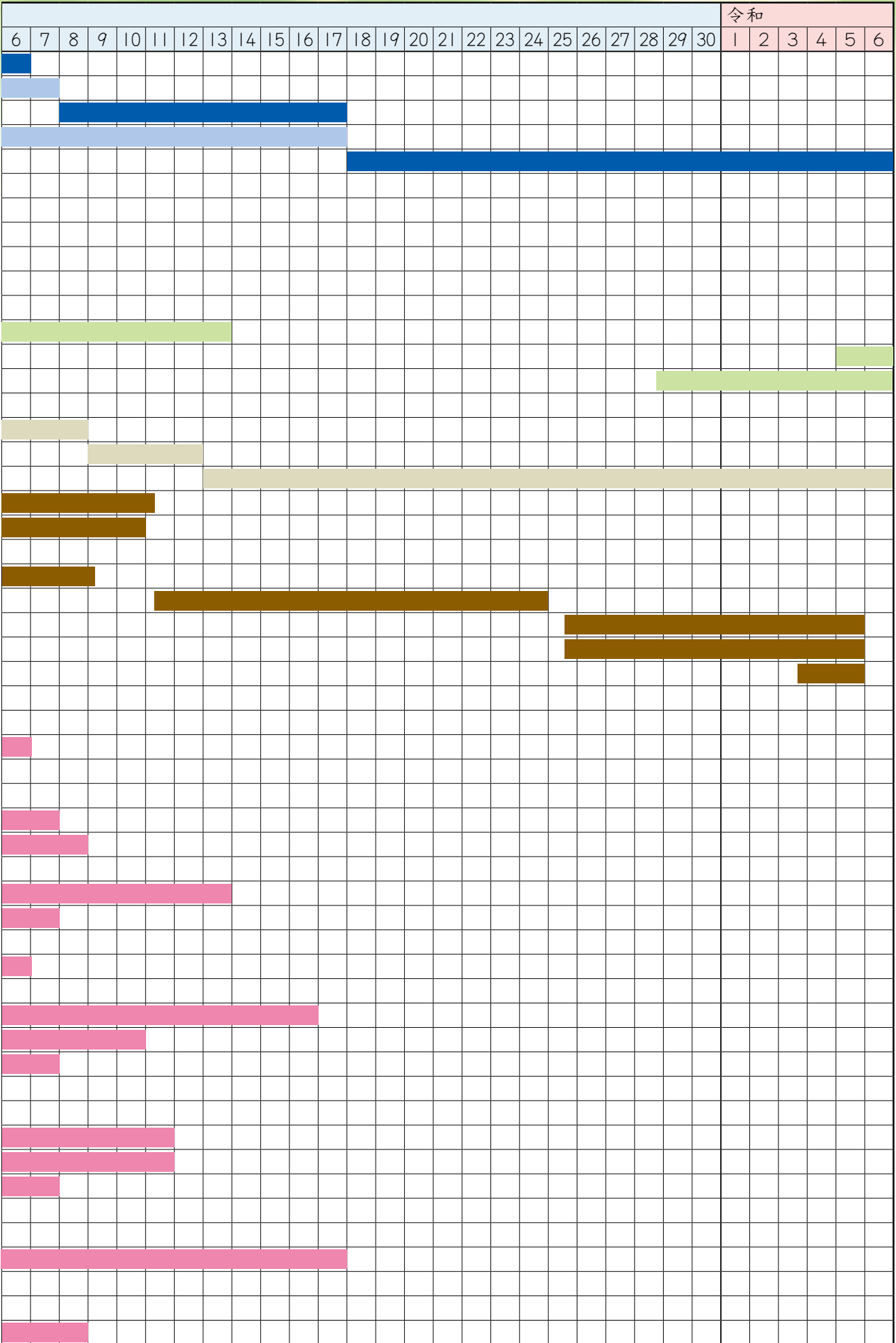
次 長 庶務係係長 業務係係長 生活相談係長 看護係係長 庶務係 業務係

介護員 生活指導員 生活相談員 看護師 用務員 デイ相談員 デイ業務係長

[illegible]

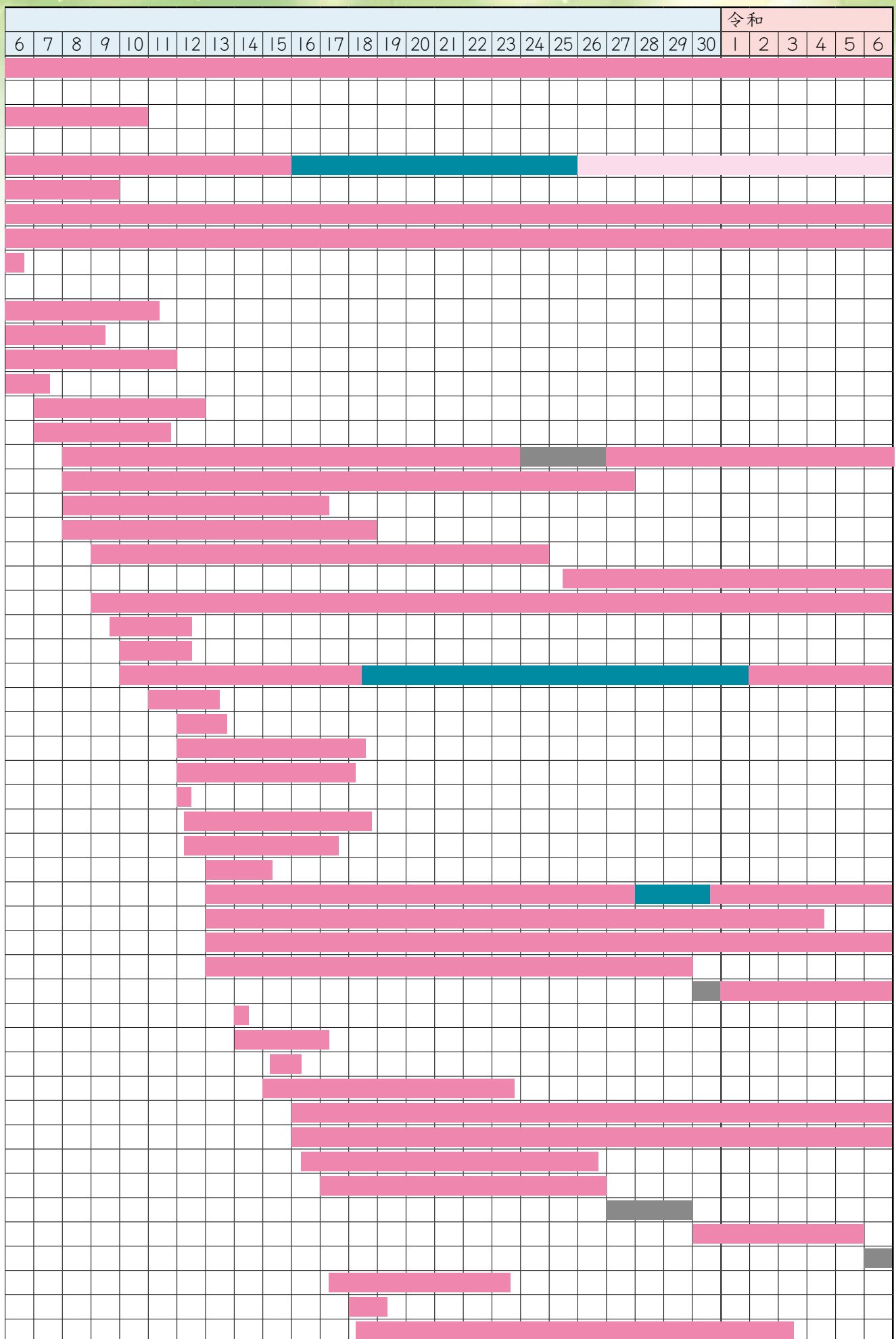
氏 名	在任期間	昭和															平成				
		49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	1	2	3	4	5
田 附 章 子	S59.4.1～H7.3.31																				
岡 崎 寿美子	H6.1.6～H8.3.31																				
岡 崎 寿美子	H8.4.1～H18.3.31																				
宮 川 百 美	H6.4.1～H18.3.31																				
宮 川 百 美	H18.4.1～																				
作 田 ス イ	S49.6.1～S53.10.15																				
斎 藤 寿 久	S50.7.1～S51.4.14																				
遠 藤 正 直	S52.5.23～H4.3.31																				
谷 順 子	S54.6.4～S57.4.20																				
佐 藤 凌 子	S57.4.21～S59.7.1																				
服 部 幸 一	H4.3.1～H6.3.31																				
斎 藤 寿 久	H6.4.1～H14.3.31																				
後 藤 茂 之	R5.4.1～																				
(会) 渡辺美由紀	H28.12.1～																				
田 鎖 真理子	S49.6.1～H4.3.31																				
中 尾 敬 子	H4.4.1～H9.3.31																				
佐 藤 敏 晴	H9.4.1～H13.3.31																				
柳 田 みゆき	H13.4.1～																				
佐 藤 つ る	S53.4.1～H11.5.14																				
東海林 幸 子	S53.4.1～H11.3.31																				
在 原 まゆみ	H2.4.1～H3.7.12																				
伊 藤 裕 子	H4.4.1～H9.7.31																				
小 沢 すみ子	H11.5.15～H25.3.31																				
(委) 高橋久美子	H25.2.25～R6.3.31																				
(委) 村上 厚也	H25.11.1～R6.3.31																				
(委) 松尾 和子	R4.2.22～R6.3.31																				
名 越 さ だ	S49.6.1～H2.3.31																				
真 野 頼 子	S49.6.1～S54.6.3																				
鈴 木 玲 子	S49.6.1～H7.3.31																				
辻 敏 子	S49.6.1～H4.3.31																				
熊 谷 睦 子	S49.6.1～S56.3.31																				
中 村 光 子	S49.6.1～H8.3.31																				
渡 辺 ト ス	S49.6.1～H9.3.31																				
田 中 孝 子	S49.6.1～H2.3.31																				
野 田 富 子	S49.6.1～H13.3.31																				
小 島 ル イ	S49.6.1～H8.3.31																				
高 橋 英 子	S49.6.1～H2.3.31																				
浦 島 辰 子	S50.10.1～H7.3.31																				
藤 原 昭 子	S52.5.1～H4.7.31																				
大 室 美智子	S52.4.1～H16.3.31																				
高 橋 清 子	S52.4.1～H10.3.31																				
吉 田 シズエ	S52.4.1～H8.3.31																				
村 山 節 子	S52.4.1～S60.3.12																				
田 中 キミ子	S52.4.1～H5.3.31																				
稲 村 ハ重子	S52.4.1～H12.3.31																				
斎 藤 清 子	S52.4.1～H12.3.31																				
松 田 良 子	S52.4.1～H8.3.31																				
島 田 フク子	S52.4.1～H5.4.7																				
武 山 光 子	S52.4.1～H4.7.31																				
倉 内 昌 子	S53.4.1～H17.3.31																				
小 野 烈 子	S54.4.1～H4.3.31																				
桑 島 フサ子	S54.4.1～H4.3.31																				
村 山 トヨ子	S54.4.1～H9.3.31																				

※会計年度任用職員(旧臨時職員及び旧非常勤職員)は、令和6年6月1日現在の在職者(調理員は直営から転籍した委託職員含む)に限る。



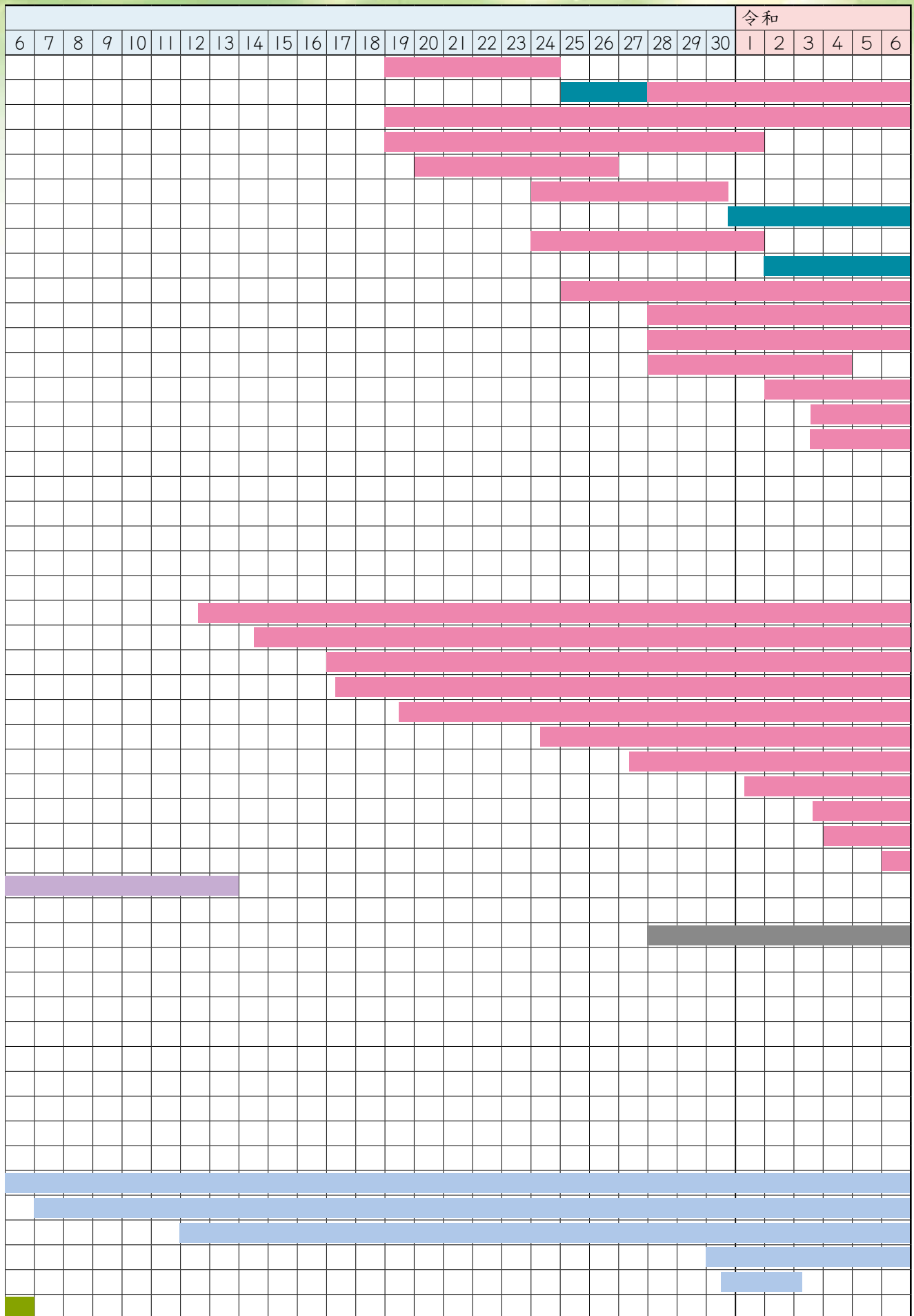
氏 名	在任期間	昭和													平成						
		49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	1	2	3	4	5
武 藤 みゆき	S60.5.1～																				
木 下 亜希子	H2.4.1～H3.5.31																				
程 野 明 子	H2.4.1～H11.3.31																				
竹 谷 知比呂	H4.4.1～H5.3.31																				
嶋 田 哲 哉	H4.4.1～H16.3.31 H16.4.1～H25.4.1～																				
岸 田 康 信	H4.4.1～H10.3.31																				
佐々木 奈 美	H4.4.1～																				
菅 野 美 幸	H5.4.1～																				
井 島 十糸子	H5.4.1～H6.11.30																				
佐 藤 秀 樹	H5.4.1～H5.8.31																				
佐 賀 正 人	H5.4.1～H11.9.30																				
加 藤 弘 子	H5.4.1～H9.7.31																				
村 田 春 恵	H6.4.1～H12.3.31																				
小 間 直 子	H6.4.1～H7.9.30																				
荒 木 和 恵	H7.4.1～H13.3.31																				
松 橋 英 行	H7.4.1～H12.2.29																				
齋 藤 一 代	H8.4.1～H24.3.31 H24.4.1～H27.4.1～																				
木 下 仁 美	H8.4.1～H28.3.31																				
大 西 佐希子	H8.4.1～H17.6.30																				
佐 藤 幸 恵	H8.4.1～H19.3.31																				
西 内 里 佳	H9.4.1～H25.3.31																				
(会) 西内 里佳	H25.9.1～																				
落 合 友 恵	H9.4.1～																				
嶋 田 葉 子	H9.8.1～H12.7.31																				
尾 崎 日 織	H10.4.1～H12.6.30																				
川 口 ふじ子	H10.4.1～H18.8.31 H18.9.1～H2.4.1～																				
武 藤 幸 恵	H11.4.1～H13.5.31																				
佐々木 桃	H12.4.1～H13.12.13																				
今 野 愛	H12.4.1～H18.11.30																				
嶽 政 江	H12.4.1～H18.5.30																				
佐々木 由 香	H12.4.1～H12.10.1																				
佐 藤 真由美	H12.6.5～H19.2.28																				
豊 田 悦 子	H12.6.5～H17.12.31																				
渡 辺 千 秋	H13.4.1～H15.6.30																				
名 越 大 輔	H13.4.1～H28.3.31 H28.4.1～H31.2.1～																				
三 輪 学	H13.4.1～R4.8.31																				
大 倉 敏 幸	H13.4.1～																				
山 本 史 明	H13.4.1～H30.3.31																				
山 本 史 明	H30.4.1～H31.3.31 H31.4.1～																				
平 原 多恵子	H14.4.1～H14.7.31																				
佐 藤 久 枝	H14.4.1～H17.4.30																				
吉 田 あゆみ	H15.7.1～H16.4.30																				
長 澤 朋 美	H15.4.1～H24.1.31																				
秋 山 良 太	H16.4.1～																				
松 田 可 織	H16.4.1～																				
藤 原 友 樹	H16.5.1～H26.12.2																				
伊 藤 和 美	H17.4.1～H27.3.31																				
伊 藤 和 美	H27.4.1～H30.3.31																				
伊 藤 和 美	H30.4.1～R6.3.31																				
伊 藤 和 美	R6.4.1～																				
小 原 ひろみ	H17.5.1～H24.1.31																				
佐 藤 奈保子	H18.4.1～H19.8.31																				
戸 塚 秀 人	H18.7.1～R3.8.31																				

※会計年度任用職員（旧臨時職員及び旧非常勤職員）は、令和6年6月1日現在の在職者（調理員は直営から転籍した委託職員含む）に限る。



氏 名	在任期間	昭和																平成				
		49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63		1	2	3	4	5
今 貴 弘	H19. 4. 1～H25. 3. 31																					
今 貴 弘	H25. 4. 1～H28. 3. 31																					
大和田 貴 行	H19. 4. 1～																					
古 川 美 幸	H19. 4. 1～R2. 3. 31																					
平 山 希 美	H20. 4. 1～H27. 3. 31																					
今 野 康 子	H24. 4. 1～H31. 1. 31																					
今 野 康 子	H31. 2. 1～																					
佐 藤 翼	H24. 4. 1～R2. 3. 31																					
佐 藤 翼	R2. 4. 1～																					
吉 澤 求	H25. 4. 1～																					
半 田 真 紀	H28. 4. 1～																					
山 澤 潤 也	H28. 4. 1～																					
菅 原 文 子	H28. 4. 1～R5. 3. 31																					
西 森 直 人	R2. 4. 1～																					
橋 本 千 里	R4. 1. 1～																					
嵐 和 也	R4. 1. 1～																					
(会) 沖崎 信子	H12. 12. 1～																					
(会) 和田千枝子	H14. 10. 1～																					
(会) 京極 典子	H17. 4. 1～																					
(会) 田中千津子	H17. 11. 1～																					
(会) 沢崎小百合	H19. 9. 1～																					
(会) 橋本志満子	H24. 7. 9～																					
(会) 佐沢 道子	H27. 7. 1～																					
(会) 田中ひとみ	R1. 5. 10～																					
(会) 萬井 契翔	R3. 12. 1～																					
(会) 岡本 静香	R4. 4. 1～																					
(会) 本間 朱里	R6. 4. 1～																					
鈴 木 信 子	S49. 6. 1～H14. 3. 31																					
白 石 利 信	S52. 4. 1～S58. 6. 30																					
氣 仙 瑞 佳	H28. 4. 1～																					
川 村 静 子	S49. 6. 1～S52. 5. 31																					
丹 羽 容 子	S51. 4. 1～S59. 3. 31																					
加 藤 智代子	S52. 6. 1～S60. 3. 31																					
梶 川 頼 子	S52. 8. 22～S54. 7. 4																					
富 士 京 子	S54. 7. 5～S62. 3. 31																					
野 呂 ひとみ	S60. 4. 1～H2. 3. 31																					
田 中 佳 世	S62. 4. 1～H5. 3. 31																					
原 田 美恵子	H2. 4. 1～H6. 3. 31																					
北 村 香代子	H5. 4. 1～H5. 8. 31																					
松 田 智 仙	H6. 4. 1～																					
榊 紀 子	H7. 4. 1～																					
今 西 智 恵	H12. 4. 17～																					
山 田 香奈枝	H30. 4. 1～																					
藤 岡 ら ら	H30. 9. 1～R3. 4. 30																					
佐 藤 フジエ	S54. 4. 1～H7. 3. 31																					

※会計年度任用職員（旧臨時職員及び旧非常勤職員）は、令和6年6月1日現在の在職者（調理員は直営から転籍した委託職員含む）に限る。



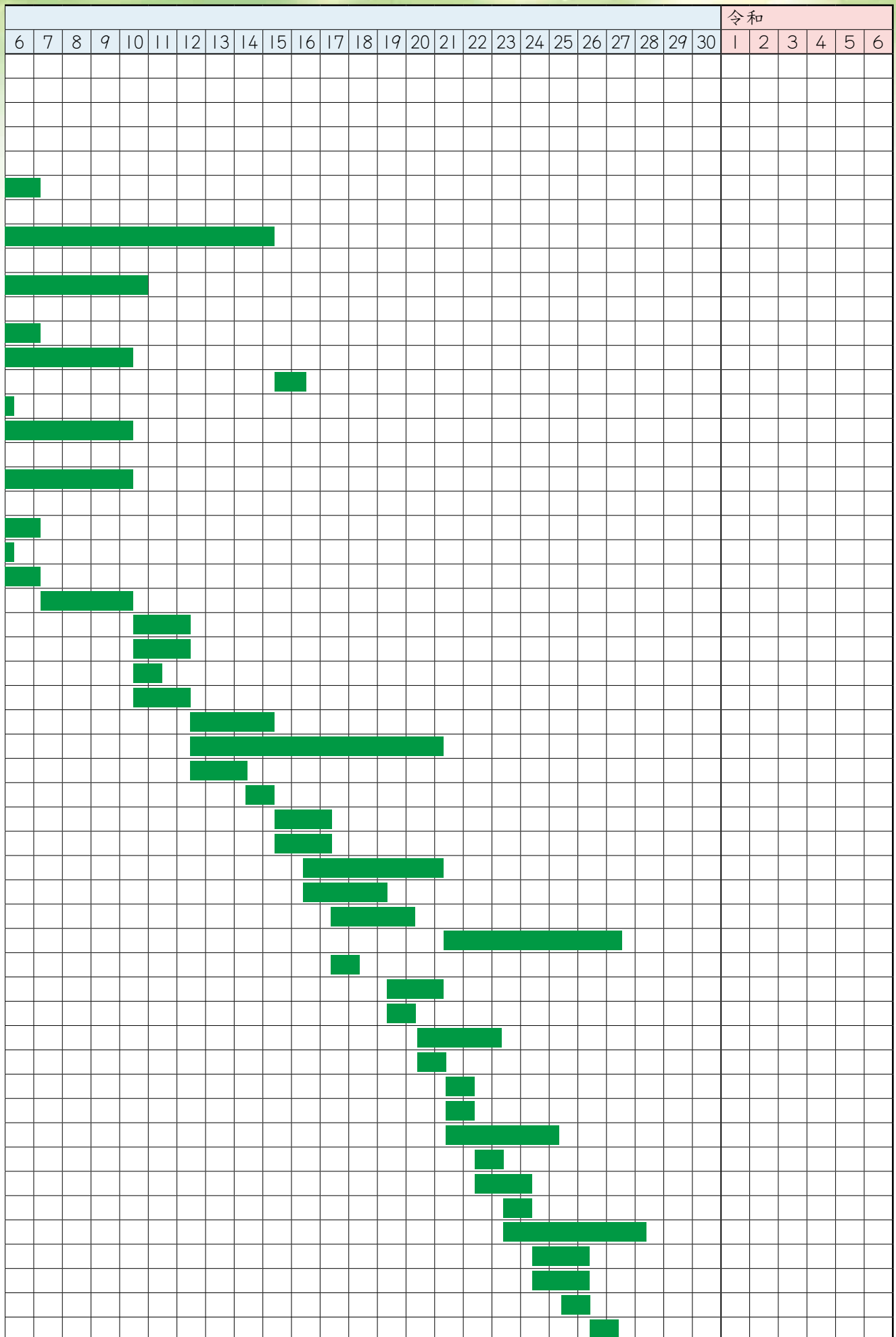
歴代家族会役員一覧表

氏 名	在任期間	昭和														平成					
		49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	1	2	3	4	5
鈴木 兼 好	S51. 9. 5～S60. 5. 11																				
伊 藤 功 一	S60. 5. 11～H5. 5. 28																				
大 山 栄 一	H5. 5. 28～H13. 4. 22																				
田 中 悦 雄	H13. 4. 22～H15. 5. 10																				
越 善 徹	H15. 5. 10～H19. 5. 27																				
本 多 耕 平	H19. 5. 27～H22. 5. 23																				
東海林 利 通	H22. 5. 23～H24. 5. 20																				
駒 井 正 憲	H24. 5. 20～H26. 5. 18																				
柳 田 洋 一	H26. 5. 18～H28. 5. 22																				
増 川 克 己	H28. 5. 22～H30. 5. 20																				
長 崎 正 人	H30. 5. 20～R3. 5. 10																				
高 松 俊 男	R3. 5. 10～																				
宇 山 久 観	S51. 9. 5～ S60. 5. 11																				
大 碓 貞 昭	S60. 5. 11～H5. 5. 28																				
甲 斐 民 夫	H5. 5. 28～H14. 5. 12																				
手 塚 順 子	H5. 5. 28～H12. 5. 26																				
越 善 徹	H12. 5. 26～H15. 5. 10																				
三 輪 智 子	H14. 5. 12～H19. 5. 27																				
熊 谷 武	H15. 5. 10～H23. 5. 22																				
北 原 研 一	H19. 5. 27～H20. 5. 25																				
加 藤 利 助	H20. 5. 25～H21. 5. 24																				
渡 辺 美智子	H21. 5. 24～H22. 5. 23																				
菅 原 茂	H22. 5. 23～H24. 5. 20																				
駒 井 正 憲	H23. 5. 22～H24. 5. 20																				
関 千代子	H24. 5. 20～H27. 5. 24																				
柳 田 洋 一	H24. 5. 20～H26. 5. 18																				
増 川 克 己	H26. 5. 18～H28. 5. 22																				
加 藤 利 助	H27. 5. 24～R元. 5. 19																				
長 崎 正 人	H28. 5. 22～H30. 5. 20																				
鈴 木 義 次	H30. 5. 20～																				
蛭 田 和 雄	R1. 5. 19～R3. 5. 10																				
藤 原 さとみ	R3. 5. 10～R4. 5. 10																				
千 葉 澄 子	R4. 5. 10～																				
牛 坂 のぶ子	S51. 9. 5～S52. 9. 5																				
佐 藤 鈴 子	S51. 9. 5～S52. 9. 5																				
吉 田 弘 子	S51. 9. 5～S52. 9. 5																				
小 沢 里 見	S51. 9. 5～S53. 5. 21																				
若 林 茂	S51. 9. 5～S53. 5. 21																				
菅 川 繁 治	S52. 9. 5～S53. 5. 21																				
菅 原 賢	S52. 9. 5～S53. 5. 21																				
松 川 武 一	S52. 9. 5～S54. 7. 14																				
鈴 木 武	S52. 9. 5～S53. 5. 21																				
大 碓 貞 昭	S53. 5. 21～S60. 5. 11																				
橋 本 実	S53. 5. 21～S60. 5. 11																				
関 谷 修 蔵	S53. 5. 21～S60. 5. 11																				
進 藤 修 平	S53. 5. 21～S60. 5. 11																				
笠 井 三 郎	S53. 5. 21～S60. 5. 11																				
東 間 勇	S54. 7. 14～S60. 5. 11																				
石 沢 正 人	S54. 7. 14～S60. 5. 11																				
畑 中 保	S60. 5. 11～S63. 5. 4																				
桜 井 鉄 雄	S60. 5. 11～H16. 5. 9																				

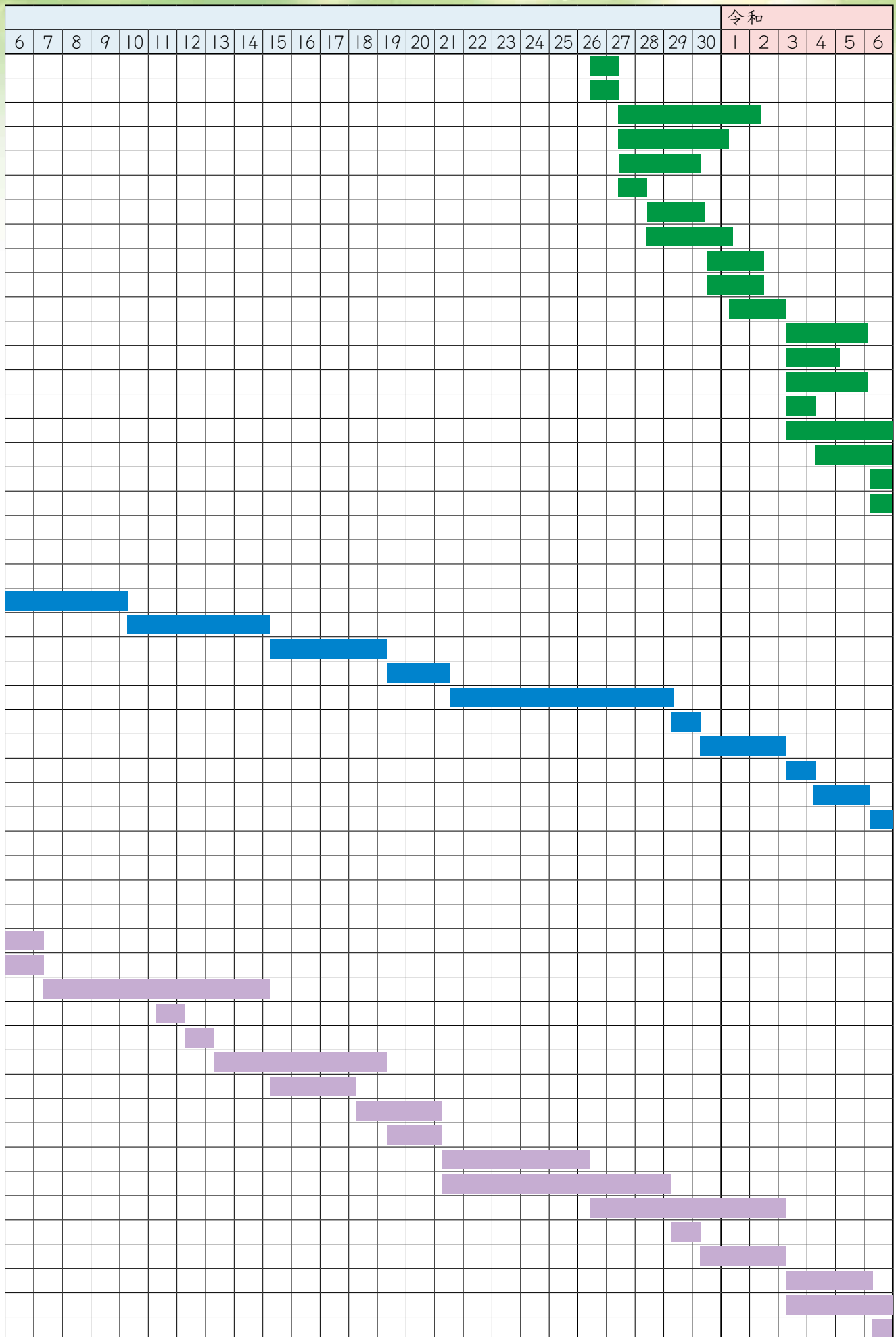
凡例 會長 副會長 幹事 會計 監查

[illegible]

氏 名	在任期間	昭和																平成				
		49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63		1	2	3	4	5
石 井 恭 正	S60. 5. 11~S62. 5. 9																					
井 上 浩 孝	S60. 5. 11~S62. 5. 9																					
伊 藤 美代子	S60. 5. 11~H5. 5. 28																					
大 浦 一 郎	S60. 5. 11~S62. 5. 9																					
下 町 義 昭	S60. 5. 11~S62. 5. 9																					
木 田 純 雄	S60. 5. 11~H7. 6. 27																					
今 井 保	S60. 5. 11~H1. 5. 13																					
熊 谷 武	S62. 5. 9~H15. 5. 10																					
福 田 仁太郎	S62. 9. 5~H5. 5. 28																					
木 並 貞 雄	S62. 5. 9~H10. 12. 23																					
菊 池 貞 治	H1. 5. 13~H5. 5. 28																					
鴨 川 定 幸	H1. 5. 13~H7. 6. 27																					
浜 田 千 代	H1. 5. 13~H10. 4. 24																					
浜 田 千 代	H15. 5. 10~H16. 5. 10																					
斎 藤 国 夫	H1. 5. 13~H6. 5. 24																					
田 中 芳 夫	H5. 5. 13~H10. 4. 24																					
田 中 秀 子	H1. 5. 13~H5. 5. 28																					
佐 藤 幸	H1. 5. 13~H10. 4. 24																					
中 村 清 子	H1. 5. 13~H5. 5. 28																					
和 田 隆 幸	H5. 5. 28~H7. 6. 27																					
西 内 忠 満	H5. 5. 28~H6. 5. 24																					
田 中 賢 蔵	H5. 5. 28~H7. 6. 27																					
穴 戸 幸 好	H7. 6. 27~H10. 4. 24																					
橋 本 正 敏	H10. 4. 24~H12. 5. 26																					
真 鍋 千ヨノ	H10. 4. 24~H12. 5. 26																					
田 中 フミ子	H10. 4. 24~H11. 4. 16																					
丹 羽 省 吾	H10. 4. 24~H12. 5. 26																					
矢尾板 勇	H12. 5. 26~H15. 5. 10																					
笥 優 子	H12. 5. 26~H21. 5. 24																					
三 輪 智 子	H12. 5. 26~H14. 5. 12																					
田 中 和 水	H14. 5. 12~H15. 5. 10																					
柳 沼 功	H15. 5. 10~H17. 5. 29																					
竹 田 恵 子	H15. 5. 10~H17. 5. 29																					
佐 藤 章 子	H16. 5. 9~H21. 5. 24																					
澤 田 ノ ブ	H16. 5. 9~H19. 5. 27																					
加 藤 利 助	H17. 5. 29~H20. 5. 25																					
加 藤 利 助	H21. 5. 24~H27. 5. 24																					
渡 辺 美智子	H17. 5. 29~H18. 5. 28																					
松 岡 綾 子	H19. 5. 27~H21. 5. 24																					
田 代 敬 子	H19. 5. 27~H20. 5. 25																					
駒 井 正 憲	H20. 5. 25~H23. 5. 22																					
横 山 キヨ子	H20. 5. 25~H21. 5. 24																					
菅 原 茂	H21. 5. 24~H22. 5. 23																					
東海林 利 通	H21. 5. 24~H22. 5. 23																					
内 谷 トシ子	H21. 5. 24~H25. 5. 19																					
白 石 巖	H22. 5. 23~H23. 5. 22																					
関 千代子	H22. 5. 23~H24. 5. 20																					
柳 田 洋 一	H23. 5. 22~H24. 5. 20																					
笹 生 忠 男	H23. 5. 22~H28. 5. 22																					
増 川 克 己	H24. 5. 20~H26. 5. 18																					
酒 井 節 子	H24. 5. 20~H26. 5. 18																					
前 島 仁	H25. 5. 19~H26. 5. 18																					
小 口 洋 一	H26. 5. 18~H27. 5. 24																					



氏 名	在任期間	昭和																平成				
		49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63		1	2	3	4	5
遠 藤 茂 徳	H26. 5. 18~H27. 5. 24																					
市 川 富 夫	H26. 5. 18~H27. 5. 24																					
井 上 栄	H27. 5. 24~R2. 5. 1																					
岩 渕 まり子	H27. 5. 24~R1. 5. 19																					
河 合 務	H27. 5. 24~H30. 5. 20																					
平 川 律 子	H27. 5. 24~H28. 5. 22																					
鈴 木 義 次	H28. 5. 22~H30. 5. 20																					
伊 東 恵	H28. 5. 22~R1. 5. 19																					
菅 原 公 誉	H30. 5. 20~R2. 5. 1																					
塩 山 正 博	H30. 5. 20~R2. 5. 1																					
藤 原 さとみ	R1. 5. 19~R3. 5. 10																					
橋 本 通 子	R3. 5. 10~R6. 5. 26																					
磯 田 永 蔵	R1. 5. 19~R3. 5. 10																					
平 野 順 子	R3. 5. 10~R6. 5. 26																					
高 原 登茂子	R3. 5. 10~R4. 5. 10																					
畠 山 雅 之	R3. 5. 10~																					
松 田 孝 之	R4. 5. 10~																					
田 村 英 敏	R6. 5. 26~																					
京 極 典 子	R6. 5. 26~																					
川 島 国 宝	S51. 9. 5~S53. 5. 21																					
菅 川 繁 治	S53. 5. 21~S60. 5. 11																					
笠 井 和 次	S60. 5. 11~S62. 5. 9																					
和 田 君 子	S62. 5. 9~H10. 4. 24																					
浜 田 千 代	H10. 4. 24~H15. 5. 10																					
馬 場 恵 子	H15. 5. 10~H19. 5. 27																					
中 島 静 子	H19. 5. 27~H21. 5. 24																					
佐々木 健	H21. 5. 24~H29. 5. 21																					
相 原 一 久	H29. 5. 21~H30. 5. 20																					
狩 野 加代子	H30. 5. 20~R3. 5. 10																					
菊 地 康 治	R3. 5. 10~R4. 5. 10																					
松 本 修	R4. 5. 10~R6. 5. 26																					
佐 藤 由美子	R6. 5. 26~																					
石 原 得 雄	S51. 9. 5~S53. 5. 21																					
川 村 よね子	S51. 9. 5~S53. 5. 21																					
鈴 木 照 夫	S53. 5. 21~S60. 5. 11																					
佐 伯 昇	S60. 5. 11~H5. 5. 28																					
羽 田 アツ子	H5. 5. 28~H7. 6. 27																					
佐 藤 栄 一	H5. 5. 28~H7. 6. 27																					
穴 戸 幸 好	H7. 6. 27~H15. 5. 10																					
田 中 フミ子	H11. 4. 16~H12. 5. 26																					
田 中 悦 雄	H12. 5. 26~H13. 4. 22																					
本 田 勝 夫	H13. 4. 22~H19. 5. 27																					
田 中 和 水	H15. 5. 10~H18. 5. 28																					
渡 辺 美智子	H18. 5. 28~H21. 5. 24																					
豊 田 實	H19. 5. 27~H21. 5. 24																					
松 岡 綾 子	H21. 5. 24~H26. 5. 18																					
高 橋 要	H21. 5. 24~H29. 5. 21																					
橋 本 通 子	H26. 5. 18~R3. 5. 10																					
小野寺 哲 也	H29. 5. 21~H30. 5. 20																					
田之上 美矢子	H30. 5. 20~R3. 5. 10																					
村 山 恵津子	R3. 5. 10~R6. 5. 26																					
中 島 文 彦	R3. 5. 10~																					
加 藤 正 子	R6. 5. 26~																					



年度別利用者数一覧表

年度	入園 (人)			退園 (人)			死亡 (人)			利用人員 (人)		
	女	男	計	女	男	計	女	男	計	女	男	計
S49	36	34	70	5	5	10	5	6	11	26	23	49
S50	8	9	17	2	3	5	5	4	9	27	25	52
S51	2	8	10	0	2	2	5	2	7	24	29	53
S52	40	38	78	6	8	14	7	13	20	51	46	97
S53	13	12	25	3	2	5	5	7	12	56	49	105
S54	8	2	10	5	1	6	7	3	10	52	48	100
S55	15	11	26	6	9	15	7	5	12	55	44	99
S56	15	12	27	6	4	10	12	6	18	56	42	98
S57	14	10	24	4	3	7	6	10	16	61	39	100
S58	10	7	17	3	1	4	6	7	13	60	40	100
S59	14	5	19	5	3	8	6	6	12	63	37	100
S60	15	7	22	6	1	7	6	8	14	67	33	100
S61	11	6	17	7	1	8	3	6	9	68	32	100
S62	13	7	20	3	0	3	4	14	18	74	25	99
S63	9	6	15	3	6	9	6	5	11	77	23	100
H1	14	8	22	3	1	4	10	7	17	78	22	100
H2	13	7	20	6	1	7	8	5	13	77	23	100
H3	8	4	12	4	0	4	3	5	8	78	22	100
H4	12	10	22	3	1	4	12	7	19	76	23	99
H5	14	3	17	2	3	5	6	5	11	81	19	100
H6	16	8	24	6	3	9	10	5	15	81	19	100
H7	10	6	16	2	2	4	7	5	12	82	18	100
H8	7	9	16	1	2	3	10	3	13	79	21	100
H9	12	4	16	3	1	4	9	5	14	81	19	100
H10	10	4	14	1	0	1	10	1	11	78	22	100
H11	12	5	17	1	0	1	13	3	16	76	24	100
H12	9	7	16	3	1	4	7	6	13	75	24	99
H13	11	7	18	2	1	3	11	3	14	74	26	100
H14	11	7	18	2	1	3	3	0	3	74	26	100
H15	8	2	10	1	0	1	8	3	11	71	28	99
H16	10	7	17	2	0	2	7	7	14	72	27	99
H17	9	5	14	2	2	4	6	4	10	73	26	99
H18	12	14	26	5	3	8	11	7	18	69	30	99
H19	11	5	16	0	0	0	11	6	17	69	29	98
H20	13	8	21	4	2	6	8	6	14	69	29	98
H21	13	9	22	1	3	4	8	14	22	67	30	97
H22	9	4	13	1	3	4	4	2	6	71	29	100
H23	20	10	30	3	0	3	19	11	30	68	29	97
H24	13	7	20	0	2	2	10	5	15	71	29	100
H25	18	8	26	6	2	8	12	7	19	71	28	99
H26	19	8	27	5	2	7	14	6	20	72	27	99
H27	15	6	21	0	1	1	14	5	19	72	28	100
H28	12	9	21	0	0	0	14	9	23	70	28	98
H29	19	7	26	0	0	0	19	7	26	70	28	98
H30	13	11	24	0	0	0	15	15	30	68	24	92
R1	5	3	8	0	0	0	11	11	22	62	16	78
R2	14	5	19	1	0	1	15	2	17	60	19	79
R3	6	8	14	0	1	1	13	9	22	53	17	70
R4	13	7	20	2	2	4	12	7	19	52	15	67
R5	8	5	13	3	3	6	13	6	19	44	11	55

年度別短期入所者数一覧表

上段：利用者数 下段：利用延日数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
S61	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	11	14	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	28
S62	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	4
	0	0	0	0	0	10	9	0	0	0	0	5	24
S63	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	4
	0	0	0	0	0	0	0	9	12	13	3	0	37
H1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H2	0	1	1	1	1	2	1	0	2	0	0	1	10
	0	10	27	30	31	35	26	0	24	0	0	1	184
H3	2	0	1	0	0	0	1	1	2	1	1	1	10
	5	0	7	0	0	0	2	1	8	6	5	3	37
H4	0	1	0	1	0	0	0	1	1	2	2	2	10
	0	10	0	3	0	0	0	7	3	21	11	6	61
H5	3	2	6	5	3	3	3	4	2	6	7	6	50
	27	5	41	46	14	30	48	24	9	67	85	45	441
H6	9	8	6	6	6	7	7	4	2	5	9	6	75
	79	67	83	72	57	65	65	44	33	40	73	50	728
H7	7	3	4	6	7	1	2	1	5	5	7	9	57
	69	37	45	82	38	2	7	4	12	61	105	85	547
H8	7	5	6	8	10	6	7	8	4	3	2	1	67
	67	28	21	49	73	60	76	65	24	11	16	4	494
H9	1	2	5	2	6	9	11	9	9	2	4	5	65
	6	7	29	10	33	51	102	58	70	9	18	70	463
H10	6	5	6	6	9	7	7	10	6	7	6	10	85
	31	56	45	84	103	120	118	156	137	168	124	149	1291
H11	2	3	2	3	3	3	2	4	4	3	2	2	33
	68	86	110	124	128	116	98	102	126	82	82	109	1231
H12	3	5	6	2	3	4	6	4	3	7	7	4	54
	15	19	29	3	15	23	43	20	25	49	47	30	318
H13	8	8	10	7	7	8	7	15	16	13	16	14	129
	67	68	82	76	35	51	72	130	239	187	177	171	1355
H14	3	5	6	2	3	4	6	4	3	7	7	4	54
	15	19	29	3	15	23	43	20	25	49	47	30	318
H15	17	19	17	23	26	21	23	23	25	24	22	24	264
	168	180	164	250	252	246	233	237	187	209	197	243	2566
H16	16	18	16	23	26	21	23	23	25	24	21	23	259
	155	161	143	251	254	247	219	224	187	192	184	239	2456
H17	19	21	19	17	22	22	16	21	15	16	14	17	219
	186	194	178	143	150	190	162	196	146	137	123	178	1983

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H18	20	19	20	23	21	23	24	22	25	16	12	23	248
	189	183	172	231	221	227	252	230	251	127	117	203	2403
H19	23	25	24	24	26	29	27	28	24	19	13	16	278
	207	232	204	271	252	291	286	218	215	194	142	202	2714
H20	23	24	24	20	22	27	24	25	23	26	26	29	293
	265	290	314	276	268	297	286	265	191	259	243	258	3212
H21	36	29	27	29	31	31	27	25	27	21	24	28	335
	288	239	194	249	255	237	195	200	196	165	220	283	2721
H22	25	25	24	29	27	26	25	31	31	27	29	28	327
	200	203	220	284	253	258	252	262	250	219	233	203	2837
H23	30	33	31	29	31	26	30	29	33	24	26	22	344
	257	251	258	287	280	228	241	222	237	174	201	183	2819
H24	28	28	31	25	28	32	27	26	25	28	29	30	337
	212	227	197	180	200	229	193	159	145	213	280	257	2492
H25	25	29	27	24	24	24	24	22	15	18	20	18	270
	263	219	221	201	233	226	207	173	121	152	163	171	2350
H26	18	20	21	24	28	30	32	31	32	28	19	25	308
	151	148	169	208	256	256	243	268	289	234	199	241	2662
H27	26	30	28	28	31	26	28	20	28	27	30	27	329
	231	293	264	241	219	227	231	179	232	272	259	305	2953
H28	28	28	29	22	28	26	26	28	23	18	19	22	297
	213	210	198	197	232	214	179	248	189	175	164	203	2422
H29	22	26	23	29	31	30	32	29	29	28	31	21	331
	214	221	209	235	281	225	254	203	208	200	252	169	2671
H30	27	30	35	33	28	30	32	31	30	29	20	34	359
	220	241	230	238	222	176	206	202	191	233	134	262	2555
R1	28	28	29	30	26	25	28	36	25	31	31	24	341
	130	124	131	139	110	99	137	151	131	134	143	117	1546
R2	18	20	22	23	21	18	22	20	18	18	17	41	258
	88	100	112	103	104	94	97	89	81	82	84	71	1105
R3	18	21	20	23	21	21	23	22	22	18	20	20	249
	89	105	102	105	107	99	123	124	116	97	121	111	1299
R4	20	16	18	15	11	16	20	19	14	9	16	22	196
	110	104	102	86	74	104	91	97	77	54	75	115	1089
R5	22	24	25	18	16	23	19	21	16	8	13	15	220
	110	110	114	96	81	106	85	95	62	35	72	71	1037

標茶町立特別養護老人ホーム設置条例

昭和49年3月27日条例第16号

改正

昭和52年3月18日条例第12号
平成3年7月1日条例第15号
平成10年3月12日条例第3号
平成12年3月16日条例第28号
平成15年6月18日条例第19号
平成18年11月1日条例第37号

標茶町立特別養護老人ホーム設置条例

(設置)

第1条 老人福祉法（昭和38年法律第133号。以下「法」という。）第5条の2第4項及び第15条第3項の規定により第1号に定める者を短期間入所させ、養護するとともに第2号に定める者を入所させ、養護する目的をもって特別養護老人ホーム（以下「養護施設」という。）を設置する。

(1) 老人福祉法施行令（昭和38年政令第247号）第3条に規定する者

(2) 老人福祉法施行令第10条に規定する者

(名称及び位置)

第2条 養護施設の名称及び位置は次のとおりとする。

名 称	位 置
標茶町立特別養護老人ホームやすらぎ園	標茶町川上10丁目5番地

(定員)

第3条 法第5条の2第4項の規定により、養護施設に短期間入所させることができる人員は12人とする。

2 法第20条の5の規定により、養護施設に入所させることができる人員は100人とする。

(職員)

第4条 養護施設に必要な職員を置く。

(委任)

第5条 この条例の定めるもののほか、必要な事項は規則で定める。

附 則

この条例は、昭和49年6月1日から施行する。

附 則（昭和52年3月18日条例第12号）

この条例は、昭和52年4月1日から施行する。

附 則（平成3年7月1日条例第15号）

この条例は、公布の日から施行し、平成3年4月1日から適用する。

附 則（平成10年3月12日条例第3号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成12年3月16日条例第28号）

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成15年6月18日条例第19号）

この条例は、平成15年7月1日から施行する。

附 則（平成18年11月1日条例第37号）

この条例は、公布の日から施行する。

標茶町立特別養護老人ホームやすらぎ園管理規則

昭和49年6月1日規則第18号

改正

昭和61年3月31日規則第1号

平成12年3月31日規則第48号

平成19年3月31日規則第22号

平成28年3月31日規則第17号

標茶町立特別養護老人ホームやすらぎ園管理規則

第1章 総則

(目的)

第1条 この規則は、標茶町立特別養護老人ホーム設置条例（昭和49年標茶町条例第16号、以下「条例」という。）に基き設置する、やすらぎ園（以下「園」という。）の運営目的及び方針、施設入所者（以下「入園者」という。）の処置方法、守るべき規律、その他必要な事項を定めることを目的とする。

(運営の方針)

第2条 職員は、可能な限り居宅における生活への復帰を念頭において入浴、排泄、食事等の介護、社会生活上の便宜の供与その他の日常生活の世話及び機能訓練、健康管理、療養上の世話を行うことにより入園者がその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことが出来るよう努めなければならない。

2 職員は、入園者の意見及び人格を尊重し、常にその立場に立って、明るい家庭的な雰囲気を持しながら、サービスの提供に努めなければならない。

3 事業の実施にあたっては、関係市町村、地域の保健、医療、福祉サービス機関との密接な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めなければならない。

第2章 職員

(職員の区分)

第3条 園に園長のほか次の職員を置く。

- (1) 医師（嘱託医）
- (2) 事務職員
- (3) 生活相談員
- (4) 介護職員
- (5) 看護師
- (6) 栄養士
- (7) 調理員

2 町長は、必要に応じ、園に次長を置くことができる。

(職務内容)

第4条 園長は、町長の命を受けて園務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

2 次長は、園長を補佐し、園長不在のときはその職務を代理する。

3 職員は、園長の指示により次に掲げるそれぞれの職務に従事する。

- (1) 事務職員は事務に従事する。
- (2) 生活相談員、介護職員は、入園者の養護に努め、園内生活の指導の補助並びに介護に従事する。
- (3) 看護師は、入園者の保健衛生に注意し、医師の指示に従い診療業務並びに看護に従事する。
- (4) 調理員は、食品の調理、配膳、調理室、食品庫並びに食堂の清潔保持に従事する。
- (5) 栄養士は、入園者の栄養の保持増進に努め、給食に従事し調理の指導並びに食品衛生の管理に

従事する。

(職員の心得)

第5条 職員は、園の目的及び方針を旨とし、入園者の取り扱いについて深い愛情と理解をもつて接しなければならない。

2 職員は、相互の親和協力を深め、自らの医学、心理学等の科学的知識の啓発につとめ入園者の心身の状況に応じ、規律ある快適な生活に親しませ明るい環境を醸成する。

3 職員は、各々分担された業務に創意と工夫を怠ることなく常に積極的に意をもちいなければならない。急を要する事態が生じたときは、担任業務に拘泥することなく相互に業務を協力しなければならない。

第3章 入園及び退園

(入園の承認等)

第6条 園長は、条例第1条第1項の申込み、又は委託に基づき、入園の承認を行うものとする。

2 園長は、前項の申込み、又は委託に際し、入園しようとする者が現に伝染病保菌者若しくは精神障害者であるとき又は居室に余裕がないときは、入園を承認しないことができる。

3 条例第1条第1項の規定により定める契約書は次のとおりとする。

(1) 指定介護老人福祉施設入所契約書 (様式第1号)

(2) 指定短期入所生活介護利用契約書 (様式第2号)

4 園長は、必要に応じ入園しようとする者の健康診断書、戸籍謄本、転出証明書又は住民票抄本、印鑑、各種年金証書等の提出を入園者又はその家族に求めることができる。

(通知)

第7条 園長は、前条第2項により入園の承認をしない場合において、条例第1条第1項の申込みによる入園希望者にあつては、その理由を当該入園希望者又はその家族に説明し適切な対応をとるものとし、措置の委託に係る場合にあつては、その理由を付して当該措置を決定した市町村（以下「措置市町村」という。）に通知しなければならない。

(養護変更の届出)

第8条 園長は入園者について養護の変更、停止又は廃止を必要とする事由が生じたときは、速やかに措置市町村に届出なければならない。

(退園)

第9条 園長は、入園者が次の各号のいずれかに該当するに至ったときは退園の手続きをするものとする。ただし措置入園者の退園にあつては、措置市町村と協議するものとする。

(1) 入園者から入園契約の解除又は入園契約の更新をしない旨の申出があつたとき。

(2) 第24条に規定する事項を守らないとき。

(3) その他特別の事由により退園が必要と認めたとき。

第4章 処遇

(処遇の基本原則)

第10条 入園者の処遇については、医学、心理学等の科学的知識の活用につとめ、入園者の心身の状態に応じ、規律ある快適な生活に親しませ、明るい環境の下に生活させるものとする。

(生活相談)

第11条 園長及び生活相談を担当する職員（介護職員）は、入園者に対し、深い理解と関心をもつて接し、常に相談の機会を与えるよう配慮するものとし、指導にあつては、次の各号の事項を守らなければならない。

(1) 個人の尊厳を認識すること。

(2) 公平であつて偏見をもたないこと。

(3) 入園者の立場、性格を理解すること。

(4) 指導の要綱を定め計画的な指導を行なうこと。

(入園者に講ずる措置)

第12条 園長は入園したものに対し、集団生活上必要と認めたときは、次の各号の措置を講ずる。

- (1) 保健衛生上必要な衣類及び所持品を検査し、かつ健康診断を行なうこと。
- (2) 園の事業目的、方針、日課、その他参考となる事項を説示すること。
- (3) 心身の状況、個性、境遇、経歴、教育程度、技能、その他身上に関すること。
- (4) 特別な居室に収容して心身の状態を観察すること。

(給食)

第13条 入園者の健康の保持増進を計るため、次の各号の事項を守らなければならない。

- (1) 変化に富み健康を維持するに十分な熱量、たんぱく質、脂肪分等を確保し、かつ味覚の点にも配慮して栄養の向上に努めること。
- (2) 計画的給食の実施を図るため、月又は週間の予定献立表を作成し、見やすい場所に掲示すること。
- (3) 病弱者については、医師の食事箋により病状に適する特別な食事を給与すること。
- (4) 調理担当職員については、毎月1回以上の検便を実施すること。
- (5) 園長、医師、その他関係職員による検便を月1回以上行なうこと。
- (6) 食品を貯蔵する設備は常に清潔安全に管理すること。

(日用品)

第14条 入園者には寝具、石けん、ちり紙、その他日常生活に必要な物品を貸与又は給与する。

2 前項の物品の利用保管について、園長は適切な指示をすることができる。

(保健衛生)

第15条 入園者の保健衛生については、常に次のことに留意して健康管理に努めなければならない。

- (1) 入園に際しては、身体検査、被服、物品を点検し消毒を行なうこと。
- (2) 食器を毎食後蒸気消毒を行なう。
- (3) 被服、寝具は常に日光消毒を行なうよう配慮する。
- (4) 週2回以上入浴し、常に身体を清潔にする。
- (5) 入園者に対し次の措置を講ずること。
 - ア 入園時のほか毎年2回以上健康診断を行なうこと。
 - イ 必要な予防接種並びに結核検診を行なうこと。
 - ウ 理髪は月1回以上行なうこと。
 - エ 衣類は常に清潔を保ち必要な補修を行なうこと。
- (6) 定期診療は週1回以上とし、必要により随時診療すること。
- (7) 入園者の診察又は治療は、原則として医務室で行ない適時適切な処遇を講ずる。
- (8) 健康に異状あるものの発見につとめ病弱者は、静養室に収容する。
- (9) 保健衛生及び入園者の健康管理に関する記録を備えること。

(教養、娯楽)

第16条 図書、新聞、その他必要な教養、娯楽用具を備える他レクリエーションを随時行なう。

(外出、外泊)

第17条 外出、外泊を希望するものは、外出、外泊届（様式第3号）により行先、帰園時刻などを記し、園長に願出しなければならない。

2 園長は入園者の願出が適当であり、付添者がある時は、特別な事由がない限り許可するものとする。

(面会)

第18条 入園者に面会しようとする者は、住所、氏名及び入園者との関係を申し出て園長の承認を受け、その指定した場所で面会すること。

2 面会者が入園者に金品を与えようとするときは、その内容を提示して園長の許可を得なければならない。

ない。

3 園長は伝染病発生の場合並びに伝染病などのおそれのある場合は面会を断ることができる。

(飲酒)

第19条 入園者の飲酒は、特別な事情のない限り禁止する。

(環境の整備)

第20条 園長は入園者の能力に応じて各自の環境整備、衣類の洗たく等を行なわせることができる。

(入園者の死亡通知)

第21条 入園者が死亡したときは、直ちに身元引受人又は遺族に通知しなければならない。

(葬祭)

第22条 身元引受人又は遺族のある時は、遺体のまま引き渡すことを原則とする。

2 身元引受人又は遺族のない場合は、措置機関から委託を受けて葬儀を行なうことができる。

第5章 入園者の守るべき規律

(日課)

第23条 入園者は日常生活について園長が定める日課表に従い起居するものとする。

2 入園者は常に心身の鍛練に自ら配意し、すすんで団体生活の秩序を保ち相互の親和に努めなければならない。

(規律)

第24条 入園者は次の事項を守り、秩序ある保養生活ができるよう努めなければならない。

(1) 職員の指導に従うこと。

(2) 相互の親和を図り、紛争を避けること。

(3) 身の廻りの清潔、整頓、その他環境衛生の保持のため、その能力に応じて自発的に協力すること。

(4) 相互に金銭及び物品の貸借をしないこと。

(5) 常に備付品の取扱いを丁寧にすること。

(6) 揮発油、その他発火のおそれある物品を持ち込まないこと。

(7) みだりに炊事室、浴場に立ち入らないこと。

(8) けんか若しくは口論、暴力等他人の迷惑になる行ないをしないこと。

(9) 定められたところ以外で喫煙しないこと。

(10) その他定められた規則を守ること。

第6章 災害防止

(災害対策)

第25条 園長は災害防止と入園者の安全を期するため、次の事項に配慮しなければならない。

(1) 消火器、消火栓、非常口、警報機器等防火に関する設備を常に完備しておくこと。

(2) 屋内配線、煙筒など出火の原因となりやすい箇所及びその周辺の点検を随時行なう。

第7章 雑則

(慰問者の応接)

第26条 職員は見学慰問等外来者に対しては、懇切丁寧に応接し、施設の認識を深めるように努めなければならない。

(慰問金品の処理)

第27条 入園者に対し寄贈された金品については、すべてその目的に添い処理されなければならない。

2 園長は前項の金品の授受を明らかにして、その内容について随時町長の閲覧に供さなければならない。

(委任)

第28条 この規則に定めるもののほか、園の管理に必要な事項は、園長が町長の承認を得て別に定める。

附 則

この規則は、昭和49年6月1日から施行する。

附 則（昭和61年3月31日規則第1号）

この規則は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則（平成12年3月31日規則第48号）

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月31日規則第22号抄）

1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成28年3月31日規則第17号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

標茶町立特別養護老人ホームやすらぎ園処務規程

昭和49年6月1日訓令第7号

改正

昭和54年4月1日訓令第3号

昭和61年3月31日訓令第2号

昭和61年4月15日訓令第13号

平成13年3月30日訓令第7号

平成19年3月30日訓令第25号

平成30年3月30日訓令第13号

標茶町立特別養護老人ホームやすらぎ園処務規程

(目的)

第1条 標茶町立特別養護老人ホームやすらぎ園（以下「園」という。）の事務分掌及び職員の服務について定め、入園者の円滑な養護に努めることを目的とする。

(事務分掌)

第2条 園に次の係を置く。

- (1) 庶務係
- (2) 業務係
- (3) 生活相談係
- (4) 看護係

2 各係の分掌事項は、別に定めがあるもののほか次の通りとする。

(1) 庶務係

- ア 職員の身分に関すること。
- イ 印章の管守に関すること。
- ウ 文書の収受、発送及び保存に関すること。
- エ 物品、給食資材、薬品の発注に関すること。
- オ 財産の管理及び営繕に関すること。
- カ 宿日直勤務に関すること。
- キ 園内外の取締に関すること。
- ク その他園内他係に属さない事務に関すること。

(2) 業務係

- ア 入園者の給食に関すること。
- イ 入園者の日課に関すること。
- ウ 入園者の慰安に関すること。
- エ 調査統計及び報告に関すること。

(3) 生活相談係

- ア 入園者の保護及び指導に関すること。
- イ 施設介護支援業務に関すること。
- ウ その他入園者の処遇に関すること。

(4) 看護係

- ア 入園者の診療の補助及び看護に関すること。
- イ 入園者の健康管理に関すること。
- ウ 入園者の機能回復訓練に関すること。
- エ その他入園者の看護等に関すること。

(係長等)

第3条 町長は、必要に応じ、係に係長、主査、主任を置くことができる。

2 係長及び主査は、上司の命を受け、係の事務を掌理し処理する。

3 主任は、上司の命を受け、担任の事務を処理する。

4 前3項に定めるもののほか、必要な職員の所属は、園長がこれを命ずる。

(備付帳簿)

第4条 園に次の簿冊を備付なければならない。

(1) 沿革に関する記録簿

(2) 簿冊台帳

(3) 出勤簿

(4) 日誌

(5) 郵便電信発送簿

(6) 電話処理簿

(7) 入園者名簿

(8) 入園者、入退園に関する書類

(9) 養護の経過指導記録簿

(10) 入園者身上調査簿

(11) 職員名簿

(12) 事業計画書

(13) その他必要な帳簿又は綴

(専決事項)

第5条 園長は、次に掲げる事項を専決処理することができる。

(1) 園名又は園長名をもつてする文書の発送及び処理

(2) 措置収容の許可の決定に関すること。

(3) 入園者の葬祭に関すること。

(4) 入園者の処遇及び日常生活に関すること。

(5) 職員の職務の細部を定めること。

(6) 職員の出張を命ずること（2日以上にわたる場合を除く。）

(7) 職員の日直及び宿直を命ずること。

(8) 職員の超過勤務を命ずること。

(9) 職員の欠勤、休暇、私事旅行等諸願届の承認又は許可を与えること。

(10) 総額5万円以下の物品購入及び契約に関すること。

(11) 物品の受払いに関すること。

(12) その他恒例的事項で軽易な事項

(処務細則)

第6条 園長は、第5条第5号により職員の細部分担を定め又は廃止しようとするときは、町長の承認を受けなければならない。

(代決)

第7条 園長不在のときは、園長の指定する職員がその事務を代決する。

(他の規程の準用)

第8条 この規程に定めのない事項については、標茶町役場処務規程の定めるところによる。

附 則

この規程は、昭和49年6月1日から施行する。

附 則（昭和54年4月1日訓令第3号）

この規程は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則（昭和61年3月31日訓令第2号）

この規程は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則（昭和61年4月15日訓令第13号）

この規程は、公布の日から施行する。

附 則（平成13年3月30日訓令第7号）

この規程は、平成13年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月30日訓令第25号抄）

（施行期日）

1 この訓令は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成30年3月30日訓令第13号）

この訓令は、平成30年4月1日から施行する。

標茶町立特別養護老人ホームやすらぎ園に勤務する 職員の勤務時間等に関する規程

昭和49年6月1日訓令第6号

改正

昭和49年7月1日訓令第11号
昭和51年3月8日訓令第1号
昭和63年4月18日訓令第11号
平成1年11月30日訓令第19号
平成3年8月26日訓令第15号
平成5年9月30日訓令第39号
平成8年3月26日訓令第10号
平成19年3月19日訓令第19号
平成20年3月17日訓令第7号
平成20年12月30日訓令第41号
平成21年3月31日訓令第12号
平成25年3月28日訓令第7号
令和2年4月1日訓令第20号
令和2年7月28日訓令第32号
令和3年8月1日訓令第75号

標茶町立特別養護老人ホームやすらぎ園に勤務する職員の勤務時間等に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、標茶町職員の勤務時間及び休暇等に関する条例（平成8年標茶町条例第2号。以下「条例」という。）第4条第1項の規定に基づき、本町職員中、標茶町立特別養護老人ホームやすらぎ園に勤務する職員（以下「園職員」という。）の勤務時間に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(勤務時間)

第2条 園職員の勤務時間は、休日を除き、月曜日から金曜日までのそれぞれ午前8時45分から午後5時30分までとする。

(休憩時間)

第3条 園職員の休憩時間は、正午から1時間とする。

(特殊勤務者の勤務時間)

第4条 園職員のうち特殊勤務者の勤務時間は、前条の規定にかかわらず別表に定めるところによる。
ただし、園務の状況その他の事由により園長が必要と認めた場合は、別表の規定にかかわらず1週について38時間45分を超えない範囲内で勤務時間を延長し、又は変更することができる。

第5条 前条に該当する職員の休暇日は園長が予め指定するものとする。

附 則

この規程は、昭和49年6月1日から施行する。

附 則（昭和49年7月1日訓令第11号）

この規程は、昭和49年7月1日から施行する。

附 則（昭和51年3月8日訓令第1号）

この規程は、昭和51年3月10日から施行する。

附 則（昭和63年4月18日訓令第11号）

この規程は、昭和63年4月18日から施行する。

附 則（平成1年11月30日訓令第19号）

この規程は、平成1年12月1日から施行する。

附 則（平成3年8月26日訓令第15号）

この規程は、平成3年9月1日から施行する。ただし、第6条の改正規定は、施行の前日までの間に職員に指定された週休土曜日を含む日数とみなす。

附 則（平成5年9月30日訓令第39号）

この規程は、平成5年10月1日から施行する。

附 則（平成8年3月26日訓令第10号）

（施行期日）

この規程は、平成8年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月19日訓令第19号）

この訓令は、平成19年4月1日より施行する。

附 則（平成20年3月17日訓令第7号）

この訓令は、平成20年3月17日から施行する。

附 則（平成20年12月30日訓令第41号）

この訓令は、平成21年1月1日から施行する。

附 則（平成21年3月31日訓令第12号）

この訓令は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成25年3月28日訓令第7号）

この訓令は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（令和2年4月1日訓令第20号）

この訓令は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和2年7月28日訓令第32号）

この訓令は、令和2年8月1日から施行する。

附 則（令和3年8月1日訓令第75号）

この訓令は、令和3年8月1日から施行する。

別表（第4条関係）

1 給食従事者

区 分	勤務時間	休憩時間	適 用
勤務A	自 午前5時45分	1 時間	
	至 午後2時30分		
勤務B	自 午前9時00分	1 時間 15 分	
	至 午後6時00分		
勤務C	自 午前9時00分	2 時間 45 分	
	至 午後7時30分		
勤務D	自 午前10時15分	1 時間 15 分	
	至 午後7時15分		

2 介護員

区 分	勤務時間	休憩時間	適 用
早 出	自 午前7時15分	1 時間	
	至 午後4時15分		
通 常	自 午前8時15分	1 時間 15 分	
	至 午後5時30分		
遅 出	自 午前9時30分	1 時間 15 分	
	至 午後6時45分		

区 分	勤務時間	休憩時間	適 用
夜 勤 A	自 午後4時50分	1 時間 37 分	午後11時から午前2時まで仮眠
	至 午前9時30分		
夜 勤 B	自 午後4時50分	1 時間 37 分	午後9時から午後12時まで仮眠
	至 午前9時30分		
夜 勤 C	自 午後4時50分	1 時間 37 分	午前2時から午前5時まで仮眠
	至 午前9時30分		

3 看護師

区 分	勤務時間	休憩時間	適 用
超 早 出	自 午前7時00分	1 時間 15 分	
	至 午後4時00分		
早 出	自 午前7時30分	1 時間 15 分	
	至 午後4時30分		
日 勤	自 午前8時30分	1 時間 15 分	
	至 午後5時30分		
遅 出	自 午前9時30分	1 時間 15 分	
	至 午後6時30分		
半 日	自 午前7時30分		
	至 午前11時23分		

4 生活相談員

区 分	勤務時間	休憩時間	適 用
通 常	自 午前8時45分	1 時間	
	至 午後5時30分		
遅 出	自 午前9時45分	1 時間	
	至 午後6時30分		

5 管理栄養士及び栄養士

区 分	勤務時間	休憩時間	適 用
通 常	自 午前9時15分	1 時間	
	至 午後6時00分		

標茶町立特別養護老人ホーム「やすらぎ園」 指定介護老人福祉施設運営規程

平成18年3月20日訓令第7号

改正

平成19年3月30日訓令第25号
平成20年3月17日訓令第7号
平成20年12月30日訓令第42号
平成28年3月31日訓令第23号
平成29年3月31日訓令第12号
平成30年3月30日訓令第11号
平成31年3月29日訓令第14号
令和2年3月31日訓令第8号
令和3年3月30日訓令第28号
令和4年3月31日訓令第15号
令和5年3月31日訓令第12号
令和6年1月1日訓令第1号
令和6年3月29日訓令第18号

標茶町立特別養護老人ホーム「やすらぎ園」指定介護老人福祉施設運営規程

(事業の目的)

第1条 標茶町が開設する標茶町立特別養護老人ホーム「やすらぎ園」が行う指定介護老人福祉施設（以下「事業所」という。）が指定介護福祉施設介護の事業（以下「事業」という。）の適切な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の医師、生活相談員、介護職員又は看護職員、管理栄養士、機能訓練指導員、事務職員（以下「指定介護福祉施設従事職員」という。）が要介護状態にある高齢者に対し、適正な指定介護福祉施設サービスを提供することを目的とする。

(運営の方針)

第2条 事業所の指定介護福祉施設従事職員は、要介護状態になった利用者が可能な限り自立した日常生活を営むことができるように支援することを目的として、利用者に日常生活を営むために必要な居室及び共有設備を利用し、介護福祉施設サービスを提供する。

(事業所の名称等)

第3条 事業を行う事業所の名称及び所在地は、次のとおりとする。

- (1) 名称 標茶町立特別養護老人ホーム「やすらぎ園」
- (2) 所在地 北海道川上郡標茶町川上10丁目5番地

(職員の職種、員数、及び職務内容)

第4条 事業所に勤務する職員の職種、員数、及び職務内容は次のとおりとする。

- (1) 管理者（常勤・兼務） 1名
管理者は、事業所職員等の管理、業務の実施状況の把握、その他の管理を一元的に行うと共に、従業者に事業所運営に必要な指揮命令を行う。
- (2) 医師（非常勤・兼務） 3名
医師は利用者の健康管理と医療を行う。
- (3) 生活相談員（常勤・兼務） 4名
生活相談員は、利用者及び家族の相談を行う。
- (4) 介護支援専門員（常勤・兼務） 3名
介護支援専門員は、要介護状態にある利用者へのサービス提供計画等を行う。
- (5) 介護職員（常勤・兼務） 31名
介護職員は施設内日常生活の支援介護を行う。

(6) 看護職員 (常勤・兼務) 5名

看護職員は利用者の健康管理、医療との連携支援を行う。

(7) 管理栄養士 (常勤・兼務) 1名

管理栄養士は利用者の健康管理のため食事栄養を行う。

(8) 機能訓練指導員 (常勤・兼務) 1名

機能訓練指導員は、要介護状態の軽減又は悪化防止のために機能訓練を行う。

(9) 事務職員 (常勤・兼務) 4名

事務員は事業所の庶務及び人事、会計等を行う。

(利用定員)

第5条 事業所の利用定員は、100人とする。

(指定介護老人福祉施設のサービスの内容)

第6条 指定介護老人福祉施設のサービスの内容は次のとおりとする。

(1) 入浴、清拭による清潔の保持

(2) 排泄の自立支援

(3) 離床、着替え、整容、その他の日常生活上の必要な支援

(4) 食事の提供及び栄養管理

(5) 生活機能の改善及び維持のための機能訓練

(6) 健康管理

(7) 家族に対する相談・助言等の援助

(8) その他レクリエーション・行事等のサービスの提供

(9) 退所に当たっての居宅介護支援事業者及びにサービス提供事業者との連絡調整

(利用料等)

第7条 事業者が提供する介護福祉施設サービスの利用料は、標茶町介護保険条例施行規則（平成12年 標茶町規則第52号）第18条に定められたとおりとする。

2 前項のほか、事業所において提供されるサービスのうち、日常生活においても通常必要となるものに係る費用であって、利用者に負担させることが適当と認められる費用の額の支払いを利用者から徴収する。この場合において、利用者又はその家族に対して事前に文書で説明した上で、支払いに同意する旨の文書に署名（記名押印）を受けることとする。

(施設の利用にあたっての留意事項)

第8条 入所者は相互の親睦に努めるとともに、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 火気の取扱に注意し、指定された場所以外での喫煙をしないこと。

(2) 喧嘩、口論、泥酔、賭博等他人の迷惑となるような行為をしないこと。

(3) 医師の行為を拒否し、又は職員の指示に反する行為をしないこと。

(4) その他、施設の管理運営に支障を来すような行為をしないこと。

(緊急時等における対応方法)

第9条 事業所は、入所者に対する介護福祉施設サービスの提供により事故等緊急事態が発生した場合は、速やかに必要な措置を講ずるとともに、入所者の家族や市町村に連絡を行うとともに、賠償すべき内容の場合は、損害賠償等を速やかに行えるよう手続きする。

(非常災害対策)

第10条 非常災害対策時に適切に対応するため、非常災害に関する具体的計画をたてるとともに、非常災害時に備えるため、定期的に避難・救出その他必要な訓練に努めるものとする。

(緊急やむを得ず身体拘束を行う際の手続き)

第11条 介護福祉施設サービスの提供に当たっては、当該入所者又は入所者等の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束その他入所者の行動を制限する行動を行わないものとする。

2 前項の身体拘束等を行う場合には、その態様及び時間、その際の入所者の心身の状況並びに緊急や

むを得ない理由を記録するものとする。

(記録の整備)

第12条 事業所は、従業者、設備及び会計に関する諸記録を整備する。

また、入所者に対するサービスの提供及びやむを得ず行った介護内容等に関する諸記録を整備し、標茶町文書保存規程に基づき保存するものとする。

(虐待防止に関する事項)

第13条 事業所は、入所者の人権の擁護、虐待の発生またはその再発を防止するため次の措置を講ずるものとする。

(1) 虐待防止のための対策を検討する委員会（テレビ電話装置等を活用して行うことができるものとする。）を定期的で開催するとともに、その結果について従事者に周知徹底を図る

(2) 虐待防止のための指針の整備

(3) 従事者に対し虐待を防止するための定期的な研修の実施

(4) 前3号に掲げる措置を適切に実施するための担当者の設置

(その他運営についての留意事項)

第14条 事業所は、従事者の資質の向上を図るための研修の機会を設けるものとし、又、業務体制を整備する。

2 従業者は、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持する。

3 従業者であった者に、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持させるため、従業者でなくなった後においてもそれらの秘密を保持すべき旨に従業者との雇用契約の内容とする。

4 当事業所は、その運営に当たって地域住民又は自発的な活動等との連携及び協力を行うなど地域との交流に努めることとする。

5 当事業所は第6条に基づいて提供したサービス等に関する入所者等からの苦情に速やかに対応するため、苦情受け付けするための窓口を設置するなど必要な措置を講ずるものとするほか、法律に基づく各種調査に協力するとともに助言に従って必要な改善を行っていくものとする。

6 この規定に定めるもののほか、必要な事項は町長が別に定める。

附 則

この訓令は、公布の日から施行する。

附 則（平成19年3月30日訓令第25号抄）

(施行期日)

1 この訓令は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成20年3月17日訓令第7号）

この訓令は、平成20年3月17日から施行する。

附 則（平成20年12月30日訓令第42号）

この訓令は、平成21年1月1日から施行する。

附 則（平成28年3月31日訓令第23号）

この訓令は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成29年3月31日訓令第12号）

この訓令は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成30年3月30日訓令第11号）

この訓令は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成31年3月29日訓令第14号）

この訓令は、平成31年4月1日から施行する。

附 則（令和2年3月31日訓令第8号）

この訓令は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和3年3月30日訓令第28号）

この訓令は、令和3年4月1日から施行する。

附 則（令和４年３月31日訓令第15号）
この訓令は、令和４年４月１日から施行する。

附 則（令和５年３月31日訓令第12号）
この訓令は、令和５年４月１日から施行する。

附 則（令和６年１月１日訓令第１号）
この訓令は、令和６年１月１日から施行する。

附 則（令和６年３月29日訓令第18号）
この訓令は、令和６年４月１日から施行する。

標茶町福祉施設利用者等の福祉サービスに関する 苦情解決実施要綱

令和4年4月1日訓令第27号

標茶町福祉施設利用者等の福祉サービスに関する苦情解決実施要綱

(目的)

第1条 この要綱は、社会福祉法（昭和26年法律第45号）第82条の規定に基づき、標茶町立特別養護老人ホーム設置条例（昭和49年標茶町条例第16号）により設置した標茶町立特別養護老人ホームやすらぎ園及び標茶町デイサービスセンター設置条例（平成5年標茶町条例第11号）により設置した標茶町デイサービスセンターが提供する福祉サービスに関し、利用者、その家族及び代理人（以下「利用者等」という。）からの苦情を適切に解決することにより、利用者個人の権利を擁護するとともに、提供する福祉サービスの品質を向上させ、福祉の一層の増進に寄与することを目的とする。

(苦情解決体制)

第2条 苦情の円滑、円満な解決を図るため、次の組織を置く。

- (1) 苦情解決責任者（以下「責任者」という。）を置く。
- (2) 苦情受付担当者（以下「担当者」という。）を置く。
- (3) 苦情解決に社会性や客観性を確保し、利用者の立場や特性に配慮した適正な対応を推進するため、第三者による苦情調整のための標茶町福祉サービス苦情解決第三者委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(責任者の配置)

第3条 苦情処理を全般的に指導統括する任に当たる者を配置する。

- (1) 標茶町立特別養護老人ホームやすらぎ園は園長
- (2) 標茶町デイサービスセンターは施設長

(担当者の配置及び職務)

第4条 利用者等が苦情の申出をしやすい環境を整えるため、施設に担当者を置き、施設の職員の中から園長又は施設長が選任する。

2 担当者の職務は次のとおりとする。

- (1) 利用者等からの苦情を受け付け、苦情受付書（別記様式第1号）に記録する。
- (2) 記録した苦情の内容、利用者の意向等を委員会が苦情申出人へ報告する受付報告書（別記様式第2号）を作成する。
- (3) 受け付けた苦情内容及びその解決結果等を委員会へ報告するため苦情解決結果報告書（別記様式第3号）を作成する。

(委員会の委員)

第5条 委員は社会的に信頼性、公正性が認められ、かつ社会福祉に識見を有する者であつて、次の各号に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

- (1) やすらぎ園家族会
- (2) 民生児童委員
- (3) 社会福祉事業において相談業務をおこなっている者
- (4) 学識経験者

2 委員の委嘱期間は、2年間とする。ただし、再任は妨げない。欠員となり新たに委員となった者の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員の責務は、次のとおりとする。

- (1) 委員は、公平かつ適切にその職務を遂行しなければならない。
- (2) 委員は、その職務の遂行において、社会性や客観性を確保し、利用者の立場や特性に配慮して適切な対応を図るものとする。
- (3) 委員及び委員の職にあった者は、その職務に関して知り得た個人情報等を漏らしてはならない。

4 委員の職務は、次のとおりとする。

- (1) 苦情受付担当者が受け付けた苦情内容の報告聴取
- (2) 苦情内容の報告を受けた旨の苦情申出人への通知
- (3) 利用者等からの苦情等の直接受付
- (4) 苦情内容の事実関係を把握するための調査
- (5) 苦情申出人及び事業者への助言
- (6) 苦情等申出人と苦情解決責任者の話し合いへの立ち合い及び助言
- (7) 苦情解決責任者からの苦情に係る事案の改善状況等の報告聴取
- (8) 利用者の日常的な状況把握と意見聴取

(委員会の開催)

第6条 利用者等からの苦情の申出に適切に対応するため、町長の諮問に基づき、また委員相互の情報交換及び連携を図るため必要に応じ会議を開催することができる。

(苦情解決結果の公表)

第7条 責任者は、利用者によるサービスの選択や事業者によるサービスの質や信頼性の向上を図るため、個人情報に関するものを除き、苦情解決結果を事業報告書及び広報紙等に掲載し公表に努めるものとする。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

この訓令は、令和4年4月1日より施行する。

施設のあらまし

◆利用定員 100名

◆浴室 一般浴室（温泉浴） 1室
特別浴室（機械浴） 1室

◆居室構成 1人室 3室
2人室 22室
3人室 1室
4人室 14室

◆暖房設備 居室 パネル式温水暖房
共用部分 温水式床暖房

短期保護室 2人室 2室

◆建物の構造 鉄筋コンクリート陸屋根平屋建

静養室 2人室 1室

◆建物の面積 2,615.38㎡
(内デイサービス部分 438.90㎡)



居室（2人室）



居室（4人室）



一般浴室



特別浴室（機械浴）



機能回復訓練室

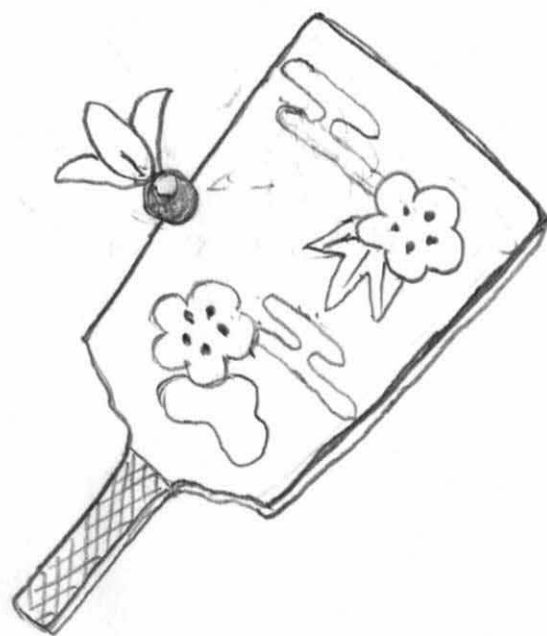


娯楽室

施設平面図







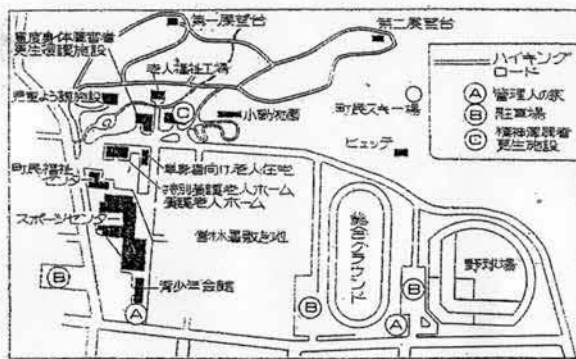
新聞報道に見る
やすらぎ園50年の歩み
昭和48年～令和6年

1973年(S48)

道新 2月13日

夢いっぱい福祉村

標茶、最終プランまとまる



老人や身障者施設

小動物園、ハイキング道も

【標茶町は一昨年から福祉村建設に取り組んでいるが、その最終的なプランがまとまった。老人、身障者の各施設からスポーツセンター、青少年会館、さらに小動物園、ヒュッテ広場、総合グラウンドなど中身は盛りだくさん。すでにいくつかは出来上がっており、今後五年間に約七億円を投じて、町民すべてが心配のない毎日を送り、また気軽に憩い、楽しめる場所になると意欲的だ。

特別養護老人ホーム

新年度実施見込む



場所は標茶町標茶に隣接する旧軍馬補充部一帯で面積は約十六畝。かつて二万八千人近い人口があった町も、過疎化が急速に進み、現在は一万四千人弱。そして過疎はなおひびくと運送に苦しむ。そこで魅力ある町づくりをして、町民の流出を防止しようとする。

福祉村完成予想図と昨年度に出来上がった単身者向け老人住宅

がけたのが福祉村建設。しかし、当初ははるかにしたもので、「いろいろの施設をまとめてみよう」といった程度。そして一歩先に進められたのが青少年会館。一昨年度完成し現在若い人たちの集り場として盛んに活用されている。続いて昨年度は独身者のための住宅が「むね十二戸」を福祉村として造り上げる構想が固まり、本格的なプラン作りに取りかかった。

このほどまとまった青年会館によると、施設数は完成したものを加え、計二十一、主なものには老人関係が四つ、身障者、障害者関係が二つ、児童養護施設が一つ、あとは一般町民を対象としたもので、プール付きのスポーツセンターや総合グラウンド、野球場、スキー場、生活に関するおおいをもたせよう。楽しくするための小動物園やヒュッテ広場、ハイキングロードなどのほか、展望台二つも盛り込まれている。

つまり四十八年度に実現を見込んでいるのが特別養護老人ホーム、病室や寝たきりのお年寄りを収容する施設で、現在道路工事を進めて補助金の申請をしており、見通しは明るいという。ついでスポーツセンターを中心とした体育関係の施設整備に移るが、この中には

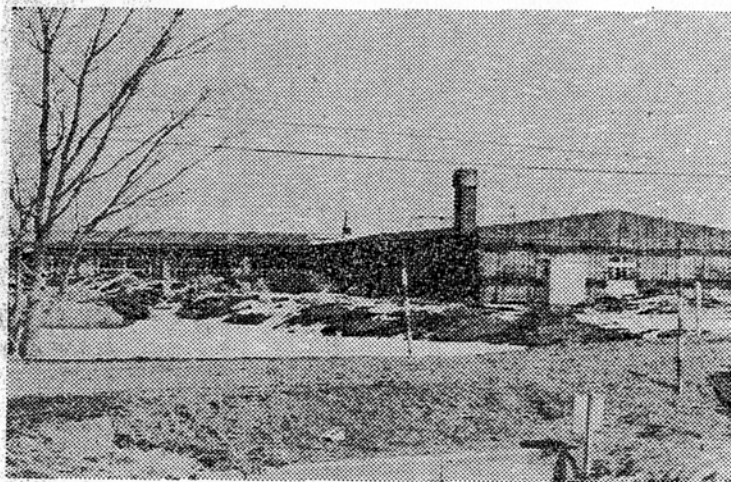
スキ場のように従来のものに加えて、手を加えるといったものがある。一昨年度の青少年会館から始まって、すでに二年を経過しているが、町は今後五年で完成に近づきたい意向。投入される費用は、物価上昇の折から七億円を上回るものも予想されている。整備を基幹経費に、将来の基盤作りが着々と進んでいる時だけに、ユニークな福祉村建設に町民の期待が高まっている。

1974年(S49)

釧新 3月20日

六月に待望のオープン

標茶町立特別養護老人ホーム



愛称も「やすらぎ園」

【標茶】駒ヶ丘福祉村の町立特別養護老人ホームは昨年八月から新築工事が進められていたが、近く完了する。愛称も公募の結果、やすらぎ園に決まり、入園者選定などの準備を進めて六月一日にオープンする計画だ。

訓練室など施設充実

入園者選定準備進める

町立特別養護老人ホームは鉄筋コンクリート平屋建、一千三百九十四平方メートル。国、道の補助金を受けて総工費二億二千三百七十万円で昨年八月、地元の世原組の施工で着工された。

収容定員は五十人で、六人用六室、二人用七室のほか機能回復訓練室、面会室、静養室、洗脚・乾燥室、医務室、食堂と一般浴室、特別浴室など種々切り老人向きの設備が設けられる。

工事は昨年末の資材不足などの影響で遅れ気味だが、すでにガラス窓も入り外観の工事はほぼ終了。町では備品搬入、入園者選定などの準備期間が必要のため六月一日のオープンを計画している。

特別養護老人ホームは釧路管内では弟子屈町の徳和園、釧路市に次いで三カ所目、各園の定員は

六月オープンが予定されている
標茶町立特別養護老人ホーム

五十人のため管内の収容力は百五十人になる。標茶管内では別海町が今春のオープンを予定しているため、寝たきり老人の福祉施設はここ一、二年で一挙に充実するようになる。

また、標茶町立特別養護老人ホームの建っている駒ヶ丘福祉村にはすでに青少年会館、単身老人用住宅があり、将来は一般老人ホーム(定員百人)の建設も計画している。

1974年(S49)

道新 5月14日

標茶の特別養護老人ホーム

「やすらぎ園」が完成



完成した特別養護老人ホーム

この特別養護老人ホームは、住民福祉に力を入れている町が、約一億三千万円を投じて、川上町の一角にある、福祉村で昨年の秋から建設にかかっていたもの。規模は鉄骨平屋面積約千四百平方メートル。内部には大用の部屋が六室、二入用が七室で定員は五十人。ほかに医師室、看護婦結核所、一般室、食堂、談話室、相談室がある。広い廊下にはじゅうたんが敷き詰められて、全窓に明るく静かな自然光。設備としては、機能回復訓練用の器具をはじめ、寝たきりの老人の入浴のため、横になったまま入浴できる特別浴槽などがあり、車いすでの出入りも可能。

施設の名前は、町民の公募で「やすらぎ園」と決まった。入園出来るのは六十五歳以上の老人で、日常の生活を一人で送れないことが条件。原則として入園は無料だが、所得状況によって料金がかかる場合もある。町内には約三十五人の対象者がいるものの、全量入園することはないので定員にかなり余裕があり、他町からの希望者を収容することも考えているが、町総務部保健福祉課が窓口となって、募集に努めている。

一方、同施設で働くスタッフは、看護婦、栄養士、介護士、調理人をはじめ生活指導員、事務職員など総勢十八人。すでに発令するまで、運営に必要な条例の制定も終わっている。

【標茶】町が昨年から建設を進めていた特別養護老人ホームが、六月一日の開園を前にこのほど完成した。機能回復訓練器具、寝たきり老人の入浴設備などがあり、内部は明るく静かなムード。すでに「やすらぎ園」と名が決まり、現在町内外から入居者を募っている。

寝たままでも入浴も

来月
開園 機能回復に訓練設備

1974年(S49)

道新 6月4日



標榜の特別養
護老人ホーム

「やすらぎ園」オープン

【徳島】町の特別養護老人ホーム「やすらぎ園」が、日かろオープンした。二百名の老人が、新しい生活を始めたが、七平屋建て、収容定員は五十人で、どの顔も満足そう。

早速歩行器使う

新生活の28人、満足そう

【徳島】町の特別養護老人ホーム「やすらぎ園」が、日かろオープンした。二百名の老人が、新しい生活を始めたが、七平屋建て、収容定員は五十人で、どの顔も満足そう。

【徳島】町の特別養護老人ホーム「やすらぎ園」が、日かろオープンした。二百名の老人が、新しい生活を始めたが、七平屋建て、収容定員は五十人で、どの顔も満足そう。

【徳島】町の特別養護老人ホーム「やすらぎ園」が、日かろオープンした。二百名の老人が、新しい生活を始めたが、七平屋建て、収容定員は五十人で、どの顔も満足そう。

いて、町長、保健福祉課長が入園者を励ますためにやめた。

1974年(S49)

釧新 12月8日

運営 ようやく軌道に

特別養護老人ホーム

「やすらぎ園」オープンして半年



半数が「寝たきり」

多くなつた慰問に大喜び

北方領土 高まる世論が早める復帰

復帰運動
スローガン

者もやり繰りに苦慮している。同ホームでは「なるべく家庭的な雰囲気のもとで運営しています」と、お年寄り達が張りある生活が送れるように心づかに努めている。

同老人ホームのほかに日用品必需品などを含め、月「やすらぎ園」一、二万八千の手続きがなわけては、この六月六

十五歳以上のお年寄りを収容するたため開設された。同施設は収容定員五十人で、寝たきり老人など、重症患者が半分以上を占めているが昨年からの異常な物価高に、施設関係者も、食事などの面でかなり苦慮している。現在同老人ホームには寝たきりのお年寄り三十二人と、元気なお年寄りが三十三人の合わせて六十五人が入っており、一日の食事代が四百円、このうち食費は二百円、残り二百円は

物価高で食費のやり繰りにも苦労が

【釧路】ことし六月オープンした釧路市立特別養護老人ホーム「やすらぎ園」(高橋収容員)もすでに半年余を経過、お年寄り達も今ではすっかり施設の生活に慣れた様子。しかしこの物価高に施設関係

同園では、一日の食事代を四百円に抑えて、お年寄りの生活に支障をきたさないよう、物価高に耐えかねたお年寄りがいるという。「元々やすらぎ園の場合、施設と異なり、物価上昇とともに補助費も上がるので、こうした点はほかの施設とは異なる」と、同園の職員は

同園では、一日の食事代を四百円に抑えて、お年寄りの生活に支障をきたさないよう、物価高に耐えかねたお年寄りがいるという。「元々やすらぎ園の場合、施設と異なり、物価上昇とともに補助費も上がるので、こうした点はほかの施設とは異なる」と、同園の職員は

同園では、一日の食事代を四百円に抑えて、お年寄りの生活に支障をきたさないよう、物価高に耐えかねたお年寄りがいるという。「元々やすらぎ園の場合、施設と異なり、物価上昇とともに補助費も上がるので、こうした点はほかの施設とは異なる」と、同園の職員は

同園では、一日の食事代を四百円に抑えて、お年寄りの生活に支障をきたさないよう、物価高に耐えかねたお年寄りがいるという。「元々やすらぎ園の場合、施設と異なり、物価上昇とともに補助費も上がるので、こうした点はほかの施設とは異なる」と、同園の職員は

同園では、一日の食事代を四百円に抑えて、お年寄りの生活に支障をきたさないよう、物価高に耐えかねたお年寄りがいるという。「元々やすらぎ園の場合、施設と異なり、物価上昇とともに補助費も上がるので、こうした点はほかの施設とは異なる」と、同園の職員は

同園では、一日の食事代を四百円に抑えて、お年寄りの生活に支障をきたさないよう、物価高に耐えかねたお年寄りがいるという。「元々やすらぎ園の場合、施設と異なり、物価上昇とともに補助費も上がるので、こうした点はほかの施設とは異なる」と、同園の職員は

同園では、一日の食事代を四百円に抑えて、お年寄りの生活に支障をきたさないよう、物価高に耐えかねたお年寄りがいるという。「元々やすらぎ園の場合、施設と異なり、物価上昇とともに補助費も上がるので、こうした点はほかの施設とは異なる」と、同園の職員は

同園では、一日の食事代を四百円に抑えて、お年寄りの生活に支障をきたさないよう、物価高に耐えかねたお年寄りがいるという。「元々やすらぎ園の場合、施設と異なり、物価上昇とともに補助費も上がるので、こうした点はほかの施設とは異なる」と、同園の職員は

同園では、一日の食事代を四百円に抑えて、お年寄りの生活に支障をきたさないよう、物価高に耐えかねたお年寄りがいるという。「元々やすらぎ園の場合、施設と異なり、物価上昇とともに補助費も上がるので、こうした点はほかの施設とは異なる」と、同園の職員は

同園では、一日の食事代を四百円に抑えて、お年寄りの生活に支障をきたさないよう、物価高に耐えかねたお年寄りがいるという。「元々やすらぎ園の場合、施設と異なり、物価上昇とともに補助費も上がるので、こうした点はほかの施設とは異なる」と、同園の職員は

同園では、一日の食事代を四百円に抑えて、お年寄りの生活に支障をきたさないよう、物価高に耐えかねたお年寄りがいるという。「元々やすらぎ園の場合、施設と異なり、物価上昇とともに補助費も上がるので、こうした点はほかの施設とは異なる」と、同園の職員は

同園では、一日の食事代を四百円に抑えて、お年寄りの生活に支障をきたさないよう、物価高に耐えかねたお年寄りがいるという。「元々やすらぎ園の場合、施設と異なり、物価上昇とともに補助費も上がるので、こうした点はほかの施設とは異なる」と、同園の職員は

同園では、一日の食事代を四百円に抑えて、お年寄りの生活に支障をきたさないよう、物価高に耐えかねたお年寄りがいるという。「元々やすらぎ園の場合、施設と異なり、物価上昇とともに補助費も上がるので、こうした点はほかの施設とは異なる」と、同園の職員は

同園では、一日の食事代を四百円に抑えて、お年寄りの生活に支障をきたさないよう、物価高に耐えかねたお年寄りがいるという。「元々やすらぎ園の場合、施設と異なり、物価上昇とともに補助費も上がるので、こうした点はほかの施設とは異なる」と、同園の職員は

同園では、一日の食事代を四百円に抑えて、お年寄りの生活に支障をきたさないよう、物価高に耐えかねたお年寄りがいるという。「元々やすらぎ園の場合、施設と異なり、物価上昇とともに補助費も上がるので、こうした点はほかの施設とは異なる」と、同園の職員は

同園では、一日の食事代を四百円に抑えて、お年寄りの生活に支障をきたさないよう、物価高に耐えかねたお年寄りがいるという。「元々やすらぎ園の場合、施設と異なり、物価上昇とともに補助費も上がるので、こうした点はほかの施設とは異なる」と、同園の職員は

同園では、一日の食事代を四百円に抑えて、お年寄りの生活に支障をきたさないよう、物価高に耐えかねたお年寄りがいるという。「元々やすらぎ園の場合、施設と異なり、物価上昇とともに補助費も上がるので、こうした点はほかの施設とは異なる」と、同園の職員は

同園では、一日の食事代を四百円に抑えて、お年寄りの生活に支障をきたさないよう、物価高に耐えかねたお年寄りがいるという。「元々やすらぎ園の場合、施設と異なり、物価上昇とともに補助費も上がるので、こうした点はほかの施設とは異なる」と、同園の職員は

同園では、一日の食事代を四百円に抑えて、お年寄りの生活に支障をきたさないよう、物価高に耐えかねたお年寄りがいるという。「元々やすらぎ園の場合、施設と異なり、物価上昇とともに補助費も上がるので、こうした点はほかの施設とは異なる」と、同園の職員は

同園では、一日の食事代を四百円に抑えて、お年寄りの生活に支障をきたさないよう、物価高に耐えかねたお年寄りがいるという。「元々やすらぎ園の場合、施設と異なり、物価上昇とともに補助費も上がるので、こうした点はほかの施設とは異なる」と、同園の職員は

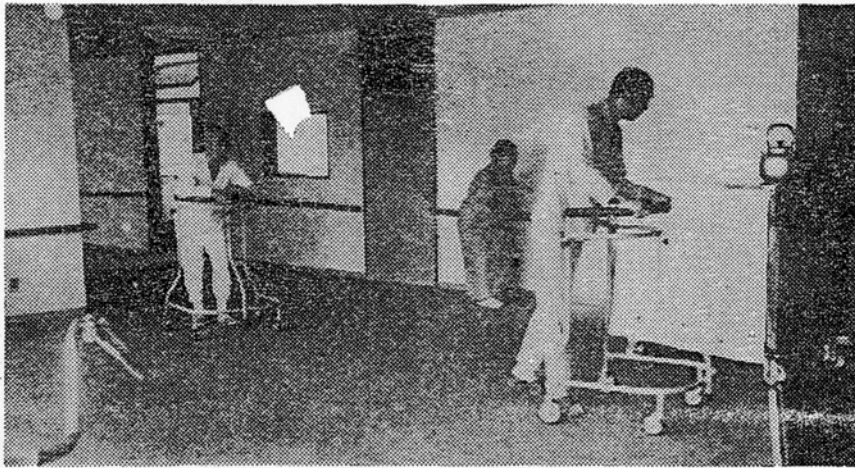
同園では、一日の食事代を四百円に抑えて、お年寄りの生活に支障をきたさないよう、物価高に耐えかねたお年寄りがいるという。「元々やすらぎ園の場合、施設と異なり、物価上昇とともに補助費も上がるので、こうした点はほかの施設とは異なる」と、同園の職員は

1976年(S51)

釧新 1月24日

町 51年度に増築目指す

入園希望多く手狭に 国や道に実現働きかけ



標茶町の特別養護老人ホーム やすき園

【標茶】寝たきり老人の収容施設特別養護老人ホームやすき園の増築を、標茶町は五十一年度実現させる方向で国や道に対し働きかけを進めている。昨年町議会でも「収容し切れぬお年寄りが多いので、ぜひ増築したい」と門屋標茶町長が表明、その後数回国や道に対して陳情が行われた。現在同園の収容を定めて、施設の整備をはかろうとしているので、二月末には何らかの結論が出される見込みだ。

標茶町のやすき園は、四十九きり老人収容施設としてオープン。年六月一日に六十五歳以上の寝たきり老人、地元標茶をはじめ釧路市、

厚岸町、標茶町、北見などからの入園希望者が殺到した。園の息子屈町にも、老人収容施設はあるものの、応じ切れぬのが実情で自宅待機のままのお年寄りも多々。とくに最近では家庭内治療ができないお年寄りをこころした施設に収容するケースも増えているため入園を希望する人が多くなっている。やすき園がオープンして以来

同園に入園したお年寄りは八十四人。このうち退園したのが十四人、現在に十七人が死亡している。現在に五十四人が同園で寝たきりの生活を送っている。このため町は収容者の入園希望やすき園への入園希望者は増え、増築が叫ばれている。

「町としては老人福祉のなかでも要請の多い、寝たきり特別養護老人ホームの増築はぜひとも実現させたいと考えているが、予算措置の面で苦しい状況だ。」と町長は、道東の市町村からの申し込みが多い施設増築問題に「町長は結論が出ないもの」とも述べている。

1977年(S52)

道新 4月3日

居心地は
満点じゃ

標茶の老人ホーム「やすらぎ園」



収容定員を倍増した「やすらぎ園」。左側が娯楽室など昨年末完工した新築部分

定員倍増、豪華な施設

カップルに「二人部屋」 50畳敷き娯楽室も

【標茶】標茶町の町立特別養護老人ホーム「やすらぎ園」（高橋修園長）は、一日から園職員を十二人ふやし、入園するお年寄りの定員を五十人から一筆に百人へ倍増させる体制を整えた。施設も広くデラックス化したのダブルサービスで、関係者も喜んでいる。

同園は、門屋町長が目ざす「標茶町福祉村」構想の中核のひとつ。

これまで職員三十人で五十四人のお年寄りの世話をしてきたが、さらに老人福祉対策の充実をはかること、昨年度から工費一億六千五百万円をかけ施設増築に踏み切った。

この結果、施設の広さが倍増。六つのベッドを入れていた「六人部屋」が「四人部屋」になり、老カプルのプライバシーを尊重する「二人部屋」が五室も設けられた。また、畳の感触を懐かしがる人や憩いにまぎれる人々との交歓のために、五十畳敷きの娯楽室も新築した。娯楽室はテレビが常置されているばかりでなく、両角を床までガラス張りにして、すわったまま標茶のまち並みや通行人が見られるテラスもついている。

さらに、病身のお年寄りを優かせる静養室は、八ベッドが置かれ看護婦詰めの所からガラス越しに目が届くなど、いたれりつくせりの設計になっている。

一方、町はこうしたお年寄りの面倒を見る養母として、町内の三十二歳から四十二歳の主婦十一人を採用。新養母さんたちは一週間の泊まりを含む研修勤務を終え、同日、同園のボイラー技士一人と

ともに命令を受けた。

この日は、さっそく八人のお年寄りが入園、六日ごろまでに三十五人が入ってくる予定という。同園は、標茶町民でなくても入園することができる。

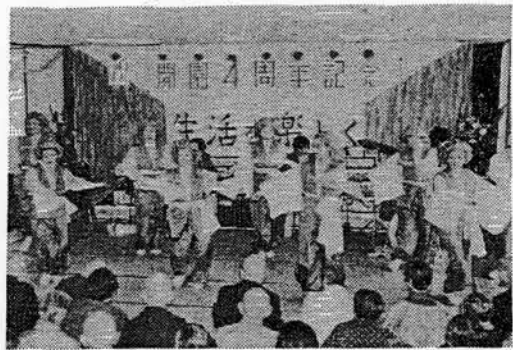
室内は、バジャマ、寝間着姿で歩いても、風邪を引かないよう常に二十度以上を保ち、まるで春のような暖かさ。「福祉村」に住むお年寄りに対して、施設の充実は大きなプレゼントで、喜ばれている。

1978年(S53)

釧新 6月4日

演芸や踊りで楽しく

「やすらぎ園」開園四周年
標茶町関係者ら喜び祝う



【標茶】昭和四十九年六月に開園し、ことし四周年目を迎えた特別養護老人ホーム「やすらぎ園」はこのほど同園で、町関係者や入園者はじめ入園者の親族などが参加して記念行事を行った。

記念行事では、川畑町助役や高橋修園長などのあいさつがあった後、演奏会に移り町役場職員で結成している軽音楽バンド「MBドリムス」(日井好和代表)の音楽で幕開け。同園の寮母さんたちの踊り「花笠音頭」や歌が披露された。

また、同園の看護婦さんたちは、おひつ子たちに人気のあるピンク・レディーのものまねで「UFO」などを演じ、会場から盛んな拍手が送られた。調理員の人たちは「越中おはら節」の踊りを披露し、園舎に見入っていた。

町関係者も出席して行われた「やすらぎ園」の開園四周年記念行事

園、お年寄りを喜ばせた。

演奏会では、標茶料理店組合(島本繁雄組合長)が差し入れした「生寿し」やシラカバ、ウドンそれにMBドリムスからは紅白のまんじゅうが入園者全員に配られ、お年寄りは笑顔で楽しんだ。

また、部屋から出ることでできない寝たきり老人のため、町内のサンエス家電(豊田実社長)の協力で、会場の様子をVTRを使って各室に備え付けられたテレビに流し、お年寄りは寝ながら楽しそうに配られた生寿しや、まんじゅうをほおぼり、会場で催されている演奏会やMBドリムスの「園舎」に見入っていた。

釧新 11月26日

「やすらぎ園」の前庭を整備

【標茶】町は、標茶市街の川上町第十線道路の整備事業を進めているが、この工事と合わせて同線沿いに位置している特別養護老人ホーム「やすらぎ園」の前庭整備も進めている。この整備事業の総工費は、舗装、一般工事を含めて約一千七百九十七万円。

やすらぎ園の前庭はカラー舗装され、体の弱ったお年寄りや車イスのお年寄りが安心して歩くことができる。散歩道も設けられた。また、前庭には木も植えられた。本数こそ少ないが、オシロイバナ、サクラ、シラカバ、紅葉など種類は豊富。これからは外に出る機会も少ないが、来春はこれら木々の葉も茂り、花に埋まった前庭で、日なたは「こ」をするお年寄りの姿が見受けられそうだ。



整備を進めている「やすらぎ園」の前庭

釧新 12月28日

Xマスと忘年会を楽しむ

標茶町の「やすらぎ園」

【標茶】特別養護老人ホーム「やすらぎ園」(高橋修園長)の彩人たちのクリスマスと忘年会の催しが二十三日午後二時から同園で行われ、MBドリムスを始め、市街の愛光幼稚園の園児、農業高校生のコーラスや踊り、バンド演奏が行われ、楽しいひと時を過ごした。発表会は愛光幼稚園の園児たちのクリスマスの歌や踊りが行われ、可愛い園児たちに声援と拍手がおくられた。

続いて、農業高校生のグループ十人が指人形劇や、歌謡曲、星かげのワルツや、同期の桜が歌われていたが感激してそっと目がしるを押しえる老人も見られた。



最後に、MBドリムス(日井好和代表)によるバンド演奏が行われ、北国の春、花街の母など三曲が送られていたが車椅子の老人や寮母さんに付き添われて聞いていた老人なども拍手を送っていた。

やすらぎ園でのクリスマスと忘年会

楽しい演奏会などが終わってから高校生たちは入園者全員にクリスマスカードを贈っていたが、高校生代表は「今日は私たちの、そまつな発表でしたがおわりましていたいただきありがとうございます。これからも元気でいつまでも長生きをして下さい」と挨拶を行い楽しい催しを終えた。

1979年(S54)

釧新 11月14日

ガラス磨きなど奉仕作業

標茶農業高校の先生と生徒たち

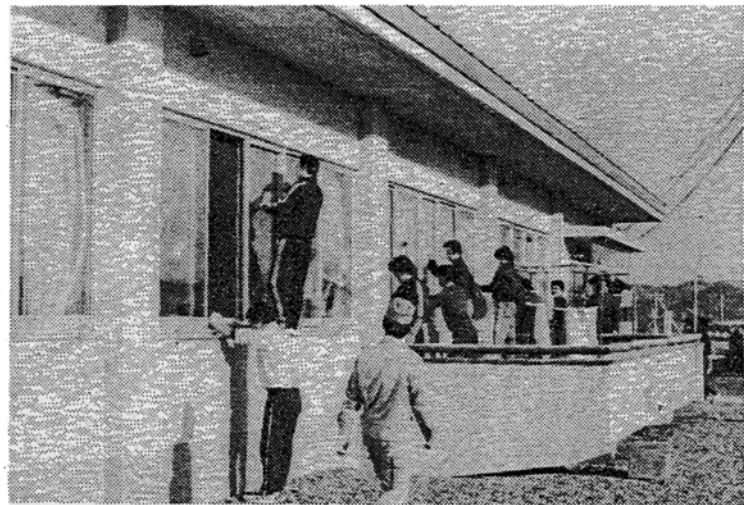
「やすらぎ園」を訪れて

【標茶】標茶農業高校の生徒と先生たちが特別養護老人ホームやすらぎ園（桐原徹園長）を訪れ、園舎のガラス磨きなどの奉仕作業を行い入園者のおじいさんやおばあさんたちから感謝されている。

この日訪れた高校生と先生たちは合わせて八十五人。手に手に雑巾やふきんを持って居室三十一部屋、玄関や集客室、事務室など五十近い部屋の窓ガラスやけい光管などを磨き上げるうちに磨き上げた。

入園の老人たちに職員が「高校生のガラス磨きやけい光管をきれいにしてるんですよ」と説明すると涙を流して喜んでる姿も見受けられた。

奉仕作業に従事したのは同校の全クラスの奉仕委員と有志の生徒で、同奉仕委員たちは今年にはいつてから通学路の清掃や開発センター前の花壇作り、市街のメーソン通りにフタフタボックスの設置なども行っており、すっかりきれいになった。やすらぎ園に職員やお年寄りも大喜びだった。



釧新 12月27日

目細めるお年寄り

やすらぎ園でXマス忘年会

【標茶】クリスマス・イブの二十四日、標茶町の町老人ホームやすらぎ園（桐原徹園長）で、愛光幼稚園児、標茶農高生、同園職員によるクリスマス忘年会が開かれ、百人のお年寄りたちを喜ばせた。

愛光幼稚園（近藤卯吉園長）の園児代表約二十人は、父母たちからのチリ紙などの贈り物も持参。「絵日がさ人形」「チビッコ保安官」などの遊戯を踊り、車イスに乗って集まったお年寄りたちの目をすっかり細めさせた。

次いで寮母さんや男子職員が、役場職員のMBドリームの伴奏にのって「崖壁の母」「花街の母」など八曲を朗かせた。標茶農高からは三十人が訪れ、合唱を四曲歌



やすらぎ園のクリスマス忘年会で踊る愛光幼稚園児たち

い、同高温室で正月に映くよう育てたシクラメンのはち十個を、お年寄りに贈った。

老人たちが自室に戻り、ロウソクを立てたショートケーキを受け取ったのを見はからって高校生たちのキャンドルサービスが始まり

「早く元気になってくださいと、ロウソクに火を移し、クリスマス祝った。夕食は握りずしに茶わん蒸しの豪華版。お年寄りたちはこのあと、二十八日の年越し祝いの会のあと、十五人ほどが子供たちの家で正月を迎えるという。

1981年(S56)

釧新 4月3日



家賃安く、広い間取り

軽費老人
ホーム

「駒ヶ丘荘」が完成

標茶町、永
年の懸案

すでに入居者も

【標茶】昨年から建設されていた軽費老人ホーム「駒ヶ丘荘」がこのほど完成、一日オープンした。お年寄りが安い家賃で快適な生活を送れる道内町村でも珍しい施設として町外からの入居希望者も多いという。

同ホームは町立老人ホーム「やせ帯」は五十五戸を数え、低家賃で快適な生活を送れる同施設建設は町の永年の懸案事項であり、道内郡部町村に先がけ、国、道の補助約一億五千万円を受けて、町が建設に踏み切った。

これまでのところ、入居申し込みは単身者十八人、夫婦七組の計二十四人が来ており、中には釧路市や南弟子屈など町外の人も、全員が十五日までに入居を終える予定。すでに一日のオープンには、入居第一号として釧路市の菊地しずえさんが入居している。町は一日付で前やすらぎ園次長の前田克雄氏を同ホーム施設長に任命しており、ほか養母、管理人の三人でお年寄りの世話を当てる。

気になる家賃の方は、単身者七千円、夫婦九千円（ただし十一月は暖房料五千三百円プラス）で、前田施設長は「これからパンフを各関係機関に配布して、年内には定員に達するようにしたい」と張り切っている。

同ホームは町立老人ホーム「やせ帯」は五十五戸を数え、低家賃で快適な生活を送れる同施設建設は町の永年の懸案事項であり、道内郡部町村に先がけ、国、道の補助約一億五千万円を受けて、町が建設に踏み切った。

これまでのところ、入居申し込みは単身者十八人、夫婦七組の計二十四人が来ており、中には釧路市や南弟子屈など町外の人も、全員が十五日までに入居を終える予定。すでに一日のオープンには、入居第一号として釧路市の菊地しずえさんが入居している。町は一日付で前やすらぎ園次長の前田克雄氏を同ホーム施設長に任命しており、ほか養母、管理人の三人でお年寄りの世話を当てる。

気になる家賃の方は、単身者七千円、夫婦九千円（ただし十一月は暖房料五千三百円プラス）で、前田施設長は「これからパンフを各関係機関に配布して、年内には定員に達するようにしたい」と張り切っている。

町内の六十歳以上のお年寄りは約一千三百人おり、この中、独居老人が九十四人、夫婦二人暮らし

一日から入居が始まった。軽費老人ホーム「駒ヶ丘荘」

1981年(S56)

釧新 5月21日



お年寄り、大ハッスル

標茶町の「やすらぎ園」のボウリング大会開く

【標茶】このほど、特別養護老人ホームやすらぎ園（桐原徹園長）入園者のボウリング大会が行われ、休憩所に特設されたボウリング場に三千人以上のお年寄りが集まり、技を競っていた。

ボールがピンを倒すごとに拍手がわき起こり、お手伝いの養母さんたちの応援を受けながらお年寄りは懸命。二日間わたる熱戦の結果、男性の部では遠藤茂文さん、女性の部では大谷ヨシさんがそれぞれ優勝した。

成績次の通り。

◇男性の部▽優勝 遠藤茂文（百十二点）▽二位 斎藤時次郎（百

にぎやかに行われた「やすらぎ園」のボウリング大会

十九点）▽三位 大崎春吉（百十六点）

◇女性の部▽優勝 大谷ヨシ（百十二点）▽二位 西森イワ（百七点）▽三位 溝越キヨ（百四点）
▽ラッキー賞 真鍋米幸、水谷みさを

1982年(S57)

釧新 9月4日

麺のように長生きして

やすらぎ園にそば慰問

【標茶】十五日は敬老の日、これにちなみ町内の老人ホーム「やすらぎ園」(桐原園長、百人)に今年町内のおそば屋さんがそば慰問に訪れることになった。町内旭町の福住標茶店(駒田昇さん経営)で開店一周年を記念し、園内のお年寄りのみなさんにおそばを十分食べて麺のように長生きしてもらいたいと申し出た。この慰問は十日の夕食時に行われるが、こうした慰問は最近例がなく、今回でもその日を心待ちにしている。

福住標茶店 16日に1周年記念し

福住標茶店がオープンしたのは、ことから今回の慰問を思い立った。昨年十月、同じ店舗で営業していた軽食販売「アイリス」の経営内容を一変して始めたもので、一周年。父親がそば店を経営していたことが九月の敬老の日には重なることであって十九歳で日本料理の

見習いに出、釧路市内の釧正館や網走などで腕を磨いてきた。四十うまいそばを十分食べてもらいたいと駒田さん



年十一月、町内の割烹「若松」に板前さんとしてつとめ、五十年には同時にまかされていた軽食販売「アイリス」の経営を引き継いだ。兄の敏男さんは釧路市内で江戸川食堂、また弟さんも栃木県で食堂を営むなど料理人一家でもある。

そば料理は、釧路市時代に修業を積んだ経験を生かし、標津町に本店のある福住のチキン店として始めたわけだが、「味を第一に原料に金をおしまない」というのがモットー。

今回のそば慰問には、ざる、もり、天南、かしわ、うどんなど約百人分を用意することにしており「普段、体が不自由で好きなそばを食べる機会が少ない園内のお年寄りに十分食べてもらいたい」と駒田さんも大張り切り。桐原園長も「こうした『温かい』慰問は初めて。お年寄りもその日を心待ちにしているようです」と感謝している。

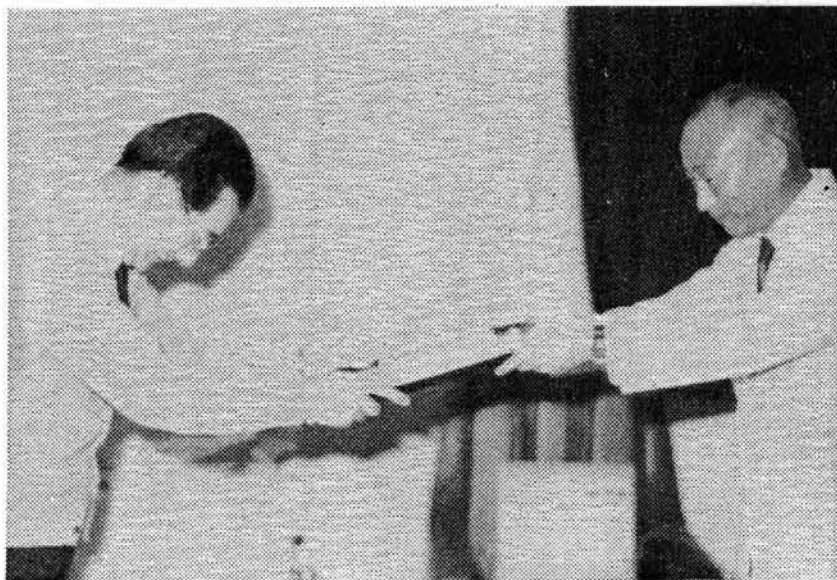
1983年(S58)

釧新 4月1日

映画提供ありがとう

やすらぎ園 伊藤さん夫妻に感謝状

茶 標



【標茶】楽しい映画をありがとうと特別養護老人ホームやすらぎ園（桐原徹園長）は、同園などで映画のボランティア上映を続けている町内新栄町の伊藤功一さん、美代子さん夫婦にこのほど感謝状と記念品を贈った。

同園によると伊藤さんの映画上映が始まったのは、五十六年から。

同園の入居者家族会の役員でもある伊藤さん、園内のお年寄りにも劇場用映画の娯楽作品を見せてあげたいとの家族会の要望を受け、勤務先の国鉄の本社に常備されている社員用の映画フィルムを活用してのスタートとなった。

これまでに寅さんシリーズや時代劇物など数回上映。同園だけで

はなく、釧路市など近郊の特養老人ホームにも夫婦二人で出かけ映画慰問を行っており、各地で好評を呼んでいる。

今回の感謝状は、伊藤さんが勤めていた国鉄標茶駅をこの春で退職となったのに合わせ、感謝の気持ちと、と初めて贈ったもの。園内で行われた贈呈式には、園内のお年寄りはじめ来賓として阿部町長も出席。「楽しい作品をいつも

ありがとう」と桐原園長から賞状と記念品が手渡された。伊藤さんは「退職しても国鉄の協力を得ながら映画の上映は続けたい」と喜びを語っていた。

感謝状を受ける伊藤さん（左）

釧新 5月25日

誕生会にかわいい珍客

の園 保育園児が遊戯でお祝い



ゲスト出演を終えた園児たち

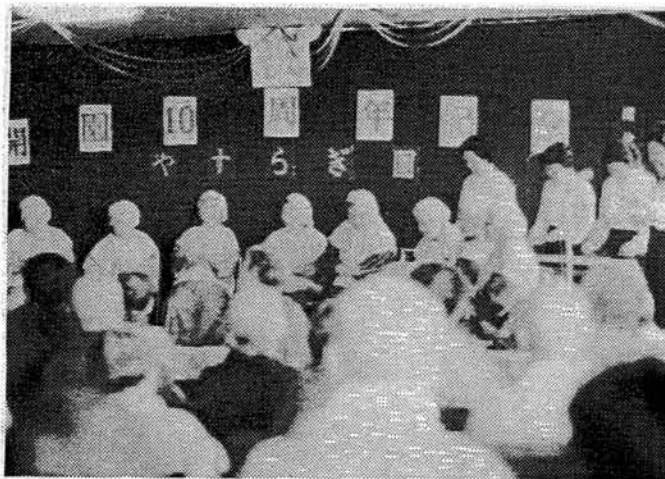
【標茶】町立特別養護老人ホームやすらぎ園の五月の誕生会がこのほど園内で開かれたが、この席に町内みどり保育園（佐々木三幸園長、園児百八十人）の園児がひとり訪れ、可愛い遊戯を披露してお年寄りたちを喜ばせた。

この日訪問したのは、三歳の園児二十九人と保育士さんで、これまでもやすらぎ園のクリスマスパーティーに訪れるなど交流を続けており、散歩がてらのゲスト出演

となった。園内では「花の子ルンルン」など日頃練習している遊戯を三曲披露、可愛い踊りにお年寄りから盛んな拍手が送られていた。

1984年(S59)

釧新 6月6日



好評の器楽サークル演奏

標茶の
やすらぎ園

十周年式典で初披露

盛んな拍手お年寄りご機嫌

【標茶】町内の特別養護老人ホームやすらぎ園（桐原徹園長、百人）の開園十周年記念式典がこのほど同園で開かれたが、このなかで今春誕生した園内のお年寄りによる器楽サークルが初のステージを披露し、盛大な拍手を受けた。この好評ぶりに演奏者のおじいさん、おばあさんもすっかりご機嫌。さらに秋の敬老の日などを目標し磨きをかけていと同園でもはり切っている。

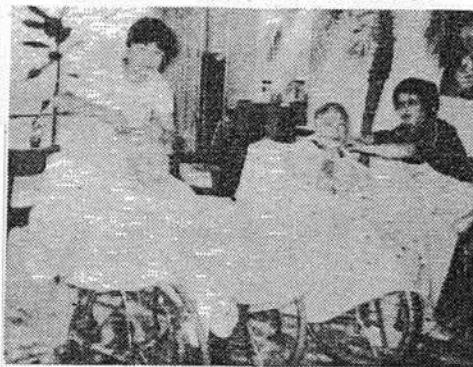
この器楽サークルは、八十ンバリンなどのリズム楽器で七歳の福田トメさんを最高齢者にメンバー九人。記念式典を目標してこの春組織され、鈴木信子さんから寮母五人が指導に当たってきた。

楽器といってもそこは習い始めたばかりのお年寄り。手にするのはカステネットやタ初ステージをくり広げたお年寄りの器楽演奏

釧新 9月13日

お年寄りの髪さっぱり

標茶 美容組合 やすらぎ園で散髪奉仕



【標茶】敬老の日を前に標茶美容組合（手塚雅喜組合長）は、このほど町内の特別養護老人ホームやすらぎ園（桐原徹園長）を訪れ、園内のおばあちゃんたちの散髪奉仕を行った。写真は、美容師さん四人が来園。園内の理容室と大広間にイスを仕つらえて二カ所で髪のカットと顔そりを次々と行った。車イスでも動けないお年寄りには、直接ベッドまで出向いてのサービスとなり、六十一人のおばあちゃん全員がさっぱり。毎年、おなじみの散髪慰問にみんな喜んでいた。

よじよ寺の舞はやし」の二曲をマスターし、この日の演奏となった。この日の式典では、先に物故者への黙とう、毎月のお誕生会におどり慰問に訪れる三喜会（星ちや子会長）若草会（小沢みち会長）への感謝状を贈呈などがあった。続いて職員らの寸劇、カラオケなどに混じってお年寄りの器楽サークルの演奏も行われたが、訪れた約四十人の家族会（菅川繁次会長）の人たちも懸命な演奏に温かい拍手を送っていた。桐原園長は「わずかに月間の練習にはまらずの演奏ぶり。手を動かすことは老化防止にもなり、お年寄りも楽しんでいよう。これからも発表の機会があるのでその活動を見守っていきたい」といっている。

1985年(S60)

釧新 8月13日

やすらぎ園を慰問

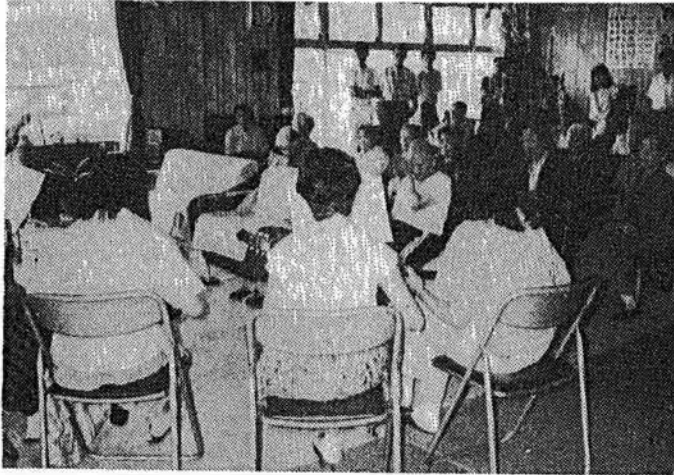
北大マンドリンクの一行

【標茶】町内でのほど北大マンドリンクラブの公演会が行われたが、その翌日、部員十数人が町内の特別養護老人ホームやすらぎ園（石田正光園長）を慰問に訪れた。

同クラブの一行は「船頭小唄」など古賀メロデー三曲を演奏。娯楽室に集まった約五十人のお年寄りたちはマンドリンがかなでる哀愁の調べに涙をも浮かべて一心に聴き入っていた。

北大マンドリンクラブのやすらぎ園慰問

石田園長は「久しぶりになつかしの名曲をしみり聞くことが出来た」とお年寄りにかわって感謝の気持ちを示していた。



道新 9月27日

僕らが育てたイモどうぞ



標茶中（谷口良則校長）三年の代表三人（藤田政彦、高松一哉、松尾篤志君）が二十五日、町特別養護老人ホームやすらぎ園を訪れ、ジャガイモを「さりアレセント」写真した。

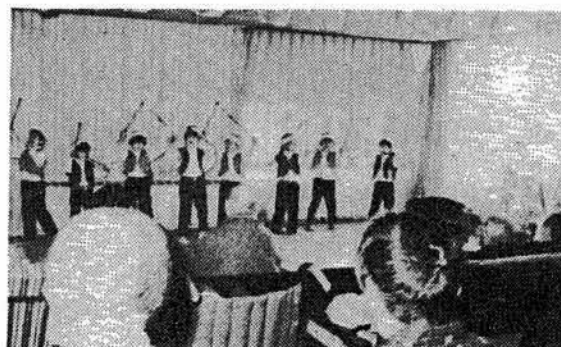
このジャガイモ、三年男子の技術の授業で栽培したもの。今年は豊作で、塩煮やカレーライスで生徒が試食したところ味もよいところから「お年寄りにおすわけを」となった。

約五十名のジャガイモを持ち、やすらぎ園を訪れた

釧新 12月5日

おゆうぎなどを披露

町立標茶幼稚園 やすらぎ園を慰問



【標茶】町立標茶幼稚園（岩本聖司園長）の園児がこのほど町内の特別養護老人ホームやすらぎ園を慰問に訪れ、可愛らしい遊戯などを披露した。

町立標茶幼稚園児の慰問

同幼稚園は、毎年開発センタールで行う遊戯の発表会を終えてからその成果をおじいさん、おばあさんにも見てもらおうとやすらぎ園を訪れている。

この日は、五、六歳児の遊戯八種類が次々と演じられ、孫のような園児の発表にお年寄りの目も細めながらさかんに拍手を送っていた。

1985年(S60)

釧新 12月12日

標茶町の温泉供給開始

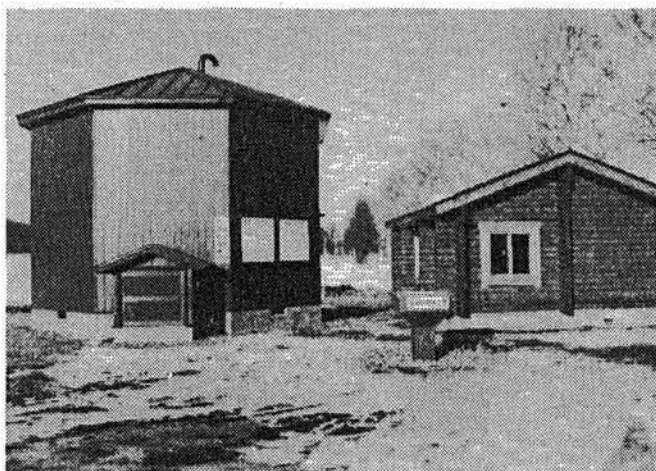
温泉は最高の気分

老人ホームなど三施設に

【標茶】標茶町初の温泉を活用した暖房、給湯システムが完成、源泉の周辺にある老人ホームなど町内の三公共施設に熱いお湯が送り出されている。このうち特別養護老人ホームやすらぎ園と軽費老人ホーム駒ヶ丘荘は、温泉浴も楽しめるようになり、「寒い季節に温泉に入れるとは気分最高」とお年寄りたちは大歓迎だ。

温泉の供給を受けているのは、荘は、浴用、給湯、暖房、や、両老人ホームと町営温水、すき園は、浴用、給湯の補助熱源、温水プールは、プール利用が予定された農業者ト

温泉浴を楽しむようになった特養ホーム、やすらぎ園、(下)源泉に設けられた貯蔵タンクなど



して約八千七百万円をかけた。

この温泉は、分析表によると温度五十四・二度、湧出量毎分三百二十リットル(動力利用)泉質はナトリウム塩化物泉。神経痛、関節痛から痔疾、慢性皮膚病、慢性消化器病、冷え症などに効果的だ。

お年寄り百人が生活するやすらぎ園は、十九日から温泉を使つての入浴を開始した。湯温は四十七、八度。比較的元素なお年寄りは月曜と木曜、寝たきり用の特別浴槽は火曜と金曜のそれぞれ週二回の入浴日を設けているが、園内での初めての温泉浴に体が温まるとみんなで喜んでました」と石田正光園長。二十日には、寝た切りの人たちも次々とゆつたり温泉につかった。

町は、当面、三施設の利用状況をみて、農業者トレーニングセンターの活用なども検討したいとしている。しかし、これ以上の供給範囲の拡大は、湯量などから計画されていない。

1986年(S61)

道新 3月27日

お年寄りたち大喜び

茶のや 理容師さんが散髪奉仕
すらぎ園



久しぶりの散髪、ひげそりにお年寄り「ああ気持ちいい」

【標茶】町内の理髪店主らが二十四日、町の特別養護老人ホームやすらぎ園を訪れ、散髪奉仕を行った。訪れたのは、町内旭町の理髪店、鴻池司郎さん夫婦と、桜町の川村多美男さんの三人。やすらぎ園では、

ふだん、外出可能な人には
理髪店まで送り迎えしてい
るが、外出もままならない
人も少なくないだけに、こ
の日の散髪やひげそりに、
お年寄りは大喜び。

三人は朝九時から北棟と南棟に分かれ、チヨキチヨキ、ジョリジョリと休みなし。午前中いっぱいかかって予定された散髪を終えたが、久しぶりの調髪にさっぱりしたお年寄りにはにこにこ。この姿に三人も満足そう。「また秋に会おうね」と約束していた。

釧新 11月7日

収穫野菜プレゼント

やすらぎ園などへ

茶 標

【標茶】標茶町塘路小中学校が、学校農園で収穫したジャガイモ、カボチャなどを町内人、生徒二十人の生徒たちの特別養護老人ホームやすら

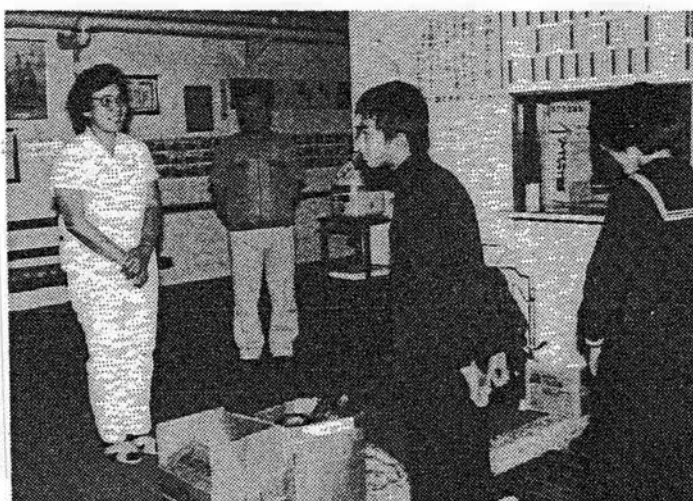
き園などにプレゼントした。

同校の学校農園は、今年が二年目。約二千平方尺の畑で生徒たちが教諭とともにジャガアイモ、カボチャ、ダイコン、トウキビなどを丹精込めて育ててきた。

同ホームには、生徒会長の高森智君（中学二年）と役員の川口晶子さん（同）らが小山内美和子教諭を訪れ、ダンボール箱に詰めた作物を贈った。

このほか地元の幼稚園、老人クラブ、保育所にも贈り、学校給食でも自ら手塩にかけた野菜を味わった。

やすらぎ園に作物を贈る生徒



引地校長は「子どもたちに農園づくりを通して思いやり
の気持ちを育ててもらいたい」と始めた。福祉施設などへの
プレゼントは生徒たちが自主
的に行ったものであり、嬉し
かった。この気持ちを大切に
したい」と話している。

1987年(S62)

道新 6月13日

お年寄りら「無事」避難

標茶「やすらぎ園」で防火訓練



お年寄りたちは整然と非常口から避難

【標茶】町の特別養護老人ホーム「やすらぎ園」(石田正光園長)で十一日、防火避難訓練が行われた。東京・東村山市の老人ホームから誘導されたため、ほとんどのお年寄りは誘導に従って整然と行動したが、トイレに入ってしまった人や、周囲のあわただしい動きにナイスコールを鳴らし続けた香から出火、という想定。寝た切りのお年寄りもお発見と同時に消防署に連絡、次いで園内放送しサイレンが鳴り渡った。入園者は百人。うち寝た切りの人は半数だが、これらの人を全員動かしシヨックがあつては大変なので、寝たきりのお年寄りは、ベ

【標茶】町の特別養護老人ホーム「やすらぎ園」(石田正光園長)で十一日、防火避難訓練が行われた。東京・東村山市の老人ホームから誘導されたため、ほとんどのお年寄りは誘導に従って整然と行動したが、トイレに入ってしまった人や、周囲のあわただしい動きにナイスコールを鳴らし続けた香から出火、という想定。寝た切りのお年寄りもお発見と同時に消防署に連絡、次いで園内放送しサイレンが鳴り渡った。入園者は百人。うち寝た切りの人は半数だが、これらの人を全員動かしシヨックがあつては大変なので、寝たきりのお年寄りは、ベ

1989年(H元)

道新 5月12日

長生きしましろう

弟子屈の敬老グループ 標茶のホーム慰問

【標茶】「お互い元気に長生きしましろう」一弟子屈町泉町町内会の敬老グループ「高砂会」(千葉六郎会長)は十日、標茶町内の特別養護老人ホーム「やすらぎ園」(石田正光園長、百人)を訪れ、踊りなどで慰問した。



高砂会は、二年前から森内きんさんの主宰する森内舞踊塾で踊りの指導を受けてきた。練習の成果を同じお年寄りに見てもらおうと訪問した。園の娯楽室に串いすで待

やすらぎ園のお年寄りと握手する高砂会の慰問団
機した約四十人のお年寄りの前で、花笠音頭など千曲の踊りを披露したあと、踊りの衣装のまま一人ひとりと握手し、励まし合った。

1990年(H2)

釧新 8月22日

お年寄り百人が楽しむ

＝標茶町特養ホームやすらぎ園＝

全国の郷土民芸玩具展が

【標茶】全国郷土民芸玩具展が二十日、標茶町の特別養護老人ホームやすらぎ園（小倉悟園長、入所百人）で開かれた。同展は、釧路・根室地区公民館共同事業実行委員会の主催で、釧根各地持ち回りで開かれている。先日町内磯分内地区に開かれたのを機会に園内のお年寄りたちにも見せたい、と同園の要望で一日だけ園内での展示会が実現した。北海道を除く全国四十六都府県の民芸品二百二十一種類三百九点が同園会議室に飾られた。青森の「津軽風絵」から沖縄の「チンチン馬」までの大小様々な民芸品で、同園や近くの軽費老人ホーム、駒やすらぎ園で開かれた全国郷土民芸玩具展



ケ丘荘のお年寄り、一般町民ら合わせて約百人が訪れた。お年寄りの中には、故郷を本州に持つ人も多く、なつかしげに見入る姿も見られた。

釧新 10月31日

児童ら歌や遊戯で慰問

＝標茶町阿歴内第2小＝

やすらぎ園 収穫した野菜も土産に



【標茶】標茶町阿歴内第二小学校（坂下敦子校長）の全児童十三人がこのほど、特別養護老人ホームやすらぎ園（小倉悟園長）を訪れ、歌や遊戯を披露した。同校児童の慰問は今年で三回目。お年寄りには子供たちが訪ねて来てくれるのが一番うれしいことと、小倉園長が喜んでいるように、児童たちは今回も学校農園で収穫したカボチャやジャガイモを土産に持ってきた。

お年寄りが目を細めた小学生の遊戯

出し物は二十一日に行われた同校学芸会での遊戯が中心で、お年寄りたちは目を細めて見入り、八木節のコミカルな舞いにはどっと笑い声もわいた。また立ち上がったカメラを向けるお年寄りもいた。坂下校長は「慰問活動の中で奉仕の心を体験してくれるはず」と語っている。同校ではお年寄りの参観日や交流のゲートボール大会を開くなど活動が活発だ。

1991年(H3)

釧新 7月27日



【標茶】標茶町の特別養護

“並ぶ露店、童心に帰る

標茶町・特養 老人ホーム やすらぎ園の緑日祭

老人ホーム・やすらぎ園(小倉園長)の初の試み「緑日祭」がこのほど、同園前庭で開かれた。

入所者の親睦と普段外に出ることのできない寝たきり老人に、緑日の雰囲気を楽しんでもらおうというのが、町婦人団体連絡協議会(米沢登美子会長)も協力し、緑日らしく露店も店開き。イモタンゴやイカのホッポ焼き、フライドポテト、フレンチドックなどの店が並び、入所者らは、職員やボランティアの手を借りながら、童心に帰って、緑日を楽しんでいた。

小倉園長は「天候が回復し、会を開くが、今後も継続したい」と話している。非常にいい天気にも恵まれ、非常て開いて行きたい」と話していた。

初緑日祭を楽しむお年寄り

釧新 9月21日



心身温か お年寄り

「やすらぎ園」に出張奉仕

標茶のそば店主

【標茶】町内旭町の「福倉園長、入園百人」でそ奉仕で、今年で十年目。入園のお年寄りも手打ちの本物の味に舌鼓を打った。駒田さんは自宅で作ったそば、うどん百二十人分余りを持って同園を訪問。調理場で入園者のお好みの「カシワ」や「メンチ」を調理した。入園者が食堂や自室でおいしそうに食べるのを温かく見守っていた。

そば、うどんの出張奉仕は「町で販売して食べていけるのも町民のおかげ。少しでも町民にお返しできれば」と始めたそう。年に一回とはいえ、一度に百人以上の調理するのは大変だが、「皆の喜ぶ顔を見ると疲れも吹き飛びます」と話していた。

「温かいうちに食べてください」と入園者たちにサービスする駒田さん

1991年(H3)

道新 10月17日

夜間出火緊張感一段と

標茶 特養ホームで避難訓練

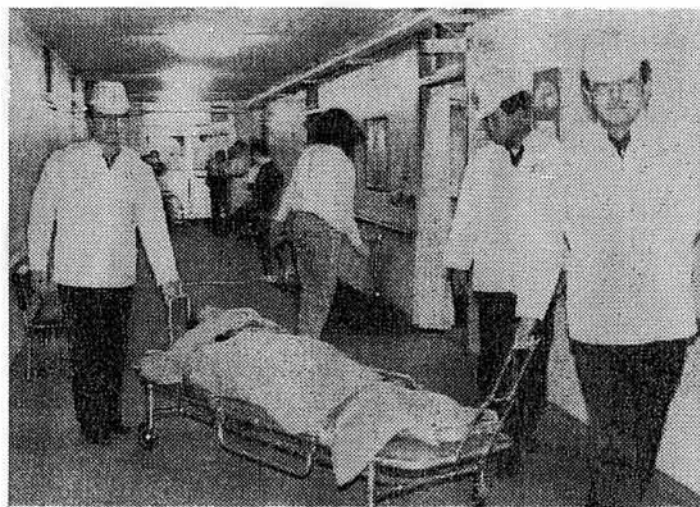
助も行われた。

【標茶】町立特別養護老人ホーム「やすらぎ園」(小倉園長、入園者九十五人)で十五日夜、防火避難訓練が行われた。夜間の珍しい訓練に、職員も入園者もいささか緊張した表情だった。

訓練は午後七時ごろ、北棟の会議室から出火という想定。非常ベルが鳴らされると同時に、北、南両棟の夜勤寮母四人が火元に近

入園者らの避難誘導、合わせて火元から遠い入園者らには落ち着いて待機するよう指導して歩いた。一方で夜警員は北、南を分ける防火シャッターを下ろした。

非常時に職員に自動通報されるシステムも作動、標茶消防署、消防団の消防車、自宅待機していた職員もぞくぞく詰め掛け、消火作業と取り残された入園者救



釧新 12月25日

やすらぎ園を慰問

標茶町中虹別小児童ら

ジャガイモや たくあん漬け贈る

【標茶】標茶町中虹別小学校(高島秀雄校長、児童三十二人)の児童四人がこのほど、特別養護老人ホーム「やすらぎ園」(小倉園長を訪れ、学校農園で作ったジャガイモと手作りのたくあん漬けをプレゼントした。

このジャガイモとたくあん漬けは、ふるさとタイムと名付けた体験学習のなかで、学校農園で作ったもの。たくあん漬けは、農園で収穫した大根を地域のおばあちゃんたちの指導を受けながら自分たちで漬けた。

やすらぎ園を訪れたのは児童会代表の鈴木伸志くんら四人で、出迎えたおしいちゃん、おばあちゃんに「ジャガイモは毎日草取りして育てました。たくあんは僕たちが漬けました。これを食べて体を大切にしてください」とあいさつ。小倉園長に自分たちで作ったジャガイモとたくあんを手渡す中虹別小学校の代表



1992年(H4)

道新 1月30日

愉快的遊戲 心和ます

阿歴内
第二小 やすらぎ園を慰問



軽快なダンスを老人ホームで披露した阿歴内第二小の児童ら

【標茶】阿歴内第二小(坂下敦子校長、児童十五人)が二十九日、町内の特別養護老人ホーム「やすらぎ園」(小倉悟園長、入居百人)を訪ね、遊戯を披露した。同小の訪問は今回で四回目、ホールには入居している五十人近いお年寄りが集

まいった。児童たちは、低学年の四人が着物姿で登場、「りんごの姉さま」をかわいらしく演技。続いて中学年以上の女子四人が「ぎんぎらパラダイス」でダンスを披露。男子七人がおなかに顔を描いたヘソ踊りを「はればれ音頭」に合

わせて舞台せましと踊った。児童会長の濁沼菜摘さんが「今年秋にもイモやカボチャを持ってまた来ます」とお別れの言葉を述べた後、お年寄りと一緒に「ふるさと」を合唱した。児童の愉快的遊戯に笑顔だったお年寄りの中には、懐かしい歌に涙ぐむ姿もあり、子供の訪問に感激していた。

釧新 2月9日

歌や踊り 児童ら熱演

阿歴内
第二小 やすらぎ園を慰問



【標茶】標茶町阿歴内第二小学校(坂下敦子校長、児童十五人)はこのほど、標茶町特別養護老人ホーム・やすらぎ園(小倉悟園長)を訪ね、歌や踊りなどをお年寄りに披露した。

「心の豊かな子供になってもらいたい」と毎年行っているもので、今年で四回目。一年生の千葉雄樹君、武藤唱希(まさき)君、斉藤理絵ちゃんの三人が「二生懸命練習してきたので、楽しんで下さい」とあいさつしたあと発表に入り、一、二年生が遊戯で「リンゴの姉様」中学年以上の女子四人が踊り「ギンギラ・パラダイス」同じく男子七人がヘソ踊り「はればれ音頭」を披露。大きな拍手がおくられていた。

大ウケだった男子のヘソ踊り「はればれ音頭」

1992年(H4)

道新 5月21日

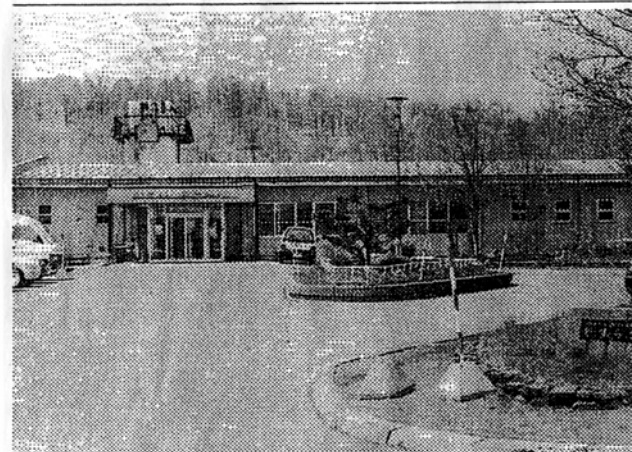
標茶町が建設決める

在宅老人のデイサービスセンター

特養ホーム内に一体化

【標茶】町議会は二十日、臨時会を開き、町が提案した「デイサービスセンター」建設のための本年度補正予算案を原案通り可決した。町立特別養護老人ホーム「やすらぎ園」に併設して在宅老人の介護を支援するもので、センターを特養ホーム内に設けるのは道内で初めて。町は「一体化することにより、一貫した老人福祉への対応ができる」と話している。

【標茶】町議会は二十日、臨時会を開き、町が提案した「デイサービスセンター」建設のための本年度補正予算案を原案通り可決した。町立特別養護老人ホーム「やすらぎ園」に併設して在宅老人の介護を支援するもので、センターを特養ホーム内に設けるのは道内で初めて。町は「一体化することにより、一貫した老人福祉への対応ができる」と話している。



デイサービスセンターが併設される特別養護老人ホーム「やすらぎ園」

計画ではセンターに介護員、理学療法士、看護婦ら七人前後の職員を配置し、町内の寝たきり老人ら介護

が必要なる人をバスで迎え入れ、入浴や食事などのサービスを実施するほか、日常動作の訓練なども行う。介

護は一日十五人、週に五日間の予定だ。

1993年(H5)

道新 4月7日



老人ホームと直結

茶

デイサービス
センター 期待集め開所式 標

【標茶】町が特別養護老人ホーム「やすらぎ園」の敷地内に建設していた町デ

イサービスセンターの開所式が六日に行われた。特養ホームと廊下でつながる道内では珍しい施設。開所式では町内のお年寄りのほか、ホームに入っている人

木を使って温かさを出した標茶町デイサービスセンターのホール

たちも参加して完成を祝った。

センターは平屋建て三百五十二平方メートル。浴室や食堂、日常動作の訓練室などを備え、生活指導、介護者教室、健康チェックなどの事業のほか、入浴、給食などのサービスも行う。事業費は一億千八百六十万円。町が昨

年から建設を進めていた。

町はセンター建設にあわせ、やすらぎ園も約五億円

をかけて大改修を実施。センターとやすらぎ園を廊下でつなぎ、ホームのお年寄りも気軽にセンターの施設を使えるように配慮した。

町は併設について「両施設間の連絡を密にすること、総合的な対策がとれる」という。

開所式には町内のお年寄り六人とホームの入居者二十人、役場関係者らが出席。テープカットやくす玉割りで完成を祝った後、千葉町長が「関係機関、団体と協力し、施設を立派に使っていくよう努力したい」と述べた。

1993年(H5)

釧新 7月22日

茶安別空手
スポーツ少年団

やすらぎ園を慰問

空手の演武を披露

建物周辺にマリーゴールド300株を植え

標 茶

【標茶】茶安別空手スポーツ少年団(類瀬好男団長)が、このほど町立特別養護老人ホームやすらぎ園(小倉悟園長)を訪れ、建物周辺に花を植えたり空手の演武を披露するなど慰問を行った。これは、奉仕活動をするこ

が積極的に勧めてくれた」と感謝している。

この日は、同少年団の二十七人がやすらぎ園を訪問し、同校が育てたマリーゴールドなど三百株を植えた。軍手をはいての作業となったが、いつもとは勝手が違

い戸惑う場面も見られたが、やすらぎ園の職員

の指導もあり、一生懸命にスコップを動かしていた。

花植えに続いて、空手着に着替えた子供たちは、やすらぎ園のロビーで、お年寄り四十五人を見守るなか得意の演武を披露した。ほとんどのお年寄りが演武を見るのは初めてで、きびきびした動作がよかった「また来てほしい」と感激していた。

小倉園長は「昨年は、改修工事のため行事がなかなかできなかったが、今年はいろいろとチャレンジした」と満足そうだった。



同少年団は、昨年四月に結成された。類瀬団長は、空手の昇格試験を受けたために厚岸町の空手道場「系東会」に通い稽古を積んでいた。ところが、茶安別地区に住む母親から「自分の子供にも空手を習わしたい」との声が出てきたため、週二回、茶安別環境改善センターで空手を教えることになった。

現在、大人も含めて五十人が気合の入った練習をこなしている。このかげには茶安別小学校の協力があり、類瀬さんは「先生たち

花植えをする空手スポーツ少年団

釧新 10月29日

お年寄りらに劇を披露

標茶 児童らやすらぎ園を訪問



お年寄りの前で遊戯を披露する子供たち

の行事は、昨年、同園の改築工事が行われたため、実施できなかった。二年振りのことだけに、お年寄りも楽しみにしており、最後に児童全員で童謡を歌うと、大きな拍手が沸き起るなど感激していた。

【標茶】おじいちゃん、おばあちゃん長生きしてねば。町立標茶小学校(木幡一夫校長)の児童が、二十七日町立特別養護老人ホームやすらぎ園(小倉悟園長)を訪れた。同園を訪問したのは、同校の一、二年生百二十七人で、二十四日に行われた学芸会の内容をお年寄りの前で披露した。

一年生は「白鳥の湖」の遊戯を、二年生は「二九三桃太郎」の劇を力いっぱい演じ、お年寄りを楽しませていた。

一昨年から始められたこ

1994年(H6)

釧新 3月24日

入園者も真剣に

やすらぎ園で防火避難訓練

標 茶

【標茶】町立特別養護老人ホーム「やすらぎ園」(小倉悟園長)と町デイサービスセンター(小倉悟施設長)の防火避難訓練が二十三日、行われた。

訓練には、災害を未然に防ぐため日頃から防災意識をと職員、入園者を含む六

十人が参加。北棟の東側、補修室から火災発生」と想定し、通報を受けた職員らは入園者の避難誘導や負傷者の応急養護など敏速な行動で対応していた。訓練終了後は釧路北部消防事務組合標茶消防署の川村毅署長から「すみやかな行動は大

変ずばらしかった」と講評され、小倉園長も「我々職員は入園者の生命を守り抜くことが最大の責務であることを自覚し、万一に備えての心掛けが必要だ」と述べた。

訓練では、入園者も機敏な行動だった



道新 8月12日

子らと一緒に盆踊り

.....標 茶.....

老人ホームが園児招待

【標茶】子供と一緒に楽しもうと十日夜、町の老人ホーム「やすらぎ園」で



盆踊り大会が開かれ、お年寄りが保育園の園児たちと踊りや花火大会を行った。やすらぎ園はこれまで、園の関係者だけで盆踊りを

お年寄りと一緒に盆踊り大会に参加した子供たち。行っていたが、今回は「小さな子供たちと交流を」とみどり保育園の園児を招待。この日は約六十人の子供たちと父母らがやすらぎ園を訪れ、車いすの人と一緒に踊って夏の夜を楽しんだ。

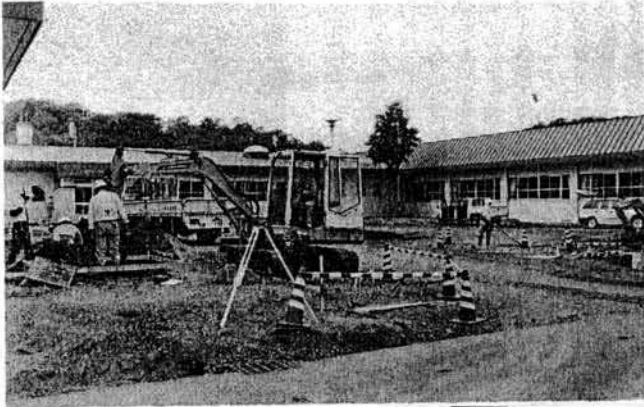
1995年(H7)

釧新 9月20日

外構整備で利便性向上

駐
車
場
拡
張
散
策
路
や
避
難
路
も

園のやすらぎ標茶



【標茶】狭いスペースで駐車場利用しやすさに欠けていた町老人ホーム「やすらぎ園」(佐藤敏園長)の駐車場拡張整備がこのほどはじまったが、入園しているお年寄りたちにくつろいでもらう散策路や、緊急時のための避難路も事業のなかに盛り込まれ、お年寄りたちやその家族たちの利便さが一層増した。外構整備は今年十一月十五日に竣工予定。

デイサービスセンターとのため路上駐車も避けられない状態。このため、グラ

11月中旬に完成予定のや

すらぎ園の外構工事

ウインド側に職員専用の駐車場二十二台分(面積三百平方メートル)を設け、前庭は来客に利用してもらおうというもの。

また、福祉充実のため、園内から車イスで出入りできる散策路も整備することになった。お年寄りたちは行事など以外に外に出る機会もなく、天気の良い日は「日光浴でもしたいなあ」という入園者がほとんどです。今回整備される散策路は、とても楽しみにしています。同園の関係者は話します。

さらに、地震等の緊急時に備えた避難路も整備され、幅四メートル、長さ八十五メートル舗装される。このほか、周辺の車道や歩道、照明、植栽など第三次外構工事で充実した施設に整備される。

釧新 11月11日

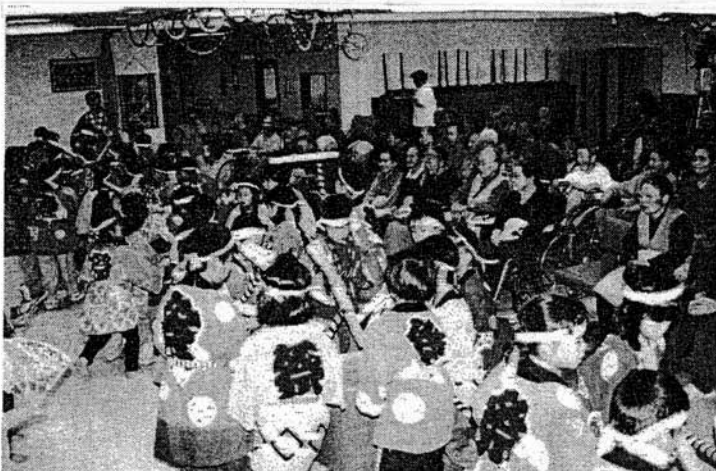
お年寄りらに劇披露

標茶小
1、2年生
140人がやすらぎ園慰問

【標茶】町立標茶小学校(木幡一夫校長、児童四百五十四人)の一、二年生百四十人はこのほど、町内の老人ホーム「やすらぎ園」を慰問し交流を深めた。

同小では地域とのふれあい事業として毎年、慰問交流などを実施しており、今月ばかりに強化月間で、十四日にも四年生が老人とのふれあい教室を開くなど、五年生も町教委の英語助手と交流を重ねる予定だ。

この日、子どもたちはもうすぐやってくるお正月を前に、餅つきを実施し、お年寄りたちにホカホカの餅を食べてもらった。また、二年生が劇「浦島太郎」を披露するなど、手作りの小箱をプレゼントし、お年寄りたちは喜んでいました。おじいちゃん、おばあちゃんのために、子どもたちは餅をついた。



1996年(H8)

釧新 1月20日



利用者の健康のお役に立ちたいと宮川さん

あせ話
しています

宮川百美さん(三七)
標茶・やすらぎ園
看護婦

「利用者が毎日健康に過ごせるようお役に立ちたい」。一昨年春、釧路市内の病院から実家のある標茶町にUターンした。看護婦六年目。入所者百人への声かけ、健康相談に

100人の健康のパイプ役

三人の看護婦とともにあも努め、同病院と利用者たっている。利用者の主治医となる

「孫のような年齢です

町立病院から出される数種類の薬を飲みやすいようひとつの袋に入れ直す。分包作業や投薬介助、日常的な血圧測定、入浴前の健康チェック、各部屋の巡回など。お年寄りそれぞれが慢

釧新 6月28日

一年八カ月で達成

IIプルタブ回収運動II

やすらぎ園に車イス寄贈

標茶



【標茶】大勢の町民で取り組んできたプルタブ回収運動。百四十万個で車イス一台と交換されるが、一年八カ月目で達成した町開発センター(事務局)はこのほど、町内の老人ホームやすらぎ園に車イスを寄贈した。

資源保護や公害防止につとめながら福祉に役立てようというもので、環公害防止連絡協議会(本部・静岡県清水市)が取り組んでいる。

釧路管内第一号となった標茶町は平成六年九月から回収運動がはじまり、二年近くで達成した。交換された車イスは「遊友号」と名づけられ、やすらぎ園の入園者が利用する。

この日は、佐藤敬園長をはじめ、小中学生、町関係者など八十人が参加。回収運動代表の田畑清子さん(標高教諭)が「地道な活動が実を結びました。これからがんばりたい」と述べ、入園者から謝礼の言葉が贈られた。

やすらぎ園に贈った車イス。さっそく入園者が利用した。

1996年(H8)

釧新 8月20日

高校生ら福祉施設を学ぶ

＝標茶町やすらぎ園で＝

ゲームなどでお年寄りと交流

【標茶】福祉施設で生活しているお年寄りとのお出合いを通じて福祉施設の役割に対する理解と、思いやりの心の大切さを知ってもらおうと「ミニ・ワークキャンプ」がこのほど標茶町立特別養護老人ホーム「やすらぎ園」で行われた。

これはやすらぎ園と標茶町社会福祉協議会の主催で、標茶高校の生徒七人が参加した。

はじめに佐々木次長から「今回の貴重な体験を今後の活動に生かし、将来福祉関係で活躍されることを期待する」とあいさつがあり、小川業務係長から同園の概要の説明のあと、作業やレクリエーションでお年寄りたちとの交流を行った。

標茶高校の生徒七人がゲームなどでお年寄りらと交流を行った



同キャンプでは輪投げや風船を使ったリハビリゲーム、園内喫茶で店員として働いたり、参加者が各室を訪問して入園しているお年寄りらとの対話を通じ交流を深めていた。

この日参加した佐藤まどかさんは「ここで働く人たちの苦労や大変さを知りましたが、皆さんがとても輝いて見えて、私も人を支える福祉の仕事をやりたいと思いました」と話していた。

1997年(H9)

釧新 7月29日

にぎやかにYOSAKOI

縁
日
祭



標茶の
やすらぎ園
懐かしい1日を

【標茶】町立老人ホームやすらぎ園(佐藤敏園長)でこのほど「縁日祭」が開催された。これは、普段外に出る機会の少ない高齢者の人たちに、懐かしい縁日で楽しんでもらおうと開いたもの。

この日は高齢者の人たち約六十人と町内のボランティア、商工会青年部が参加した。会場では涼しい「流しそーめん」や綿あめ、ヨーヨー釣りなどが用意された。

また、特設ステージではYOSAKOIのSHIBECHACHASO乱舞隊のメンバーが登場、千広美幸代表が「みなさんも一緒に楽しみましょう」とあいさつし、にぎやかな踊りを披露、一緒に踊りだす人もいて盛んな拍手を浴びていた。

YOSAKOIも披露された縁日祭

1998年(H10)

釧新 5月31日

救命方法 寸劇で紹介

標茶消防署

消防職員絶妙の演技

寮母らの研修
会で初披露 分かりやすさ追求

【標茶】釧路北部消防事務組合標茶消防署（川村設置長）は二十八日、同署内で三人の救命士を含めた救急活動の実演を寸劇にまとめ、初めて実演、披露した。川村署長は「救急措置の方法をできるだけ分かりやすく説明しようと実施した」と話している。

同署では、「人口の二割」を目標に普通救命講習会を平成七年から行い、今年一月に千人を達成した。しかし「世帯数を考えると、二千人、三千人と増やしていくかなければならない」、一度受講した人たちの反復措

置も必要（同署と考える）これまで講習会の内容に「ちょっと変化をつけて応急措置を理解してもらおう」と寸劇としてまとめることになった。

その第一回が、二十八日に標茶町内で開かれた平成十年度釧路根地区老人福祉施設協議会寮母・看護婦・介助員研修会。

この寸劇では、三年前に救急救命士の資格を取得した飯田徹司さんが状況の説明を行った。老人ホームやすき園で食事をしていた七十歳の男性が「肉をのどに詰まらせた」という設定で始まった。

同園の寮母役で昨年救急救命士となった菅井憲昭さんが、「二一九番通報」を行

い、通報を受けた職員が救急車出動の指令とともに、電話でこの男性ののどから肉片を取り出す方法について説明する。

そこへ、今年資格を取得した田中善志さんを隊長役に救急隊が到着。ダミー人形を使い、肉片の取り出しと心肺停止状態になっている患者に対して、人工呼吸や心臓マッサージなどの措置を施す。

しかし、回復には難しいと判断、救急救命士としての動きが始まる。町立病院の医師からの指示により「コンビチュップ」を利用、さくに電気ショックによる蘇生措置を行う。

この間、寮母役の菅井さんが絶妙の演技を見せ、同研修会に参加した約四十人の実際の寮母さんらの目も

真剣そのもの。十五分という時間だったが、参加者は実際の応急措置について理解を深めたようだ。

川村署長は「二十人程度までまわれば、こちらの日程を合わせながら、今後寸劇を取り入れていきたい」と話している。



1998年(H10)

釧新 6月16日

【標茶】特別養護老人ホームやすらぎ園（佐藤敬園長）で、このほど野遊会が行われた。ふだん屋外で食事をする機会の少ない入園者の人たちに、焼き肉などを楽しんでもらおうと実施されたもの。

この日は風もなく穏やかな天候で、六十五人が参加した。同園の職員や日赤奉仕団の人たちが、午前九時半ごろから前庭で、テーブル

やすらぎ園での野遊会

ルの設置や食器の用意、炭おこし作業などが行われた。

正午前には参加者全員がテーブルに集まり、初夏のさわやかな風を受けながら焼き肉などに舌つつみを打ち、入園者の人たちは、「たくさん食べることができた」と満足そうだった。

外での食事は格別

標茶町のやすらぎ園 野遊会で焼き肉味わう



釧新 8月1日

夏のスタミナ祭り

標茶町のやすらぎ園で開催

【標茶】老人ホームやすらぎ園（佐藤敬園長）でこのほど、スタミナ祭りが開

かれ、同園の利用者のうち約七十人が参加した。同祭りは、本格的な夏を元気に



やすらぎ園で行われたスタミナ祭り

乗り切ろうと、交流を深める目的で実施された。

会場では、同園の職員のほか、日赤奉仕団の人たちも協力した。食事は、夏に欠かせない流しソーメンとおにぎり、カニ、炭焼きの牛肉ステーキにつくね、かぼちゃ団子など。

この日は天候に恵まれ、利用者は焼き肉やソーめんなどに舌鼓を打っていた。また、SHIBUCHI HASO乱舞隊による「YOSAKOI」もにぎやかに繰り広げられていた。

1998年(H10)

道新 8月20日

標茶のボランティアグループ「和む会」



19日のステージでお年寄りにあいさつする和む会メンバーたち

視力障害者支援活動10年

【標茶】町内のボランティアグループ「和(なご)む会」(伊藤功一会長)が、町立老人ホームやすらぎ園を訪問する活動が十年目を迎えた。視力障害を持つ夫婦を十人の仲間が支え、十九日も心のこもったステージでお年寄りを楽しませた。

伊藤会長(モミ)は旧国鉄を退職した一九八三年、妻の美代子さん(ミ)とともに仲間に呼びかけて同会を結成した。やすらぎ園の訪問は当初二カ月に一度だったが、昨年から園の誕生会にあわせ毎月第三水曜日に欠かさず訪問。

しかし、伊藤会長は戦後四年間のシベリア抑留での栄養失調がもとで退職後に視力を失い、妻の美代子さん(ミ)も眼底出血の病気で現在はほとんど見えない。そんな夫妻を支え、熱心に

心込め老人ホーム訪問

活動しているのが他のメンバーたちだ。

今月の訪問日の十九日には、夫妻のほか、和服の着付けが得意な主婦星チヤ子さん(モミ)、飲食店を経営しながら参加している倉内百合子さん(ミ)、それに倉内さんの孫娘で標茶小六年の藤田雅容子さん(この計五人がステージに立ち、民謡の踊りや、懐メロ、伊藤さん夫妻がかけあい披露する「クイズコーナー」などを披露。

ロビーで見学した約七十人のお年寄りは手拍子とともに、「ありがとう」と心から感謝した。伊藤さん夫妻は「私たちの生きがいであるボランティア活動を続けられるのは、仲間のメンバーのお陰。仲間同士が支えあう心を大切に、これからも恩の長い活動を続けたい」と話している。

民謡、クイズ披露

1998年(H10)

釧新 10月3日

やすらぎ園を訪問

中学生が老人ホーム一日体験

標茶町



【標茶】標茶中学校(坂本久吾校長)の生徒は、ここの特別養護老人ホームやすらぎ園(佐藤敏園長)で一日体験を行った。

全国老人福祉施設協議会では平成七年度から「老人ホーム一日体験」全国キャンペーンを実施しており、今回はその一環、この日は六人の生徒が参加した。

はじめに同園の概要について説明を受けたあと、施設内を見学、また各部屋では利用者の人たちと、ひざをつき合わせての交流をしていた。また、車いすの介助についても、生徒たちは熱心に取り組んでいた。

やすらぎ園を訪れた生徒たち

釧新 12月26日

上手だ、かわいいね

やすらぎ園 標茶バレエ研究所公演
の利用者へ

などが次々と披露された。

やすらぎ園でのバレエ研究所の公演

【標茶】標茶バレエ研究所(松見昌里代表)は、このほど特別養護老人ホームやすらぎ園(佐藤敏園長)を訪れ公演を行った。同研究所は標茶町にけいこ場を設けて今年で六年目を迎え、先月には発表会も行われていた。

この日はやすらぎ園の利用者約六十人が訓練室に集まった。幼児による「ディズニより狼なんかこわくない」から始まり、小学生や大人の「ワルツ」「ボルカ



利用者から「かわいい」などという声が聞かれ、演技が終わる度に大きな拍手を送っていた。

1999年(H11)

釧新 10月7日

カボチャで長生き

老人ホームやすらぎ園に贈る

白寿の後藤鶴吉さん



後藤さんが育てたカボチャをやすらぎ園に

【標茶】虹別の後藤鶴吉さん(五五)が五日、特別養護老人ホームやすらぎ園(佐藤敏園長)にカボチャをフレンチした。

後藤さんは毎日の畑作業を欠かさない元氣そのもので、十二月には百歳を迎える。畑には、トマトやジャ

ガイモなどを植えていたが、カボチャは三年前から再開した。「以前は牛や馬に食べさせるために、カボチャを植えていたんだけどね」と笑う後藤さん。

今年は大候に恵まれ、大きなカボチャが収穫された。この日は佐藤園長らが、後藤さん宅を訪れ、カボチャを贈られた。

佐藤園長は、「九十九歳の後藤さんがつくったカボチャを、長寿カボチャ」として、やすらぎ園の利用者に食べてもらいます」と感謝

釧新 11月11日

学芸会の演目を発表

特別養護老人ホームやすらぎ園

標茶小1、2年生が訪問

【標茶】標茶小学校(高宮昭司校長)の一、二年生

は八日、特別養護老人ホームやすらぎ園を訪れ、ミュージカルなどを披露した。同校では、学芸発表会で演じたプログラムを毎年、同園でも披露しており、そうした活動が認められ、財団法人才能開発教育研究財団(古岡況理事長)から今年、才能開発実践教育賞を受賞

した。この日は一年生が「春一番の南風」、二年生は「ディズニースーパースター」をステージで繰り広げ、利用者から大きな拍手を浴びていた。また、二年生は「いつまでも元気でね」など書いた手作りのしおりをフレンチした。



やすらぎ園を標茶小学校の児童が訪問

2001年(H13)

釧新 3月1日



オーケストラをたんのう

民謡メドレーに拍手

北電弟子屈施設でミニコンサート

ち
生
の
オーケストラの迫
力に聞き入る入所者た

【標茶】北電釧路支店
弟子屈営業所（朝日勇吉
所長）はこのほど、特別
養護老人ホーム・やすら
ぎ園でミニコンサートを
実施、約八十人の入所者
を喜ばせた。
今回のミニコンサート
は、地域と交流を深める
ことを目的に同支店が実
施している「ほくでんス
マイルコミュニケーション
事業」の一環として行
われた。
この日は、町内の社会
人オーケストラのメンバ
ー二十一人が同園を訪
問、日本民謡メドレーな
ど五曲を演奏した。入所
者たちは、普段聞く機
会の少ないオーケストラ
の生の迫力を十分にたの
うしていた。

釧新 8月18日

車いすの清掃に汗

虹別中3
年生生徒 やすらぎ園を訪れ

【標茶】虹別中学校（崎
地勝校長、五十四人）の
三年生生徒が十六日、町
内の特別養護老人ホーム
・やすらぎ園（加藤孟園
長を訪れ、園内で使用
している車いすの清掃作
業ボランティアに汗を流
した。
同園を訪れるボランテ
ィアは、同校がボランテ
ィア指定校を受けたこと
がきっかけで始まり、夏
休み期間中の学習会の締
めくくりとして毎年行わ
れてきた。これまで、
施設周辺のごみ拾い作業
や入所者との交流を行っ
てきたが、車いすの清掃
が重労働であることから、
今回初めてこの作業
に取り組んだ。
この日は三年生の生徒
二十一人が同園を訪問。
使用している約六十台の
車いすを一台一台きれ
いにしていた。タイヤの
溝や車軸にこびりついた
ゴミを取るのがひと苦労
だったが、生徒たちは黙
々と作業に取り組み、約
二時間ほどで終えた。



生徒会長の園田幸奈さ
ん（三年）は「みんな普
段から家で手伝いをして
いるので、すぐ作業に取
り掛かれる。嫌な顔をせ
ず、とても積極的」と級友
たちの頑張りを語った。
また、同園の職員たちは
「車いすの清掃は大変な
ので、助かります」と話
していた。
車いすの清掃に汗を流
す生徒たち

2001年(H13)

釧新 11月9日

農園の野菜を寄贈

特別養護老人ホームやすらぎ園に

標茶町の
磯分内中
ダイコンやジャガイモなど

【標茶】磯分内中学校の奥村勉校長、29人は、5日、学校農園で収穫した野菜の一部を、町内の特別養護老人ホームやすらぎ園（加藤孟園長）に寄贈した。

今年5月から学校農園で生徒たちが育てたもので、先に行われた学校祭で販売されたものの残りを有効活用してもらったと寄贈を決めた。

ダイコン約100本やジャガイモ数袋とカボチャ。この日は同園職員3人が同校を訪問。全校生徒が参加した寄贈式では、高橋桃子生徒会長（3年）が「いつまでもお元気で」などとあいさつして目録を手渡した。同園職員は「漬物などに使わせていただきたい。皆さ



寄贈された野菜をトラックに積み込む職員

釧新 12月15日

かわいい演技に拍手

標茶バレエ研究所
やすらぎ園を慰問

【標茶】町内でバレエ指導し、週2回、町中央公民館で練習する「DANCE」を学ぶ子供たちで組織する「DANCE」の5名、特別養護老人ホームやすらぎ園を慰問した。この日は、会員の小学4年生など14人が、同園を慰問。今回のために特訓しながら盛んな拍手をおもちゃの兵隊や、楽しいひとときを

【カッコーワルツ】「四過」を路市在住の松見さんが指



お年寄りの前で見事な円舞を披露する子供たち

2002年(H14)

釧新 3月26日

ヒット曲に心なごむ 茶

作曲家・谷弦
太郎さん やすらぎ園を慰問 標

【標茶】町出身で東京在住の作曲家・谷弦太郎さんが23日来町、町特別養護老人ホームやすらぎ園（加藤孟園長）を慰問して歌を披露、入所者を喜ばせた。

谷さんは、町内の上茶安別地区出身で55歳。中学卒業後に福島県へ移住、高卒後に上京して音楽の勉強に励み、作曲家の道へ進んだ。北島三郎さんが水前寺清子さんらに楽曲を提供、「夜は知ってる」「釧路で泣いています」などのほか、標茶音頭の作曲を手がけた。現在は作曲家の指導やイベント企画などを行っている。

谷さんは母校・上茶安別小中学校の閉校式出席のため来町したもので、町民に恩返しをと、15年ぶりに同園を慰問した。の。ギター片手に「影を慕いて」を歌って入場した谷さんは、「誰が故郷を思わせる」など往年のヒット曲を披露。

途中、親交が深い千葉健町長も飛び入りして共演し「四季の歌」をプレゼントした。会場となった同施設ロビーは約60人ほどの入所者らであふれ、谷さんの歌に合わせ「口ずさんだり手拍子を送るなど、楽しいひとときを過ごした。



数々のヒット曲を披露して入所者を喜ばせた谷さん

2002年(H14)

道新 7月25日

老人ホームに娯楽お届け

馬上でハーモニカも

茶 標

東京の
玉木さん
「親切の恩返しに」

【標茶】バイクで道内を旅し、標茶町をたびたび訪れている東京在住の玉木康児さん(83)が二十四日、町立老人ホームやすらぎ園を訪問し、ハーモニカ演奏を披露した。地元の乗馬クラブの協力で、馬上でハーモニカを演奏するパフォーマンスも見せ、お年寄りを喜ばせた。

玉木さんは、東京で塗ら、夏の三カ月間はバイクや建築の仕事をして、冬や列車で道内を旅行する生活を続けている。ハーモニカが得意で、「ストビのヤス」の名で各地で演奏している。

三年前に初めて訪れた際、「町の人がとても親切にしてくれた」と標茶町にほれ込み、「恩返ししたい」と希望し、訪問演奏が実現した。

乗馬クラブの発案で、玉木さんがカウボーイ姿で馬に乗って登場し、馬上でハーモニカを演奏して入所者を驚かせた。園内では、歌謡曲やポピュラー曲、SLが走る音を模したオリジナル曲などを披露し、入所者や職員ら約六十人が心地よさそうに耳を傾けていた。



老人ホーム前で馬に乗ってハーモニカを演奏する玉木さん＝標茶

2003年(H15)

釧新 3月14日

標茶中学校

念願の車いすを寄贈

特養老人ホーム
△やすらぎ園 施設で有効活用

【標茶】標茶中学校（奥村勉校長）の生徒たちが取り組んできたアルミ缶回収で、このほど目標の500キを達成。念願だった車いす1台を購入し、12日に町内の特別養護老人ホームやすらぎ園（臼井好和園長）に寄贈した。「町のために」と当初3年生4人で始めたリサイクルの輪は、やがて全校を挙げた活動となり、今では一般家庭など町内にもその動きが広がるなど、同校の新たな伝統の一つに刻まれつつある。



アルミ缶回収は、今年のはかなりの量を必要とする度、3年生が総合的な学習「チャレンジタイム」の中で「町のために」というテーマの下で取り組んだのが始まり。類瀬亜香里さんを中心とした4人のグループが、リサイクル推進と福祉向上を願い、ブルタブを回収して車いすに換え、町に寄贈する計画を立てた。しかしブルタブの回収

る組織を結成。生徒のやる気のきっかけとなればと、クラス対抗の回収競技「アルミロワイヤル」を2度実施するなど、回収がどんどん進み、2月中には目標を達成した。これまでの回収で貯まった基金は2万1000円余り。この中から念願の車いすを初めてゲットしたもので、この日は3年生を送る会の中で贈呈式が行われた。式では、類瀬さんが「わたしたち4人ではできなかった。皆さんのおかげ」と感謝を述べ、同園の吉田透庶務係長に目録を手渡した。

吉田係長は「大切に使用していたきたい」と謝辞。奥村校長は「冷たい水で缶を洗ったりという苦労が実った。今後、良き伝統として続けてほしい」と語りかけた。寄贈された車いすは「カンレンジャー号」と名付けられ、施設で有効活用される。

寄贈された車いすの横で吉田係長が謝辞を述べ、後方で聞き入る類瀬さんら生徒たち

戦隊カンレンジャー」な

2003年(H15)

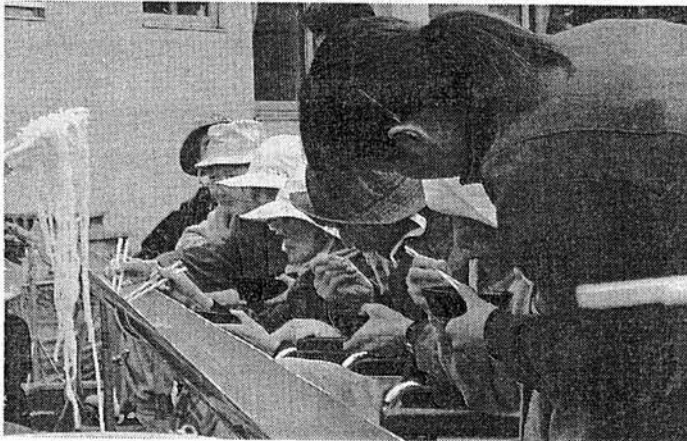
釧新 7月26日

町流しソーメンに舌鼓

特養老人ホームやすらぎ園 恒例のスタミナまつり

【標茶】町の特別養護老人ホームやすらぎ園（白井好和園長）で23日、毎年恒例のスタミナまつりが行われ、入園しているお年寄りたちが流しソーメンやカニなどのメニューで元氣をつけた。

例年は暑い夏を乗り切るために、おいしいものを食べてもらおうと実施されているが、今年は夏本番とはほど遠い天候の悪さが続いており、丈夫になつて夏かぜを防いでもらう意味も込められた。この日もあいにくの曇り空となったが、入園者76人のほか、ボランティアの日赤奉仕団メンバーや職員ら総勢約130



「おいしい」と流しソーメンを楽しむお年寄りたち

人が参加した。昼食時間に合わせて行われた会食では、タラバガニや牛肉ステーキ、スィーツなどがどっさりテーブルに並び、お年寄りがちが笑顔で食事。特設コーナーでは全員が交代しながら流しソーメンを楽しんだ。またアトラクションとして町職員がエレクトーンの演奏を披露して花を添えた。

釧新 8月10日

夏のひととき楽しむ

老人ホームやすらぎ園 盆踊りと花火大会

【標茶】町特別養護老人ホームやすらぎ園（白井好和園長）の盆踊りと花火大会が6日夜、同園前庭で行われた。この日は天候にも恵まれ、入園している多くのお年寄りが参加。積極的に踊りに加わったり、打ち上げ花火に歓声を上げて夏のひとときを楽しんだ。

地域住民との交流を目的に実施されているこの時期恒例のイベントで、入園者の家族のほか、みどり・さくら両保育園児、近所の家族連れなどが駆け付けた。最初に盆踊りがあり、同園の調理担当職員は「ハワイアンショー」、看護師たちが「天使と悪魔」などと題した仮装も披露し、爆笑を誘った。



子供たちが手持ち花火をお年寄りたちに見せて喜ばせた

2003年(H15)

釧新 9月23日

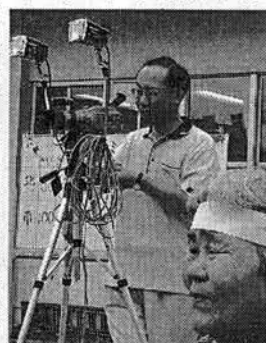
い員
み職
地金
大信

ボランティアに汗

標茶のや
すらぎ園
ミニ運動会で

【標茶】大地

みらい信用金庫
標茶支店(佐藤
由治支店長、9
人の職員が今
年度から、町特
別養護老人ホー



資料用ビデオの撮影を
担当した佐藤支店長

ムやすらぎ園(臼井好和
園長)を定期的に訪問し、
ボランティア活動に励ん
でいる。地域貢献活動の
一環として始めた。17日
には佐藤支店長自らがミ
ニ運動会に参加して補助
作業に汗を流した。
これまで同支店では、

「あまり地域活動への参
加がなかった」とのこと
で、今年度から各種活動
に積極的にかわるな
ど、地域密着を図る取
組みを企画。そこで、支



お年寄りたちが綱引きで熱戦を繰り
広げた運動会

店職員が原則月1日有給
休暇を取得して同園でボ
ランティア活動を行うこ
とを決定。7月から実施
に移している。

この日のミニ運動会
は、入園者約50人が参加
して帽子かぶりレーや
綱引き、せんべい食べ競
争などを行った。佐藤支

店長は、車いす利用者を
会場の駐車場まで運ぶ作
業を手伝ったほか、競技
中はビデオ撮影を任せ
、真剣な表情でファイ
ナーをのぞきこんでいた。
21日の多和平カントリー
フェスタには、若手の
飯屋崎孔士さんから職員が
スタッフとして加わり、
助っ人として貢献してい
る。佐藤支店長は「これ
まで以上に地域に密着し
ようという試みで、全職
員に参加してもらう」と
しながら「高齢者との接
し方の勉強にもなり、で
きる限り続けていきたく
い」と話している。

標準特養老人ホーム やすらぎ園を慰問

館田^{さん}が歌声披露

(黒田文夫)

この日館田さんは、や「竹久夢二」作詞・多忠亮作作曲の「叱られて」など、的なる歌を選んだ」とのこと。伴奏を務めた白石きさきさんのピアノ伴奏で、かつら作詞・引田竜太郎曲を披露。最後は「ふる」とは昨年の慰問の時に

日本叙情歌



作曲の叱られて「なんぞアンコール曲を含めて7曲を披露。最後は「ふるさと」を全員で合唱した。楽しむ会では、町教委に勤務する松本紀幸さんが司会を務め、軽妙な語り口で会場を盛り上げた。また途中では、日井園長も「霧の摩周湖」を披露し、会場からは盛大な拍手が送られていた。

「普段はイタリア歌曲を歌っているのですが、いつもと違い緊張した」と話す館田さん。「お年寄りに楽しんでもらえるようなじみやすい日本の叙情曲を利用者に前に歌を披露する館田さん

「歌う人の心をつかみながら、歌に合せて弾いてくれる。良い人めえり会えた」と感謝する館田さん。31日に開かれる町総合文化祭の「音楽祭」では、白石さんの伴奏でナポリ民謡3曲を披露する予定。

館田さんが、声楽を始めたのは20歳で。たまたま耳にしたラジオから流れるイタリア民謡に強い衝撃を受けたのが、きっかけだったという。以

「この歌を選んだ」とのこと。伴奏を務めた白石さんは昨年の懇会の時に初めて出会い、今回もお互いに仕事を終えてから何度か練習を行った。

【標茶】標茶消費者協会は（門屋和子会長）は28日、ひき掛けを特別養護老人ホームやすろき園（白井好和園長）に20枚、町社会福祉協議会（松本知会長）に10枚寄贈した。このひき掛けは、家庭で不用になった衣服や社会福祉協議会から提供された布を使い、会員らが手作りしたもの。ひき掛けには、手を暖めるためのポケットが付けれ、中にはパッチワーク風に仕立てたものもあり、壁掛けとしても利用できる。これらのひき

「とても良いですね」と感激していた。

また、社会福祉協議会では、山澤正宏事務局長が「各種事業の時に活用したい」と話している。

消費者協会では、今後とも町内の各施設などにひきこもり者の寄贈を考えている。

標茶消費者協會

散歩の時に利用を

ひざ掛けを寄贈



ひざ掛けを手に山澤事務局長、鈴木副会長、門屋会長、松井副会長（左から）

掛けは、24日まで開催センターで行われた総合文化祭の消費生活コーナーで展示。来場者から「分けてほしい」と言われるなど、好評だった。

贈呈には、門屋会長、松井ユキ子、鈴木裕美面副会長の3人が訪れた。やすらぎ園では贈られたひざ掛けを、利用者の散歩の時になどを利用するとのこと。曰井團長は「普段はバスタオルなどを掛けて散歩するが、ポケットが付いたひざ掛けはすごく良いですね」と感激

また、社会福祉協議会では、山澤正宏事務局長が「各種事業の時に活用したい」と話している。

消費者協会では、今後町内の各施設などにひきよ掛けの寄贈を考えている。

来、独学で歌い続けてきた。30年ほど前には、NHKのど自慢大会歌曲の部で、北海道代表として出場した経の験も。「歌い終わった後、好きなワインを飲む」という。

2005年(H17)

道新 5月20日



人工呼吸など真剣に
施設職員が救命講習

人ホーム「やすらぎ園」、町アイ・サービスセンタ
久男署長で署員の指導
を受けながら人工呼吸や
心臓マッサージの実技な
ど一回三時間のコースを
受けている。

【標茶】万一の際は全
職員が救命措置をとれる
ようにしようと、町立老
人ホーム「やすらぎ園」、
町アイ・サービスセンタ
久男署長で署員の指導
を受けながら人工呼吸や
心臓マッサージの実技な
ど一回三時間のコースを
受けている。

釧新 8月19日



【標茶】元横綱大鵬の
納谷幸喜さん(95)は、弟
子屈出身が17日、特別
養護老人ホームやすらぎ
園(臼井好和園長)を慰
問した。納谷さんは、同
日弟子屈町川湯で開かれ
る「名誉町民納谷幸喜氏
を祝う会」(町主催)に
出席するため、弟子屈町
を訪れていた。

元横綱 大鵬 元氣で長生きして 茶
やすらぎ園を慰問 標

2005年(H17)

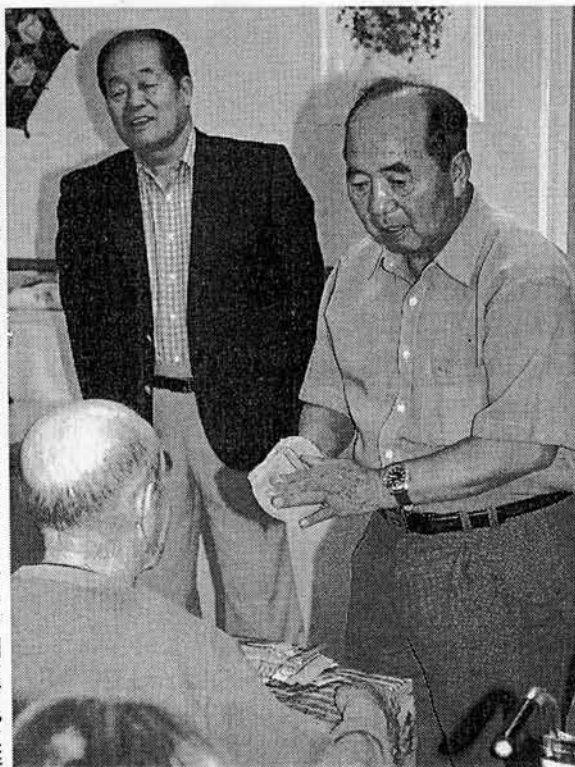
釧新 10月1日

本場のあかこすり寄贈

同窓会出席のため来町の韓国在住・李さん

特養老木やすらぎ園を訪問
利用者らに手渡す

標 茶



【標茶】同窓会に出席する
ために標茶を訪れた韓
国在住の李龍錫さん(74)
が9月28日、特別養護老
人ホームやすらぎ園(日
国伝統のお菓子をブレゼ

井好和園長)を訪ね利用
者に、韓国ではイタリ
タオルと呼ばれている
「あかこすり」50枚と韓
ントした。
韓国で生まれた李さん

は、父親の仕事の関係で
5歳から小学校6年(1
946年春)まで標茶で
過ごした。現在は、大阪
にある日動工業の韓国駐
在社員として翻訳の仕事
をしており、韓国では日
韓友好促進のためのボラ
ンティア活動にもたずさ
わっている。
標茶を訪れたのは今回
が2度目。「年も年なの
で、今回は最後の思い
で来ました」と言う李さ
ん。「町はきれいになり
ましたね。昔は太い木が
いっぱいあり、秋にはブ
ドウがたくさん実を付け
ていました」などと振り
返っていた。

やすらぎ園には、同窓
生で前町長の千葉健さん
と訪れた。李さんは利用
者にプレゼントを手渡し
た後、「あかこすりは水
にぬらすと軟らかくなり
ます」などと説明し「評
判が良かったらまた贈り
ますよ」などと話してい
た。

憩の家かや沼で開かれ
た同窓会は、46年標茶小
学校卒業生と49年標茶中
学校卒業生でつくる「柏
雪同窓会」。2年おきの
ペースで標茶・釧路・札
幌で開かれており、前回
の2年前は札幌で開かれ
た。この日の同窓会には
約30人が出席。夜遅くま
で思い出話に花を咲かせ
酒を酌み交わしながら旧
交を温めていた。

2006年(H18)

釧新 8月11日

標茶の特養老人ホームやすらぎ園

盆踊り大会 利用者ら500人楽しむ



【標茶】特別養護老人ホームやすらぎ園（白井好和園長）でこのほど、恒例の「盆踊り花火大会」写真が開かれ、利用者や保育園児、地域の人、ボランティアら約500人が仮装盆踊りや打ち上げ花火などを楽しんだ。会場では、風船やヨー

ヨー釣り、焼そばや綿あめ、お好み焼きなどの屋台が出店し、無料で振る舞われたほか、仮装盆踊りでは職員らがメイドやピエロの衣装で登場し、会場を沸かせた。花火大会では約100発が打ち上げられ、間近で見る花火の迫力に歓声が上がっていた。

白井園長は「天候にも恵まれ、大勢の地域の人と利用者との交流が図られて大変良かった。来年も、今年以上に盛大に開きたい」と話していた。

釧新 11月14日

標茶・N響メンバーが来町

18日に「室内楽の夕べ」

やすらぎ園などで慰問演奏も

【標茶】今年で4回目を迎えた「N響メンバーによる室内楽の夕べ」が18日午後7時から、開発センターで開かれる。同実行委員会（佐藤一男会長）の主催。チケットは、大人前売り2000円（当日2200円）、高校生以下無料。

当日は、バイオリンの板橋健さんと白井篤さん、ピアノの井出修三さん、チェロの海野幹雄さんが出演。モーツァルト作曲の弦楽四重奏曲「プロシャ王」とベートーベンの作曲の「ラズモフスキ13番」を演奏する。

今年も開かれる室内楽の夕べ（写真は昨年）



当日は午前10時30分から、特別養護老人ホームやすらぎ園で板橋さんが慰問演奏を行うほか、午後1時30分からは町立病

2007年(H19)

釧新 12月12日

やすらぎ園に
ジャガイモ贈る
磯分内中、菜園で収穫
【標茶】磯分内中学校
(菅田洋三校長) は今年
も7日、特別養護老人ホ
ームやすらぎ園に学校農
園で収穫したジャガイモ
2箱をプレゼントした。
同校では毎年、ジャガイ



徒会長の白石美来さん
(2年)、副会長の千葉
陽介君(同)、書記の山
澤諒君(同)らが訪れ、
利用者に手渡した。白石
さんは「やすらぎ園の皆
さんに喜んでもらい、作
つて良かったと思つ」と
話していた。

ジャガイモを
手渡す生徒会
役員ら
モを中心に各種
野菜を栽培して
おり、特にジャ
ガイモは秋の交
通安全街頭啓発
や学校祭のバザ
ーなどにも活用
している。

2008年(H20)

釧新 5月20日

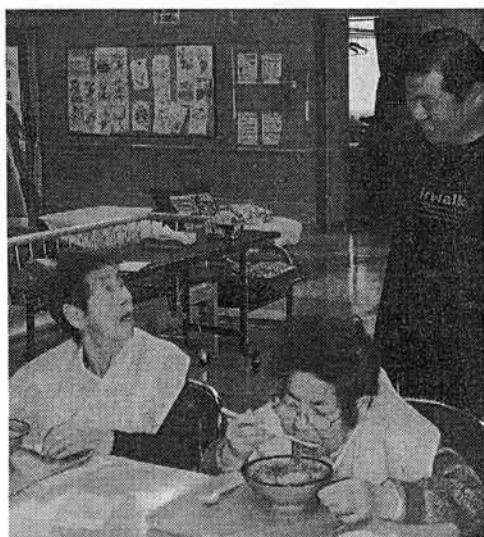
【標茶】標茶民謡会(下鳥
昇会長) は5日、町立特別養
護老人ホームやすらぎ園(山
澤正宏園長、入所者9人)を
訪れ、入所者に民謡や踊りを
披露した。
同会がやすらぎ園を訪問
し、歌と踊りをプレゼントす
るのは、毎年恒例のイベント
として定着している。「端午
の節句・民謡ショー」と銘打
ったステージには、下鳥会長
をはじめ、同会会員らが次々
と上り、自慢ののどを響かせ
た。

入所者に歌と踊りを贈った
標茶民謡会のステージ



入所者に民謡や
踊りプレゼント
標茶民謡会がやすらぎ園訪問

釧新 12月31日



「標茶産そば」で、園内を年越し
気分にした平間さんら

【標茶】標茶産そば粉の生
産者と「そば丈の家」(麻生、
金沢道博店主) が30日、町立
特別養護老人ホームやすらぎ
園(山澤正宏園長)を訪れ、
年越しそばを振る舞った。
標茶産そば粉の生産者は、
平間雅司さん、野呂真さん、
佐藤典正さん。「人生の先輩
に地元の味を楽しんでほし
い」という思いで、今回初め
て実施した。この日は、入園
者とデイサービス利用者ら
に、かしわそばやざるそばな
ど、約100食を提供した。

入園者らは、出来立てのそ
ばをすすりながら「おいしい
ですね」「素晴らしい年越し
です」などと話し、目を細め
ていた。金沢さんは「心を込
めて作った味を、心ゆくまで
楽しんでください」とにつこ
り。平間さんは「喜んで食べ
てもらえてうれしい。生産者
としても励みになります」と
笑顔で語っていた。

標茶のそば粉生産者ら
やすらぎ園に
そば振る舞つ

2011年(H23)

釧新 9月9日

気な顔を見られてうれしい。長生きして良かったなと思える故郷、標茶町をつくっていきます。これからも体を大事に、無理をせず、楽しい時間を過していただきたい」と語った。

■標茶・やすらぎ園 特養 保育園児が演舞

○…標茶町の特別養護老人ホームやすらぎ園での敬老会は、池田裕二町長と稲村薫町社会福祉協議会長らが、同園利用者に長寿祝いの記念品を贈った。また、アトラクションでは鶴居村の丹頂群れ太鼓の勇壮な太鼓演奏と、みどり保育園の園児による演舞が行われた。

池田町長は「今年も皆様の元

【標茶、弟子屈】 今月19日の「敬老の日」に向けて、各地で敬老会が開かれている。このうち、7日には標茶町の特別養護老人ホームやすらぎ園、弟子屈町の養護老人ホーム倅和園・特別養護老人ホーム摩周で、それぞれ敬老会が行われ、長年にわたり地域の発展に尽くしてきた高齢者らの功績をたたえ、長寿と健康を祝った。

(山本雅之)

長寿、健康祝い敬老会



2012年(H24)

釧新 1月20日

プルタブで車椅子購入

標茶町
回収運動 やすらぎ園に届ける



標茶町プルタブ回収運動で購入した車椅子「遊友号12号」

【標茶】空き缶のプルタブを集め、車椅子と交換する「標茶町プルタブ回収運動」(事務局、開発センター)で、通算12台目となる車椅子1台を、新たに購入した。17日には、特別養護老人ホームやすらぎ園に届けられ、早速、利用者らが乗り心地を確認した。

同園に車椅子を寄贈するの椅子は、常に使っているのは傷みが早い。新品を頂けるのは大変ありがたく、町民の善意に感謝したい」と話している。

標茶町プルタブ回収運動は1994年9月から始まった町民参加型の社会奉仕活動で、子どもから大人まで幅広い世代が一連の取り組みに賛同、協力している。車椅子は「遊友号」と名付けられ、これまで同園のほか、福祉センター、ふれあい交流センターなどで利用している。今回は、2年間かけて回収したプ

釧新 2月9日

標茶町立老人ホームやすらぎ園

職員3人を被災地派遣

宮城の
介護施設 経験生かし復興支援へ

【標茶】町立特別養護老人ホームやすらぎ園の介護職員3人が、東日本大震災で大きな被害を受けた、宮城県内の介護施設で復興支援にあたる。同園の職員が被災地入りするのは2回目。

派遣されるのは、戸塚秀人さん(29)と藤原友樹さん

【37】、今貴弘さん(29)。北海道老人福祉施設協議会が1月20日から3月31日までの期間で実施している被災地支援事業に応じた。道内からは24人が被災地で約2週間ずつ職務に従事する。戸塚さんは東松島市の特別養護老人ホーム、藤原さんと今さんは名取市の

戸塚さんは「被災者をしっかりと体を支えてやる」「藤原さんは「何が出来るかを意識しながらサポートしていきたい」、今さんは「培ってきた知識と技術を支援活動に生かす」とそれぞれ話した。

池田裕二町長は「厳しい状況下での職務となるが、これまでの経験を生かして、困っている人たちの力になってきてほしい」と激励した。



被災地への出発を前に抱負を語る戸塚さんと藤原さん、今さん(左から)

2014年(H26)

釧新 12月18日

箏曲など練習成果を

標茶中生、やすらぎ園で交流

【標茶】標茶中学校(西谷宏之校長)の1年生60人が15日、町立特別養護老人ホームやすらぎ園を訪れ、箏曲とりコーダー、合唱で入所者たちと交流を深めた。同校は毎年、ボランティア活動の一環で、同園を慰

問し演奏会を開いている。この日は、12人が箏で「さくらさくら」の三重奏を披露。続いて48人がアルトリコーダーで「ふるさと」を二重奏で演奏した。また生徒たちは、全員で「マイ・オン・ロード」と

「赤とんぼ」を合唱。入所者たちは1曲ごとに温かい拍手を寄せていた。同校1年の関舞唯さんは「二生懸命練習してきたので、喜んでもらえてうれしい」と感謝の言葉を述べていた。



息の合った演奏で会場を和ませた生徒たちの演奏(標茶中提供)

2014年(H26)

釧新 12月24日

茶 特養やすらぎ園を訪問 標 菊乃流菊智会 日本舞踊を披露



菊乃流の会員たちが披露する舞の合った息 (菊乃流菊智会提供)

【標茶】菊乃流菊智会は21日、町特別養護老人ホームやすらぎ園を訪問し、華やかな日本舞踊で入所者を楽しませた。

同会は毎年、この時期に同園を慰問。30年以上続く恒例行事になっている。この日は菊乃流菊智会主(松田とを受け全員で黙とうをささげた。舞台では歌謡曲や小唄、民謡などに合わせた踊りや古典演目の一つ「神楽面」が披露されたほか、「秋田甚句」では、入所者たちが手拍子で応え和やかな公演が行われた。菊乃流菊智会主は「高齢化で会員数は減少傾向だが、これからも続けたい」と話していた。

敦子さんら7人が来所した。

会場では、標茶音頭の振り付けを担当し、同園の慰問にも度々参加した正派菊乃流家元(札幌市)の菊乃利さんが今年、逝去(享年81)したこ

2018年(H30)

釧新 7月11日

優しい歌声届ける

混声合唱団グリーンクラス やすらぎ園訪問

茶 標

【標茶】混声合唱団グリーンクラス(加藤明団長)は8日、特別養護老人ホームやすらぎ園(中村義人園長)でミニコンサートを開いた。毎年、同園を訪れ、歌声を届けており、今回はメンバー16人が来園した。コンサートは4部構成で行われ、「こぎつね」「汽車ぼつぽ」など、アカペラ



の輪唱で幕を開け、アニメ挿入歌「さんぽ」や「上を映画「となりのトトロ」の「向いて歩こう」「しあわせなら手をたたこう」を披露した。団名にちなんだ「思い出のグリーンクラス」や「ドレミの歌」「心の瞳」など息の合ったハーモニーに、入園者は目を閉じてじっくりと聞き入ったり手拍子を打ったりしながら、一緒に口ずさんでいた。

(河辺由記子) 優しい歌声で入園者を楽しませたグリーンクラス

2020年(R2)

釧新 5月12日



やすらぎ園の「オンライン面会」。映像、音声とも鮮明で笑顔のやりとり

オンラインで面会 安心

標茶の特養やすらぎ園

家族交流、心のケア

【標茶】新型コロナウイルス対策として、町立特別養護老人ホームやすらぎ園（川上町、中島吾朗園長）はタブレット端末を活用した「オンライン面会」を実施している。施設内での面会禁止が長期化する状況下、入所者とその家族の交流、心のケアに役立ててもらおうと、道内の介護老人福祉施設としてはいち早く導入。顔を見て声を掛け合えることは、双方の不安解消につながっている。

（山本雅之）

オンライン面会は予約制で、利用時間は午前9時から午後5時までの原則30分間。当日は個室にいる入所者と玄関にいる面会希望者が、それぞれインターネット電話サービスで交信し、タブレット端末でコミュニケーションを図る。自分でタブレット端末を操作できない人には、同園の職員が支援する。

新型コロナウイルス感染を予防するため、同園は2月26日から面会禁止に。入所者とその家族らは「このご時世なので仕方ない」と理解を示しながらも「意欲してもいいから、顔を見たい」と懇願していた。要望を受けて、町は設備を使ったお見舞いの方法を検討。4月24日から着手した。「二つの画面にたくさんの人が集まって見られるように」と、スマートフォンよりも一回り大きなタブレットを採用した。

同園によると、オンライン面会では5月8日までに22回実施し、連日予約が入っている。11日午前10時30分には、同町別の千葉澄子さんが来園し、入所する母とオンラインで面会した。千葉さんが「髪伸びたね。ご飯食べてるかい？」と問い掛ける、画面からは笑顔で「元気だよ。ご飯も食べてるよ」とはきはきとした声が返ってきた。

お見舞いを終えた千葉さんは「母の日に送った花を飾っていると聞いてうれしかった。孫、ひ孫にあたる子供たちは、オンラインに慣れており、違和感なくおしゃべりしていた」と嬉しがり。さらに「自分の目で、母の様子を確認できること

が何より安心でき、とてもありがたい」と感謝した。中島園長は「採用してから2週間以上たつが、喜んでいただいている。入所者にとっても、その家族にとっても顔を見て、対話することとは励みになっているようだ」と手応えを示した。

2024年(R6)

釧新 7月21日

バーベキュー おいしい

標茶 やすらぎ園で野外食会



バーベキューを楽しむ利用者
たち(やすらぎ園提供)

うと毎年開催しており、利
用者22人がバーベキューを
楽しんだ。

この日は気温27度の夏日
だったが、パラソルを立て
るなどの熱中症対策を講じ
たほか、風が少し吹いてお
り、絶好のバーベキュー日
和。シンギスカンやちゃん
ちゃん焼き、ホッケ、串焼
きなどを焼いたほか、スイ
カやかき氷も堪能した。

利用者は普段よりも食欲
が増し「すごくおいしいね」
と味わっていた。

(水谷友路)

【標茶】町立特別養護老
人ホーム「やすらぎ園」(穂
いた。利用者にスタミナを
刈武人園長)は10日、同園
付けて元気になってもらお

50周年祝う 人文字撮影

特養・やすらぎ園

【標茶】町立特別養護老人ホームやすらぎ園は今年6月、創立50周年を迎えた。50周年記念誌の発行を予定しており、その写真掲載のため利用者や職員ら約100人が参加して園庭で「50」の巨大人文字をつくり、ドローンで撮影した。

同園には町内外の約60人が利用している。来年1月をめどに50周年記念

設立50周年の記念誌発行に向け人文字を撮影するやすらぎ園利用者ら



誌発行へ準備を進めている。穂刈武人園長は「50周年は、多くの方々に支えられて迎えられた」と感謝する。

撮影は17日に行われ、利用者のお年寄りや職員、標茶町日赤奉仕団など約100人が参加。上空のドローンに向けて赤と白の飾りを元気に振って「50」を表現した。

(高橋力)

2024年(R6)

釧新 7月21日

開園50周年を祝う人文字（やすらぎ園提供）



開園50周年記念で人文字撮影

標茶・やすらぎ園 半世紀の節目祝う

【標茶】町立特別養護老人ホーム「やすらぎ園」（穂刈武人園長）で7月17日、開園50周年を記念した人文字の撮影が行われた。施設利用者や職員らが紅白で数字の50を描き出し、半世紀の節目を祝い合った。

撮影には同園の入所者40人、デイサービス利用者11人、利用者の家族6人、町赤十字奉仕団11人、職員と関係者52人の

総勢120人が参加。あらかじめ決められた場所に椅子や車椅子を配置して人文字をつくり、町農林課所有のドローンで空撮した。

穂刈園長は「全員が共同して取り組むことができ、大変良い機会になった」と話していた。人文字は、今年度発行予定の記念誌に掲載する。

（水谷友路）

標茶町立特別養護老人ホームやすらぎ園 開園50周年記念誌編集委員会設置要綱

(設置)

第1条 標茶町立特別養護老人ホームやすらぎ園開園50周年記念誌（以下「記念誌」という。）の制作基本方針に基づき、記念誌の内容及び構成の検討並びに執筆等の監修を行うため、標茶町立特別養護老人ホームやすらぎ園開園50周年記念誌編集委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 記念誌の内容及び構成の検討に関すること。
- (2) 記念誌の監修に関すること。
- (3) 執筆作業の進行管理に関すること。
- (4) その他記念誌の編集に関しやすらぎ園長（以下「園長」という。）が必要と認める事項。

(構成)

第3条 委員会は、次に掲げる者（以下「委員」という。）をもって構成する。

- (1) 主管者会議の出席者
- (2) その他園長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、令和5年7月12日から令和7年3月31日までとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選によりこれを定める。
- 3 委員長は、委員会を総括する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が必要に応じて招集する。

- 2 委員会の会議は、委員長が主宰する。
- 3 委員会は、委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。
- 4 委員長は、会議に際し、原則として会議結果報告書を作成する。

(関係者の出席)

第7条 委員長は、会議に際し、必要に応じて関係者の出席を求めることができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、やすらぎ園庶務係において処理する。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、令和5年7月12日から施行する。

標茶町立特別養護老人ホームやすらぎ園開園50周年記念誌

編集委員会委員名簿

編集委員長	園長	穂 刈 武 人
編集副委員長	庶務係長	檜 山 友 理
編 集 委 員	次長兼業務係長兼生活相談係長	齋 藤 俊 介
編 集 委 員	庶務係	後 藤 茂 之
編 集 委 員	看護係長	宮 川 百 美
編 集 委 員	生活相談員	伊 藤 和 美
編 集 委 員	生活相談員	氣 仙 瑞 佳
編 集 委 員	管理栄養士	柳 田 みゆき
編 集 委 員	介護総括リーダー	名 越 大 輔
編 集 委 員	北棟介護リーダー	秋 山 良 太
編 集 委 員	北棟介護サブリーダー	大 倉 敏 幸
編 集 委 員	南棟介護リーダー	今 貴 弘
編 集 委 員	南棟介護サブリーダー	山 本 史 明

記念誌編集委員会等の経過

年 月 日	項 目	内 容
令和5年7月12日	第1回編集委員会開催	①委員長、副委員長の互選について ②50周年記念誌制作基本方針の決定について ③50周年記念誌制作作業役割分担について ④その他
令和6年4月10日	第2回編集委員会開催	①50周年記念誌制作基本方針について ②50周年記念誌制作スケジュールについて ③50周年記念誌制作作業役割分担について ④その他
令和6年4月24日	第3回編集委員会開催	①企画ページ『やすらぎ園の今』について ②その他
令和6年5月22日	第4回編集委員会開催	①歴代職員一覧表について ②その他
令和6年6月12日	第5回編集委員会開催	①人文字『50』の制作、撮影について ②その他
令和6年6月26日	第6回編集委員会開催	①人文字『50』の制作、撮影について ②その他
令和6年7月10日	第7回編集委員会開催	①人文字『50』の制作、撮影について ②記念誌制作進捗状況について ③当面のスケジュールについて ④その他
令和6年7月17日	人文字『50』制作、撮影	【参加協力者】 ①やすらぎ園利用者 40名（北棟20名、南棟20名） ②やすらぎ園家族会 7名 ③やすらぎ園職員 31名 ④デイサービスセンター利用者 12名 ⑤デイサービスセンター職員 8名 ⑥日赤奉仕団員及び事務局 11名 ⑦元やすらぎ園職員等 11名 ※総勢120による人文字『50』の制作、撮影実施。
令和6年7月24日	第8回編集委員会開催	①記念誌の全体構成及び制作進捗状況並びに今後の役割分担について ②記念誌（資料編）について ③その他
令和6年11月27日	第9回編集委員会開催	①50周年記念誌印刷校正について（1回目） ②その他
令和6年12月11日	第10回編集委員会開催	①50周年記念誌印刷校正について（2回目） ②その他

人文字『50』制作・撮影風景



編集後記

標茶町立特別養護老人ホームやすらぎ園の開園50周年記念誌を発刊するにあたり、1年前より記念誌編集委員会を立ち上げ、開園からの50年の歩みを振り返る作業からスタートしました。記念誌の編集については、編集委員全員初めての経験で期待と不安が入り交じり、戸惑いもありましたが、50年に一度の取り組みに携われることを前向きに捉え、全員が決められた役割をしっかりとかたちにしてくれました。特に記念誌の先頭を飾る人文字『50』の制作、撮影に関しては、準備段階からそれぞれ智恵を出し合いながら作業を進め、利用者、家族、職員、ボランティア団体の皆様が一体となった50周年をお祝いする記念撮影となり、参加者全員で心地よい達成感を共有することができました。

記念誌の編集作業を進めていく中で、やすらぎ園の50年間の様子や出来事、活動を振り返る度に、これまで数多くの関係者の皆様に温かく見守られ、支え続けられて現在のやすらぎ園があることを心から実感するとともに、歴代職員皆様の努力の証と確かな絆を改めて思い知ることができた記念誌編集となりました。

記念誌にご寄稿いただいた皆様をはじめ、記念誌編集にご協力いただいた全ての関係者の皆様に厚くお礼申し上げますとともに心から感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

この記念誌が一人でも多くの方々にご高覧いただき、やすらぎ園が未来に向かって更に大きく飛躍する一助となれば幸いです。

やすらぎ園開園50周年記念誌編集委員会委員長 穂刈 武人

標茶町立特別養護老人ホームやすらぎ園 開園50周年記念誌

(発行日) 令和7年1月吉日

(編集者) やすらぎ園開園50周年記念誌編集委員会

(発行者) 標茶町立特別養護老人ホームやすらぎ園
〒088-2312

川上郡標茶町川上10丁目5番地

T E L 015-485-3501

F A X 015-485-3130

(印刷所) 株式会社 板野印刷

標津郡中標津町南町3番地4

T E L 0153-72-2436